

平成30年度呉市教科用図書（小学校）

調査・研究報告書

平成30年7月6日（金）

呉市教科用図書調査・研究委員会

平成30年 7 月 3 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 国語

代表者 呉市立原小 学校

氏名 小野 結実

呉市教科用図書調査・研究報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【国語】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	①単元・題材の目標の示し方
方 法	各単元における明確な目標の示し方

発行者	調査・研究内容
東書	<p>1 どこに（「読む」は2カ所、「書く」及び「話す・聞く」は1カ所）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ それぞれの単元の冒頭にねらいを明記している。</li> <li>○ 各単元の「てびき」の所にも明記している。</li> <li>○ それぞれの学年の冒頭に「国語の学習を進めよう」という見開きのページが設けられており、各学年における、一年間の単元のねらいを見通すことが出来る。</li> </ul> <p>2 どのように</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次および単元題材名の下部に「3領域」のどの学習にあたるのかが記されている。</li> <li>○ 例えば、6年生では「物語が自分に最も強く語りかけてきたことをまとめる」というように、この単元で付けたい力が児童に分かることばで明確に示されている。</li> <li>○ 巻末「付録」部分に「言葉の力のまとめ」として、振り返りや確認ができるページが設けられている。各領域と単元のつながりが示されており、その部分にも単元・題材名と目標および言葉の力に関わるポイントが記されている。</li> <li>○ 「読む」の目標の場合は、単元の冒頭及び学習の手引きに「物語が自分に最も強く語りかけてきたことをまとめる」と示されている。学習の手引きの終わりに「言葉の力」として解説とその目標達成のための手立てが記されている。</li> </ul>
学図	<p>1 どこに（「読む」は2カ所、「書く」及び「話す・聞く」は1カ所）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ それぞれの単元の冒頭にねらいが記されている。</li> <li>○ 各単元の「てびき」の所にも記している。</li> <li>○ 目次の下段には、「言語」や「伝統的な言語文化」に関する学習内容が、別欄として設けられている。</li> </ul> <p>2 どのように</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次および単元題材名の下部に「3領域」のどの学習にあたるのかが記されている。</li> <li>○ 「言語」についての学習内容は、別欄に学習内容を示している。</li> <li>○ 例えば、6年生では、「学習のてびき」に「自分に照らして考えよう」というように示し、さらに、「『ぼく』が『考えたこと』を自分たちの問題として考え、話し合おう」と記している。</li> <li>○ 「読む」の目標の場合は、学習の手引きに「ぼくが考えたことを自分たちの問題として考え、話し合おう」と示されている。学習の手引きの終わりに「国語のカギ」として、目標についての解説が記されている。</li> </ul>

三省堂	<p>1 どこに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ それぞれの単元の冒頭にねらいを記されている。</li> <li>○ 各単元の教材文の後に記している。</li> </ul> <p>2 どのように</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 例えば、6年生では「心情の変化を考えながら読もう」と示し、目標「心情の変化を考える」ことについて、教材文の後に解説をしている。</li> <li>○ 2年生から学年一冊の教科書と別冊資料集が添付されている。</li> <li>○ 3領域に関わる全単元について、目次の次ページに領域別に目標、単元名、教材名が示されている。</li> <li>○ 「読む」の目標の場合は、単元の冒頭及び学習の手引きに「心情の変化を考えながら読もう」と示され、学習の手引きの終わりに目標についての解説が記されている。</li> </ul>
教出	<p>1 どこに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ それぞれの単元の冒頭にねらいが記されている。</li> </ul> <p>2 どのように</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次および単元題材名の下部に「3領域」のどの学習にあたるのかが記されている。</li> <li>○ 物語文および説明文（「読む」の主な物） <ul style="list-style-type: none"> <li>1行目 単元名→領域</li> <li>2行目 目標</li> <li>3行目 教材名</li> </ul> </li> <li>○ 「書く」「話す・聞く」の単元 <ul style="list-style-type: none"> <li>1行目 目標</li> <li>2行目 教材名→領域</li> </ul> </li> <li>○ 領域「読むこと」において、単元名が「～を書こう」といった言語活動が目標になっているので、学習のゴールがイメージできる。具体例がイラストで示されている。（2年生：お話のつづきを書こう「わにのおじいさんのたからもの」5年生：まんがに対する考えを文章に表そう「まんがの方法」6年生：随筆を読んで、経験をもとにして書こう「薫風」など）</li> <li>○ 「読む」の目標の場合は、単元の冒頭に「すぐれた表現を味わいながら、登場人物の心情を読みましよう」と示されている。学習の手引きの中には、「ここが大事」とし、目標についての解説が記されている。</li> </ul>
光村	<p>1 どこに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「読む」は、単元の冒頭及び学習の手引きの2ヵ所に記されている。</li> <li>○ 単元冒頭に、目標と学習内容を示している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語文および説明文（「読む」の主な物）→2ヵ所（単元冒頭、てびきの初め）</li> <li>・「書く」「話す・聞く」の単元 →1ヵ所</li> </ul> </li> </ul> <p>2 どのように</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次および単元題材名の上部に「3領域」のどの学習にあたるのかが記されている。</li> <li>○ 単元冒頭に示されている目標と学習内容は、色を変えて囲んであるため、学習のゴールの見通しをもつことができる。</li> <li>○ 単元名と言語活動が一致している。</li> <li>○ 「読む」の目標の場合は、単元の冒頭及び学習の手引きに「登場人物の心情をとらえ、感想をまとめよう」と示され、目標についての解説やその目標達成に向けた手立てが併記されている。</li> </ul>

【国語】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②学習の手引きの示し方
方 法	三領域（話す・聞く、書く、読む）に係わる具体的な学習方法

発行者	調査・研究内容
東書	<p>1 「読むこと」の領域の手引きは、教材文の後に配置されている。学習の流れに合わせて付けたい力を付けるための具体的な方法が示されている。</p> <p>学習方法例</p> <p>1年生「サラダでげんき」手紙を書く。</p> <p>「いろいろなふね」他の乗り物のことを調べてカードに書く。</p> <p>「おとうとねずみチロ」色々なお話を読んで好きな人物を紹介する。</p> <p>「歯がぬけたらどうするの」似ているところや違うところを考える。</p> <p>「スイミー」話の好きなところを選び声に出して読む。</p> <p>2年生「風のゆうびん屋さん」人物の様子を思い浮かべて声に出して読む。</p> <p>「たんぼぼ」読んで見つけたたんぼぼの秘密を伝え合う。</p> <p>「お手紙」登場人物がしたこと順序とその時の様子を考える。</p> <p>「ふろしきはどんなぬの」ふたつの説明の仕方を比べ、よさを見つける。</p> <p>「名前を見てちょうだい」人物の様子を思い浮かべて声や動きで表す。</p> <p>「ビーバーの大工事」大事なところを探す。</p> <p>「かさこじぞう」昔話を読んで友達に紹介する。</p> <p>「あなのやくわり」理由を探す。</p> <p>「ニャーゴ」場面の様子が伝わるように紙芝居をする。</p> <p>3年生「すいせんのラッパ」音読する。</p> <p>「自然のかくし絵」読んで感想を伝える。</p> <p>「ゆうすげ村の小さな旅館」物語の仕掛けを探す。</p> <p>「サーカスのライオン」感想を伝え合う。</p> <p>「もうどう犬の訓練」大事な言葉や文を見付け要約する。</p> <p>「はりねずみと金貨」色々な国や地域の物語を読んで紹介する。</p> <p>「人をつつむ形」書いてあることを整理する。</p> <p>「モチモチの木」人物の行動や会話から、どのような人物かが分かるように音読する。</p> <p>4年生「こわれた千の楽器」人物の様子や気持ちを想像して音読する。</p> <p>「ヤドカリとイソギンチャク」段落同士の結び付きを考えて読み、文章のまとまりを捉える。</p> <p>「走れ」中心となる人物の気持ちの変化を考えながら読む。</p> <p>「広告と説明書を読みくらべよう」目的に合わせた表し方の違いを読み取る。</p> <p>「ごんぎつね」人物の気持ちの変化と中心となる人物とのかかわりを考える。</p> <p>「くらしの中の和と洋」目的に応じて引用したり要約したりする。</p> <p>「世界一美しいぼくの村」物語の中の文や言葉を引用して紹介する。</p> <p>『ゆめのロボット』を作る」二つの文章に書かれていることを関係付ける。</p> <p>5年生「だいじょうぶ だいじょうぶ」人物の思いが伝わるように工夫して音読する。</p> <p>「動物の体と気候」筆者の考えをまとめて伝え合う。</p>

「世界でいちばんやかましい音」物語の構成を捉え、山場で起きた変化について捉える。

「新聞記事を読み比べよう」記事と写真との関係に注意しながら、書き手の意図を読み取る。

「注文の多い料理店」物語のよさを解説する。

「手塚治虫」伝記を読んで感想文を書く。

「テレビとの付き合い方」文章に書かれていることに対して多面的に考える。

「大造じいさんとがん」情景描写から人物の心情変化を読み取り強く印象に残ったところを朗読する。

6年生「サボテンの花」自分の感じたことや考えたことが伝わるように朗読する。

「イースター島にはなぜ森林がないのか」筆者の考えを読み取り自分の考えをもつ。

「風切るつばさ」人物と人物との関係を手掛かりに心情を捉える。

「新聞の投書を読み比べよう」新聞の投書を読んで意見を書く。

「海のいのち」物語が自分に最も強く語りかけてきたことをまとめる。

「ヒロシマのうた」本を読んで推薦する。

「プロフェッショナルたち」将来の夢や生き方について考える。

「君たちに伝えたいこと」文章と詩を読んで自分の考えや思いを深める。

学習の流れに合わせて焦点を絞った具体的な方法が示されており、手順を追ってねらいを達成することができるがノートの記述例はない。

2 「話す・聞く」「書く」の領域では、教材を読み進めることで、手順を追って学習の目標を達成できるようになっている。

#### (1) 「話す・聞く」学習方法例

1年生「じゃんけんやさんをしよう」

大事なことを順序よく話す。はっきりした声で、ゆっくり話す。

2年生「たからものをしょうかいしよう」

紹介するものがよく伝わるように、話すことを選んで話す。友達の話に興味をもって聞く。(話すことのメモ)

3年生「インタビューをしてメモを取ろう」

いくつかの事柄を、どんな順序で話しているか考えながら聞く。(順序を表す言葉に気を付ける、番号をつけてメモをする。) 目的に合わせて大事なことを落とさずに聞き取る。

4年生「クラスで話し合おう」

司会をするとき、議題を提案するとき、発言をするとき等、自分の役割を考えて、より良い話し合いをする。

5年生「立場を決めて討論をしよう」

自分の立場について、説得力のある主張をする。相手の主張と理由について、自分の主張と比べて考えながら聞く。

6年生「町の幸福論～コミュニティデザインを考える～」

意図が伝わるように、適切な事例や資料を挙げ、構成を工夫してプレゼンテーションをする。

#### (2) 「書く」学習方法例

1年生「おはなしをつくろう」

お話の人物を決め、その人物がどのようなことをするのかを考えて書く。

<p style="text-align: center;">東書</p>	<p>2年生『ありがとう』をつたえよう 自分の気持ちが伝わるように手紙を書く。</p> <p>3年生「心にのこったことを」 「始め」「中」「終わり」にどのようなことを、どのような順序で書くか等組み立てを考えて書く。</p> <p>4年生「みんなで新聞を作ろう」 読む人の興味を引くような見出しをつけ、伝えたいことを分かりやすくするために、「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」を書いたり、写真や図、絵などの資料を取り入れたりして新聞を作る。</p> <p>5年生「五・七・五で表そう」 感動や発見について言葉を選び、俳句を作る。 「伝えよう、委員会活動」 読む人が興味をもち、分かりやすく読めるように、キャッチフレーズや見出しなどを使って分かりやすく内容を伝え、工夫してリーフレットを書く。</p> <p>6年生「物語を作ろう」 「始まり」「山場」「終わり」の構成を考えて物語を書く。</p> <p>3 全単元の単元名に、単元全体の言語活動が示されている。また、学習を振り返る観点が、チェックマークで示されている。(ふりかえろう)</p> <p>4 学び方や読み取ったことを整理するための図表が例示されていて、考え方やまとめ方の技法として活用できるようになっている。(2年上P68, 4年下P64, 6年P38 など) また、色分けをして、大切な個所やポイントが示されている。</p> <p>5 既習の言葉の力の活用を促すため、各単元に既習との関連を示す「つながる」欄が設けられている。また、言葉の力を他教科の学習や実生活に活用できるよう、「ひろがる」欄が設けられている。</p> <p>6 それぞれの学年の冒頭に「国語の学習を進めよう」という見開きのページが設けられている。各学年における、一年間の各単元のそれぞれの具体的な学習の方法を見通すことが出来るようになっている。</p> <p>7 学力の基盤として、全学年に「国語のノートの作り方」が示されている。</p> <p>8 「話す・聞く」は、「話し合い」の聞き取り用メモや「スピーチ」の発表メモを活用する学習が示され、「書く」は、「文章見本帳」のこれまで書いた文章を整理することか示されている。「読む」は、読んだ本の中からおすすめの本の推薦カードを書く活動が示されている。</p>
<p style="text-align: center;">学図</p>	<p>1 「読む」の領域の手引きは、教材文の後に配置されている。単元名とめあてが初めに示されていて、学習の流れに合わせて付けたい力を付けるための具体的な方法が示されている。「てびき」をもとに、教材文を学習した後、「ひろげよう」というコーナーで、学んだことをもとに、自分の考えをもつ学習が設定されている。</p> <p>学習方法例</p> <p>1年生「くらしをまもる車」出てくる車を比べる。 「はじめは『や!』」声を出して読む。 「まめ」順序を考えて話す。 「めだかのぼうけん」季節の移り変わりやメダカの様子を読み取る。 「ろくべえまってるよ」役割を決めて読む。</p> <p>2年生「スイミー」気に入ったところを紹介する。</p>

学図

「エンペラーペンギンの子そだて」ペンギンの子そだての仕方を読み取る。  
「ほたるの一生」カレンダーにまとめる。  
「たこのすみ いかのすみ」違いを説明する。  
「食べるのはどこ」出てくる野菜の順序に気を付けて読む。  
「かさこじぞう」登場人物になって読む。  
「とべとべまわれ」作り方を説明する。  
「どんぐり」図や表に整理して説明する。  
「お手紙」登場人物のしたことのわけを想像する。

3年生 「つり橋わたれ」人物がどのように変わったかを読む。  
「合図としるし」合図としるしの事例を書く。  
「ネコのひげ」感想文を書く。  
「モチモチの木」人物の変化とそのきっかけとなるできごとを図にかく。  
「冬眠する動物たち」分類して整理し、説明する。  
「わにのおじいさんのたから物」友達の感じた物語のおもしろさと比べる。

4年生 「白いぼうし」イメージを膨らませて読む。  
「アメンボはにん者か」要点を確かめて、筆者の問いに答える。  
「さわっておどろく」事実と考えを関係付けながら読む。  
「ごんぎつね」物語の描かれ方を話し合う。  
「手で食べる はしで食べる」文化の違いをまとめる。  
「世界でいちばんやかましい音」表現の工夫を見つける。

5年生 「みちくさ」物語のその後を話し合う。  
「東京スカイツリーのひみつ」要旨を捉え、感想を伝え合う。  
「トロッコ電車で行く黒部きょうこく」事実と筆者の見方と関係付ける。  
「レイチェル＝カーソン」伝記を読み、考えたことを話し合う。  
「メディア・リテラシー入門」筆者の考え方と根拠を確かめながら読み、自分の考えをはっきりさせる。  
「大造じいさんとがん」情景描写に注意して読み、他の物語から優れた描写を見付ける。

6年生 「遠眼鏡の海」物語の要素や物語全体が象徴する意味を考えて話し合う。  
「自分の脳を自分で育てる」筆者の主張を読み、事例の果たす役割を考える。  
『『本物の森』で未来を守る』筆者の提案を理解し、吟味する。  
「きつねの窓」語り手以外の立場から読み、自分なりの読みを作る。  
「国境なき大陸 南極」自分の知識と経験を関連付けて筆者の思いを読み取る。  
「その日、ぼくが考えたこと」「ぼく」が「考えたこと」を自分たちの問題として考え、話し合う。

読みをまとめる際の観点を示し、一部ノートの記述例が示されているが、思考するための問いかけが少ないため読みを深めるものになっていないものがある。

2 「話す・聞く」「書く」の領域では、教材名の下に1・2年生は「このべんきょうのすすめかた」、3年生以上は「この単元の学習の流れ」が示してあり、手順を追って学習の目標を達成できるようになっている。

(1) 「話す・聞く」学習方法例

1年生 「わたしのたからもの」伝えたい事柄を考えて話す。

【このべんきょうのすすめかた】



- 1 たからものをえらぶ。 2 はなすことをかんがえる。  
 3 じゅんじよをかんがえる。 4 はっぴょうかいをする。  
 2年生「やっごらん おもしろいよ」話し合っまとめる。

【このべんきょうのすすめ方】

- 1 あそびをきめる。 2 だいじなところをたしかめる。  
 3 せつ明のじゅんばんをせいりする。 4 せつめいのれんしゅうをする。  
 5 お知らせをする。 6 あそび大会をする。

3年生「わたし・ぼくの『すきなこと』『とく意わざ』しょうかい」好きなわけや得意なわけを挙げながら紹介したいことを話す。

【この単元の学習のながれ】

- 1 ざいりようをあつめる。 2 スピーチ原こうを書く。 3 練習をする。  
 4 スピーチ大会を開く。

4年生「自分の安全は、自分で守ろう」課題をはっきりさせ、解決方法を話し合う。

【この単元の学習の流れ】

- 1 調べてきたことを出し合う。 2 話し合っ考える。  
 3 アイデアを発表する。 4 まとめたことを伝える。  
 5 学習をふり返る。

5年生「より良い考え方はどっち？」集めた資料を活用しながら、立場を決めて討論する。

【この単元の学習の流れ】

- 1 討論の進め方を学ぶ。 2 論題を決める。 3 立論を考える。  
 4 資料を作る。 5 質問や答えを考える。 6 討論会をする。

6年生「すいせんします。この委員会活動」効果的な構成を考えながら推薦スピーチをする。

【この単元の学習の流れ】

- 1 活動内容をカードに書く。 2 活動のみ力を整理する。  
 3 スピーチの構成を考える。 4 スピーチ台本をまとめる。  
 5 練習してアドバイスし合う。 6 発表する。

(2)「書く」学習方法例

1年生『音』をさがしておはなしづくり」友達と相談しながら想像したことを書く。

【このべんきょうのすすめ方】

- 1 「音」をさがす。 2 文をつくる。 3 みじかいおはなしをつくる。  
 4 おはなしをつなげる。 5 おはなしをよみあう。

2年生「つづき話を作ろう」物語の続き話を書く。

【このべん強のすすめ方】

- 1 れんしゅうをする。 2 つづき話のさいしよを書く。  
 3 つづきを書く。 4 かんそうをつたえ合う。

3年生「写真が動きだす～写真から物語を作ろう～」写真から分かることを出し合い場面の前後の出来事を想像して話を作る。

【この単元の学習の流れ】

- 1 写真から分かることを出し合う。 2 前後のできごとを想ぞうする。  
 3 物語を作る。 4 物語を作り、読み合う。

4年生「書く」には【この単元の学習の流れ】は示されていない。本文の中で例

<p>学図</p>	<p>文が示され、一文を短くして書く、経験を入れながら筋道を立てて書く、依頼文を書く等の学習が設定されている。</p> <p>5年生「人物を生き生きとえがき出そう」せりふやト書きを使って脚本を書く。</p> <p>【この単元の学習の流れ】</p> <p>1 「きゃく本」を知る。      2 きゃく本作りの準備をする。</p> <p>3 きゃく本を作る。      4 きゃく本を楽しむ。</p> <p>6年生「ぼくの・私の物語作り」登場人物や物語の展開を設定して物語を創作する。</p> <p>【この単元の学習の流れ】</p> <p>1 主題を考え、人物設定をする。      2 ストーリーを考え、構成表を作る。</p> <p>3 物語を書く。      4 作った物語を楽しむ。</p> <p>3 本文中や本文の下、手引きの中にもたくさんのマークが使われている。マークの意味は教科書初めの「使い方」に示されていて、学習の見通しをもつことができる。</p> <p>4 図表や吹き出しでポイントを示したり、色分けをしたりしている。</p> <p>5 説明文の学び方を学ぶために「読むレッスン」の教材が置かれている。(3年生以上)</p> <p>6 「話す・聞く」は、「児童会への提案」に向けた意見のイメージマップ図とスピーチメモを活用する学習等が示され、「書く」は、「随筆作品集」作成のための文例等が示されている。「読む」は、詩においては2作品を並べ、「重ね読み」が設定されている。学習の手引きはない。</p>
<p>三省堂</p>	<p>1 「読むこと」の領域の手引きは、教材文の後ろに見開き2ページで構成されている。学び方について①・②・③のステップで示されている。</p> <p>学習方法例</p> <p>1年生「あいしているから」気持ちを考えながら読む。  「ぼうしのはたらき」違いに気を付けて読む。  「いなばの白ウサギ」昔話を楽しむ。  「なにができるかな」順序に気を付けて読む。  「いしっころ」読んで思ったことを話す。  「夕日のしずく」様子を思い浮かべながら読む。</p> <p>2年生「たろうのともだち」声に出して読む。  「つばめのすだち」順序を確かめながら読む。  「お手紙」気持ちを考えながら読む。  「雨のうた」様子を思い浮かべながら読む。  「きつねのおきやくさま」行動に気を付けて読む。  「たねのたび」大事なことを落とさずに読む。  「かさこじぞう」昔話を楽しむ。  「紙パックで、こまを作ろう」読んで作って遊ぶ。  「フレデリック」おもしろいところを見付ける。</p> <p>3年生「ピータイルねこ」人物の様子に気を付けて読む。  「米と麦」まとまりに気を付けて読む。  「うさぎのさいばん」会話に気を付けて音読する。  「ぼくんち」詩をまねて書く。  「わすれられないおくり物」人物の気持ちを考えながら読む。  『農業』をする魚」まとまりごとの大事なことを捉える。  「身ぶりはたらき」読んで生活の中で確かめる。  「おにたのぼうし」場面の様子を思い浮かべながら読む。</p>

- 4年生「白いぼうし」様子を思い浮かべながら音読する。  
「いわたくんちのおばあちゃん」場面の移り変わりを読み取る。  
「夏の海」様子を思い浮かべながら読む。  
「ごんぎつね」気持ちの変化を考えながら読む。  
「月のかげ絵」段落の関係を捉えて読む。  
「じゃんけんの仕組み」読んで考えたことを確かめる。  
「あたまにつまった石ころが」人物像を捉えて読む。
- 5年生「カニモトくん」表現を味わい豊かに想像する。  
『十秒』が命を守る』内容を正確に捉える。整理し、筆者の主張を捉える。  
「競争」様子が伝わるように工夫して音読する。  
「洪庵のたいまつ」人物の生き方について考える。  
「動物の『言葉』人間の『言葉』」構成を押さえて要旨を捉える。  
「コウノトリが教えてくれた」読んで自分の考えを広げる。  
「大造じいさんとガン」優れた描写を味わう。
- 6年生「竜」朗読を楽しむ。  
「宇宙時代を生きる」筆者のものの見方を捉え、自分の考えを深める。  
「紅鯉」心情の変化を考えながら読む。  
「まほう使いのチョコレート・ケーキ」人物の関わりを考えながら読む。  
『なべ』の国、日本』事実と意見を押さえ、要旨を捉える。  
「猿橋勝子」伝記を読んで人間の生き方について考える。  
「雪わたり」表現の面白さを味わう。

読みをまとめる観点とノートの記入例が一部示されており、読み取る活動の中に感想等の交流が示されているが、発問につながりが見られないものがある。

2 「話す・聞く」「書く」の領域では、手順を追って学習の目標が達成できるようになっている。

(1) 「話す・聞く」学習方法例

1年生「クイズでおしえます」

好きな食べ物をクイズにし、ヒントを出したり質問したりする。

2年生「夏休みの思い出」

心に残っていることやその出来事の中身をカードに抜き出し、順序が分かるように話す。

3年生「声を合わせて楽しく読もう」

二人組になったりグループで読んだりする。

4年生「安全について考えよう」 進行に沿って話し合う。

- 1 話合いの議題を決める。
- 2 話合いの役割を決める。
- 3 話し合う。
- 4 ふり返る。

5年生「メディアについて考える」資料を効果的に使って話す。

- 1 メディアを選んで調査する。
- 2 報告の準備をする。
- 3 報告会を開く。
- 4 ふり返る。

6年生「お札にしたいあの人物」理由を明らかにして話す。

- 1 推せんする人物を決める。
- 2 推せんの理由を書き出す。
- 3 効果的な組み立てを考える。
- 4 推せん発表会を開く。
- 5 ふり返る。

(2) 「書く」学習方法例

1年生「みのまわりのいきもの」

身の回りの生き物を、形や大きさ、色等をよく見て書く。

<p>三省堂</p>	<p>2年生「手紙をこうかんしよう」 手紙を出す相手を決め、伝えたいことや聞いてみたいことを分かりやすく手紙に書く。</p> <p>3年生「何をしているのかな」 絵を見ながら想像し、短い話を書く。</p> <p>4年生「新聞でニュースを伝える」組み立てを工夫して書く。 1 取材をする。 2 記事の組み立てを考える。 3 記事を書く。 4 新聞を読んでもらう。</p> <p>5年生「見学レポート」効果的な組み立てをくふうして書く。 1 見学の準備をする。 2 見学をする。 3 組み立てを考える。 4 レポートを書く。 5 交流する。</p> <p>6年生「自由な発想で～随筆～」場面の様子と自分の思いとを書き分けて随筆を書く。 1 題材を決める。 2 構成を考えて随筆を書く。 3 友達と読み合う。</p> <p>3 単元の終わりに鈴マークと色分け「覚えておきましょう」欄を設け、他の学習や生活に生かせる国語の力を示している。</p> <p>4 それぞれの学年の冒頭に「〇年生で学習すること」という見開きのページが設けられている。各学年における、一年間の各単元のそれぞれの領域と具体的な学習の方法を見通すことが出来るようになっている。</p> <p>5 「話す・聞く」は、「友達に推薦するスピーチ」に向け、読書カードからスピーチメモを作成する例が示され、「書く」は、事がらをまとめて整理して書くための事から関係図が示されている。「読む」は、読み取る活動の中に感想等の交流が示されている。</p>
<p>教出</p>	<p>1 「読むこと」の領域の手引きは、教材文の後に配置されている。4ページで構成されていて、初めの見開き2ページは学習活動①【教材文からの学び】、3ページ目は学習活動②【発展的な学習】、4ページ目は「言葉」「関連図書」となっている。但し、低学年は上記の通りではない場合もある。(1年下P40, 2年下P26, P72, P95などは、教材のめあてをもとに、学び方が示されている。)</p> <p>学習方法例</p> <p>1年生「はたらくじどう車」「やくわり」「つくり」を考える。 「うみへのながいたび」白くまになったつもりで音読する。 「みぶりでつたえる」文章と絵を合わせて読み、身振りについて説明する。 「お手がみ」好きなところを選んで紹介する。</p> <p>2年生「えいっ」行動と気持ちを順番に整理する。 「すみれとあり」順序に気を付けてつながりを説明する。 「きつねのおきやくさま」繰り返し出てくる言葉に気を付けて音読する。 「わにのおじいさんのたからもの」登場人物の考えを想像し話の続きを書く。 「かさこじぞう」好きなところを選び、その理由を話し合う。 「さけが大きくなるまで」順序や場所を表す言葉をカードにまとめる。 「ないた赤おに」登場人物のしたことをまとめる。 「きつつき」説明の順序に気を付ける。 「アレクサンダとぜんまいねずみ」順序に気を付けて読み、あらすじをまとめる。</p> <p>3年生「白い花びら」場面ごとに登場人物の行動や気持ちを捉える。 「めだか」各段落の要点をまとめる。</p>

教出

「のらねこ」登場人物の性格を考える。  
 「おすれられないおくりもの」題名や場面をもとに心の動きを捉える。  
 「くらしと絵文字」段落と段落のつながりに気を付ける。  
 「モチモチの木」気に入った場面を選び、音読し合う。  
 「どちらが生たまごでしょう」写真と文章を結びつける。  
 「おにたのぼうし」場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化をまとめる。

4年生 「白いぼうし」場面ごとに登場人物の性格や様子をまとめる。  
 「花を見つける手がかり」実験の筋道をたどり、「結果」と「結論」、「事実」と「意見」を区別して読む。

「ぞろぞろ」話の面白さを話し合い、音読したり演じたりする。

「一つの花」場面ごとにまとめ、感想文を書く。

「ウミガメの命をつなぐ」興味をもったことをもとに要約する。

「ごんぎつね」情景描写を登場人物の気持ちに重ねて読む。

『便利』ということ 自分の経験と照らし合わせながら読む。

「木竜うるし」登場人物の考え方や気持ちの移り変わりを捉える。

5年生 「いつか、大切なところ」登場人物の心情を場面ごとに工夫してまとめる。

「言葉と事実」具体例と筆者の解説に気を付けて読む。

「新聞を読もう」新聞の構成や記事を比べる。

「大造じいさんとがん」「山場」を視点を変えて書きかえる。

「まんがの方法」文章の展開に気を付けて読む。

「みずぶさがしの旅」筆者の行動から心情を考える。

6年生 「薫風」「迷う」二つの随筆を読んで筆者の思いを考える。

「森林のはたらきと健康」筆者の説明を読み、考えたことを話し合う。

「川とノリオ」優れた表現と場面の様子や登場人物の心情との関わりを考える。

「きつねの窓」文章の特徴を考え構成の工夫を考える。

「ぼくの世界、君の世界」筆者が取り上げた例をもとに要旨を捉える。

「伊能忠敬」忠敬の行動を中心に年表に整理する。

読みをまとめる観点とノートの記入例が一部示されているが、思考するための問いかけが少ないため、読みを深めるものになっていないものがある。

2 「話す・聞く」「書く」の領域では、教材名下に「学習の進め方」がステップを踏んでまとめられていて、学習の見通しをもつことができる。教材はそのステップの番号と同じよう①から始まり、手順を追って学習の目標を達成できるようになっている。

(1) 「話す・聞く」学習方法例

1年生 「学校のことをつたえあおう」聞いたことをメモを使って正しく伝える学習

【がくしゅうのすすめかた】

1 はなしをきくあいてと、ききたいことをまとめる。 2 はなしをきく。

3 きいたことをおもいだして、メモにかく。 4 メモをみながらつたえる。

2年生 『グループ発表会』をひらこう」話し合いの中で、尋ねたり答えたりして、考えを一つにまとめる学習

【学習のすすめ方】

1 「グループ発表会」でしたいことをカードに書き、その理由を話す。

2 カードを見てしつもんし合う。 3 カードをまとめる。

4 はっぴょうするものをきめる。 5 話し合いをふりかえる。

3年生 「たからものをしょうかいしよう」筋道を立てて発表し、友達の意見や感

想をもとに、自分の発表を振り返る学習

【学習の進め方】

- 1 しょうかいするたからものをえらび、発表メモを書く。
- 2 グループの中で発表する。
- 3 グループの中で意見や感想をつたえ合う。 4 クラスで発表する。

4年生「クラスで話し合おう」より良い話し合いにするために、司会者や発言者が気を付けることを確かめる学習

【学習の進め方】

- 1 これまでの話し合いの仕方をふり返る。
- 2 進行について打ち合わせをする。 3 クラスでの話し合い。

5年生『意見こうかん会』をしよう」様々な意見から自分の考えを広げ、立場を決めて話し合う学習

【学習の進め方】

- 1 「意見こうかん会」の進め方を知る。
- 2 「意見こうかん会」の準備をする。 3 「意見こうかん会」をする。
- 4 「意見こうかん会」をふり返る

6年生「未来の自動車～パネルディスカッションをしよう～」パネルディスカッションを通して、意見の違いを大事にしながらかえを深めていく学習

【学習の進め方】

- 1 パネルディスカッションの進め方を知る。
- 2 パネルディスカッションをする。
- 3 感想を発表し合う。

(2)「書く」学習方法例

1年生「おもいだしてかこう」したことを思い出してメモを書き、順番に並べて文章を書く学習

【がくしゅうのすすめかた】

- 1 かきたいことを1つえらぶ。 2 おもいだして、メモにかく。
- 3 メモをもとにぶんしょうをかく。 4 ともだちとよみあう。

2年生「たんけんしたことをつたえよう」「始め」「中」「終わり」のまとまりを考えて分かりやすく書く学習

【がくしゅうのすすめ方】

- 1 書きたいことを集める。 2 「たんけんカード」に書く。
- 3 グループで話し合う。 4 書くじゅんばんを考える。
- 5 カードをならべたじゅんに文章を書く。 6 読みかえす。

3年生「生き物のとくちょうを比べて書こう」理由や例を挙げながら図や資料を使い、工夫して書く学習

【学習の進め方】

- 1 調べたい生き物のとくちょうをさがす。
- 2 くらべてみたい生き物をえらぶ。 3 組み立てメモを作る。
- 4 組み立てメモを読み合う。 5 組み立てメモをもとに文章を書く。

4年生「見学したことを報告しよう」調べて分かったことを組み立てを工夫してまとめ、報告文を書く学習

【学習の進め方】

- 1 課題を見つける。 2 課題にそって見学メモを作る。
- 3 調べたことを整理して、組み立て表を作る。
- 4 組み立て表をもとに報告文を書く。 5 書いた文章を読み返す。

<p>教出</p>	<p>5年生「しょうかいポスターを作ろう」見る人の興味をひくように、構成や表現を工夫してポスターを作る学習</p> <p>【学習の進め方】</p> <p>1 伝える内容を考える。 2 全体の構成や配置を考える。 3 ポスターを作る。</p> <p>6年生「随筆を書こう」読み手に考えが伝わるように表現を工夫して随筆を書く学習</p> <p>【学習の進め方】</p> <p>1 書く事柄を決める。 2 読み手に伝えたいことを決め、構成を考える。 3 伝えたい内容について下書きを書く。 4 下書きをグループで読み合い、助言し合う。 5 助言をもとにすいこうし、清書する。 6 友達と感想を述べ合う。</p> <p>3 「話す・聞く」「書く」の単元末には、「ふりかえり」欄を設け、学習の振り返りや確認が行えるようにしている。</p> <p>4 「読む」の単元末には「ここが大事」欄を設け、学習したことのまとめに役立てることができる。</p> <p>5 「話す・聞く」では、「話し合い」「パネルディスカッション」等の話し方のモデルが示され、「書く」では、リーフレット、意見文等のモデルが示されている。「読む」は問いに対して、考えを整理するための図表例等が示されている。</p>
<p>光村</p>	<p>1 「読むこと」の領域の手引きは、教材文の後に3ページで構成されている。初めの2ページは見開きになっている。3年生以上は上下2段で構成し、上段に読みの観点、下段に言語活動の手順を示している。3ページ目は単元の学習のポイントおよび図書の紹介がされている。</p> <p>学習方法例</p> <p>1年生「くじらぐも」「 」に気を付けて音読する。 「じどう車くらべ」自動車の仕事とつくりをノートに書く。 「たぬきの糸車」登場人物に言いたいことを考えながら読む。 「どうぶつの赤ちゃん」比べながら読む。 「だってだっておばあさん」おばあさんがしたことを場面ごとにまとめる。</p> <p>2年生「ふきのとう」役に分かれて音読する。 「たんぼぼのちえ」順序に気を付けて読む。 「スイミー」自分の気持ちに合う言葉を考えて感想を書く。 「どうぶつ園のじゅうい」時間を表す言葉に気を付けて確かめる。 「お手紙」読みたいところをノートに書き写し音読劇をする。 「しかけカードの作り方」分かりやすくするための説明の工夫を見付ける。 「わたしはおねえさん」あらすじをまとめる。 「おにごっこ」自分の知っていることやしたことを思い出し、文章とつなげて読む。 「スーホの白い馬」話の順に人物のしたことや言ったことを確かめる。</p> <p>3年生「きつつきの商売」場面にかかれてある様子を抜き出す。 「こまを楽しむ」「中」の「問い」と「答え」を整理する。 「もうすぐ雨に」組立を考えて読み、登場人物の気持ちの変化とその理由を考える。 「ちいちゃんのかげおくり」二つの「かげおくり」を比べて読む。 「すがたをかえる大豆」説明の工夫について話し合う。</p>

「三年とうげ」おもしろいと思ったところを見付け紹介する。

「ありの行列」段落のつながりに気を付けて読む。

「モチモチの木」登場人物の人柄や気持ちの変化に注意しながら読む。

4年生「白いぼうし」登場人物の人柄について話し合う。

「動いて、考えて、また動く」興味をもった部分を引用しながら、自分の考えをまとめる。

「一つの花」場面や登場人物の気持ちに気を付けて読む。

「ごんぎつね」読んで考えたことを話し合う。

「アップとルーズで伝える」段落どうしの関係を捉え、説明の工夫について発表する。

「プラタナスの木」場面の移り変わりや出来事に気を付けて読み、心に残ったことを感想文に書く。

「ウナギのなぞを追って」もっとも興味をもったところを中心に要約する。

「初雪のふる日」場面や登場人物の様子について、感じたことが伝わるように音読する。

5年生「なまえつけてよ」人物の関わり合いを読み取り、登場人物の心情を短い言葉でまとめる。

「生き物は円柱形」要旨をまとめて自分の考えを発表する。

「大造じいさんとガン」心情や場面の様子を表す表現に着目して読み、印象に残る表現について伝え合う。

「天気を予想する」「問い」と「答え」の関連について考えたり、説明の仕方の工夫に着目したりする。

「百年後のふるさとを守る」伝記の特色を知ることによって本文から読み取ったことと自分の生き方と関わらせながら読む。

「想像のスイッチを入れよう」事例と意見の関係を押さえて自分の考えをまとめる。

「わらぐつの中の神様」作品の特色を捉え、作品のおもしろさについて話し合う。

6年生「カレーライス」登場人物の心情を表している表現をたどりながら感想をまとめる。

「時計の時間と心の時間」筆者の考えと事例との関わりを捉え、考えたことを発表する。

「やまなし」本文を簡単な絵や図に表し、本文に描かれた世界を自分なりに捉える。

『鳥獣戯画』を読む」筆者のものの見方を捉え、自分の考えをまとめる。

「自然に学ぶ暮らし」筆者の考えを捉え、自分の考えと比べる。

「海の命」登場人物の関係を捉え、人物の生き方について話し合う。

心情や文章構成を整理するための観点と、そのノートの記入例が一部示されている。また、児童が手順を追いながら読みを深められるような学習の流れとなっている。ノートの記述例がある。

2 「話す・聞く」「書く」の領域では、初めに単元全体の流れを示してある。そして、教材自体が1から始まり、手順を追って学習の目標を達成できるようになっている。

(1) 「話す・聞く」

1年生「ともだちにきいてみよう」友達に今一番楽しいことを聞き、みんなに知らせる学習

2年生「ともこさんはどこかな」大事なことを落とさずに迷子のお知らせをよく聞



いて、絵の中からもこさんをさがす学習

3年生「しりょうから分かる、小学生のこと」資料から分かったことを筋道を立てて話す学習

【活動の流れ】

- 1 決めよう・集めよう（しりょうを読む）
- 3 話そう・聞こう（組み立てを考え、発表する）
- 3 つなげよう（分かりやすい表現の仕方を考える）

4年生「聞き取りメモの工夫」大事なことを落とさずにメモを取りながら聞く学習

【活動の流れ】

- 1 決めよう・集めよう（メモを取った経験を思い出す）
- 2 話そう・聞こう（話を聞きながらメモを取る、メモの取り方の工夫について考える）
- 3 つなげよう（目的に合ったメモの取り方について考える）

5年生「すいせんします」説得力のある構成を考え、推薦するスピーチをする学習

【活動の流れ】

- 1 決めよう・集めよう（求められていることを確かめ、推薦するものを決める。推薦する理由をはっきりさせて、整理する）
- 2 話そう・聞こう（スピーチの内容や構成を考える。スピーチする。）
- 3 つなげよう（気付いたことを伝え合う）

6年生「学級討論会をしよう」立場を明確にして主張し合い、考えを広げる学級討論をする学習

【活動の流れ】

- 1 決めよう・集めよう（一人一人が、立場ごとに考えられる理由を挙げる）
- 2 話そう・聞こう（討論会の進め方を確かめ、準備をする。学級討論会をする。）
- 3 つなげよう（討論会を振り返る）

(2)「書く」

1年生「しらせたいな、見せたいな」家の人に伝えるために、学校にいる生き物が様子が分かるようによく見て書く学習

2年生「かんさつ名人になろう」丁寧に観察して、気が付いたことを詳しく記録する学習

【がくしゅうのすすめかた】

- 1 かんさつするものをきめて、ていねいにかんさつする。
- 2 かんさつしたことをきろくする文しょうを書く。
- 3 書いた文しょうを読みあう。

3年生「ことわざについて調べよう」ことわざや故事成語などを本で調べて報告する文章を書く学習

【活動の流れ】

- 1 決めよう・集めようにとわざを知る、同じ特徴をもつことわざを集めて、意味を調べる。
- 2 組み立てよう（組み立てに沿って、内容を考える。）
- 3 書こう（報告書にまとめる、書いたものを読み返す）
- 4 つたえよう（できあがったものを読み合う）

4年生『クラブ活動リーフレット』を作ろう」説明の仕方を工夫して、わかりやすく伝える文章を書く学習

【活動の流れ】

<p>光村</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 決めよう・集めよう（説明する相手と内容を決める）</li> <li>2 組み立てよう（文章の組み立てを考える）</li> <li>3 書こう（説明する文章を書く）</li> <li>4 伝えよう（リーフレットの形にして、読み手に伝える）</li> </ol> <p>5年生「次への一歩～活動報告書～」事実と意見を区別して、活動を報告する文章を書く</p> <p>【活動の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 決めよう・集めよう（活動を振り返る）</li> <li>2 組み立てよう（活動報告書の書き方を知る）</li> <li>3 書こう（活動報告書をまとめ、書いたものを読み返す）</li> <li>4 伝えよう（活動報告を読みあう）</li> </ol> <p>6年生「この絵、私はこう見る」絵を見て読み取ったことや感じとったことを書き出し、表現を工夫して文章に書く学習</p> <p>【学習の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 決めよう・集めよう（絵を見て、読み取ったことや感じ取ったことを書き出す）</li> <li>2 組み立てよう（何をどの順で書くか決める）</li> <li>3 書こう（表現を工夫して、文章に表す）</li> <li>4 伝えよう（書いた文章を読み合う）</li> </ol> <p>3 全単元に学習を振り返る観点が見られ、チェックマークで示されている。（ふりかえろう）</p> <p>4 必要に応じて図表やマップなどを配し、考え方やまとめ方の技法として活用できるようにしている。（2年上P112, 4年上P117, 5年P64など）</p> <p>5 「話す・聞く」は、「話の意図を考える」ために三人一組でのインタビューが示され、「書く」は、事実と意見を区別するために「活動報告書」を書く活動が示されている。「読む」は、心情や文章構成を整理するための表をノートにまとめる活動が示されている。</p>
-----------	--

【国語】

観点	基礎・基本の定着
視点	③伝統と文化に関する内容の記述
方法	伝統的な言語文化に関する単元数と単元名，取り上げられている古典の作品等

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【単元数】 1・2年生…8, 3・4年生…13, 5・6年生…17</p> <p>・各学年2か所（1年生は1か所）            1年生（下）むかしばなしをたのしもう「花さかじいさん」            2年生（上）言いつたえられているお話を知ろう                「だいだらぼう」「やまたのおろち」「いなばの白うさぎ」                （下）おばあちゃんに聞いたよ 十二支，春の七草，小の月，いろはうた，                むかし話をしようかいしよう 「かさこじぞう」            3年生（上）俳句に親しもう 俳句 四季ごと全13句                （下）わらい話を楽しもう 「白ねずみ」「はとが聞くから」            4年生（上）「ことわざブック」を作ろう ことわざ8，故事成語4                （下）「百人一首」を声に出して読んでみよう 百人一首10首            5年生 ○ 古文を声に出して読んでみよう                「竹取物語」「平家物語」「おくのほそ道」                ○ 古文に親しもう 「枕草子」            6年生 ○ 漢文を読んでみよう 「論語」「十七条の憲法」「春暁」                ○ いにしえの言葉に学ぶ「初心忘るべからず」などの名言全5</p> <p>・巻末に伝統的な言語文化に関する資料が挙げられている。            2年生（下P164～）「日本のお話」8            3年生（上P158～）「日本の俳句」全8首（鞍の浦）                （下P180～）「日本のわらい話」3            4年生（上P146～）「日本のかるた」全7（下P178～）「日本の短歌」全7首（尾道）            5年生（P274～）「日本の文学館」宮沢賢治記念館 他全14館の紹介            6年生（P262～）「日本の伝統芸能」能，狂言，人形浄瑠璃，歌舞伎，落語（広島神楽）            ・「日本語のしらべ 春・夏・秋・冬」（2年生以上）            （例）季節の詩，ことばあそび（2年生），季節の行事（2年生），俳句（3年生以上），            短歌（4年生以上），季節の気候を表す言葉（4年生）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>伝統的な言語文化に関する単元が系統的に設けられており，昔話，古文や漢文等，              児童は発達段階に応じて親しみながら学習を進めることができた。また，単元数              が多いため，様々な作品に触れることができ，児童は伝統的な言語文化に対する理解              を深めることができた。</p> </div>

	【単元数】 1・2年生…4, 3・4年生…5, 5・6年生…5			
学図	学年	数	単元名	教材名
	1	1	むかしばなし	うみの水はなぜしょっぱい
	2	2	昔話「ヤマタノオロチ」 となえておぼえることば	ヤマタノオロチ ももくりさんねんかきはち ねん
	3	2	俳句「言葉のリズムを感じてみよう」 昔話	俳句(12) 三まいのおふだ
	4	2	「言葉から風景を想ぞうしよう」 「声に出して短歌のリズムを楽しもう」	百人一首(20) (俳句と短歌)
	5	3	古文「言葉の文化に親しもう」文語詩 ずいひつを書こう 俳句・短歌を作ろう	宇治拾遺物語、やしの実 枕草子
	6	2	狂言「言葉の文化を体験しよう」 漢詩	盆山 胡隠君を尋ぬ
三省堂	【単元数】 1・2年生…3, 3・4年生…6, 5・6年生…8			
	1年生 いなばの白ウサギ 2年生 かさこじぞう 3年生 カルタを作ろう 4年生 落語 じゅげむ 5年生 狂言「しびり」・詩「雪」「土」句会を楽しむ 6年生 自由な発想で「随筆」短歌を作る			
教出	<p>・各学年2か所(1年生は1か所)</p> <p>1年生(下) むかしのおはなしをたのしもう「天にのぼったおやけさん」 2年生(上) 「いろは」をしろう (下) むかしのお話を楽しもう 「いなばのしろうさぎ」(古事記)</p> <p>3年生(上) 俳句に親しむ10句 (下) ことわざ・慣用句23</p> <p>4年生(上) 短歌の世界6 (下) 故事成語7</p> <p>5年生(上) 漢文に親しむ「春暁」「春夜」「静夜思」「論語」「大学」 (下) 「古典」を楽しむ「竹取物語」「平家物語」「伊曾保物語」(イソップ童話) 日本の伝統芸能(狂言, 人形浄瑠璃, 歌舞伎)</p> <p>6年生(上) 春はあけぼの「枕草子」 (下) 言葉は時代とともに「万葉集」, 正岡子規の短歌・俳句, 夏目漱石「坊ちゃん」, 芥川龍之介「杜子春」</p> <p>・巻末資料</p> <p>1年生 しりとり 2年生 わらべうた, 七草 3年生 季語 4年生 月のつく言葉, 落語, もみじに関わる歌や言葉, 下巻付録「百人一首」を読もう 5年生 鳥が出てくる言葉, 歌, 俳句 下巻「俳句・短歌を作ろう」「折句を作ろう」付録「附子」 付録「短歌や俳句を楽しもう」 6年生 雨に関わる言葉 付録 伝えられてきた作品「徒然草」「おくのほそ道」「アイヌ神謡集」 「おもろそうし」(沖繩) 「回文を作ろう」</p>			

光村	<p>【単元数】 1・2年生…6, 3・4年生…16, 5・6年生…18</p>
	<p>・各学年2か所「声に出して楽しもう」(3年生以上) →古典の一節や俳句・短歌</p> <p>1年生 (上) 「おむすびころりん」 (下) むかしばなしがいっぱい</p> <p>2年生 (上) ことばあそびをしよう (下) ことばを楽しもう</p> <p>3年生 (上) 俳句を楽しもう 俳句6首 「いろは歌」 (下) 短歌を楽しもう 短歌4首</p> <p>4年生 (上) 短歌・俳句に親しもう (一) 近世以前6首 (下) 短歌・俳句に親しもう (二) 近代6首</p> <p>5年生 ○ 古典の世界 (一) 「竹取物語」「平家物語」「徒然草」「おくのほそ道」 ○ 古典の世界 (二) 「論語」, 漢詩「春暁」</p> <p>6年生 ○ 伝えられてきたもの 狂言「柿山伏」 ○ 「天地の文」 福沢諭吉</p> <p>・巻末資料</p> <p>1年生 しりとり 2年生 「十二支のはじまり」</p> <p>3年生 「ことわざについて調べよう」 4年生 慣用句 下巻巻末 百人一首</p> <p>5年生 ○ 「日常を十七音で」(P98～) 俳句 ○ 巻末 古典に親しもう 「浦島の太郎」(御伽草紙) 「犬と肉(ししむら)の事」(伊曾保物語)</p> <p>・「季節の言葉」(2年生以上)</p> <p>・「聞いて楽しもう」(昔話 読み聞かせ)</p> <p>1年生 「まのいいりょうし」</p> <p>2年生 「いなばの白うさぎ」「三まいのおふだ」 3年生 「たのきゅう」</p> <p>4年生 「ふるやのもり」 5年生 「見るなのざしき」 6年生 「河鹿の屏風」</p>

【国語】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④興味・関心を高めるための工夫
方 法	身近な話題や社会の出来事を取り上げた単元名，題材，内容

発行者	調査・研究内容
東書	<p>・ 生活の中の多様な形式のテキスト（保健だより，広告，新聞記事や投書など）が取り上げられ，実生活で活用・応用できる読む力が養われる工夫がされている。</p> <p>例①</p> <p>・ 4年上 「広告と説明書を読みくらべよう」では，見開き2ページに「広告のちらし」，次の見開き2ページには「取りあつかい説明書」が紹介され，その学習の発展としてポスターやペットボトルのラベルなど表し方の工夫を見つけていく学習が組まれていて，児童の興味・関心を高める工夫がなされている。</p> <p>例②</p> <p>・ 5年 「新聞記事を読み比べよう」では，2つの新聞記事の読み比べの学習をふまえて，児童が新聞を持ち寄り，記事と写真に合った見出し作りの学習が生まれ，身近な話題や社会の出来事がうまく取り上げられている。</p> <p>・ 1年 「いろいろなふね」「歯がぬけたら どうするの」「『じゃんけんやさん』をひらこう」</p> <p>・ 2年 「たんぼぼ」「ふろしきは，どんなぬの」「あなのやくわり」</p> <p>・ 3年 「自然のかくし絵」「『ほけんだより』を読みくらべよう」「もうどう犬の訓練」「人をつつむ形―世界の家めぐり」</p> <p>・ 4年 「広告と説明書を読みくらべよう」「くらしの中の和と洋」「『ゆめのロボット』を作る」「報告します，みんなの生活」</p> <p>・ 5年 「新聞記事を読み比べよう」「和の文化を受けつぐ―和菓子をさぐる」「テレビとの付き合い方」</p> <p>・ 6年 「新聞の投書を読み比べよう」「町の幸福論―コミュニティデザインを考える」「プロフェッショナルたち」</p> <p>○ 全学年で3～4の単元が扱われている。生活の中の多様な形式のテキストが，日常的な読書につながるものである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>総合的な学習の時間とつなげることができる話題や教材が多く，課題発見・解決学習につながる単元開発を行うことができた。</p> </div>

<p>学図</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年 「なぜでしょう」「くらしをまもる車」</li> <li>・ 2年 「ちがいをくらべて書こう」「食べるのはどこ」「地いきの行事のできごとをほうこくしよう」</li> <li>・ 3年 「合図としるし」「ネコのひげ」</li> <li>・ 4年 「アメンボはにん者か」「さわっておどろく」「手で食べる，はしで食べる」</li> <li>・ 5年 「生命のかて・塩」「メディア・リテラシー入門」</li> <li>・ 6年 「発明・発見は，はてなから」「『本物の森』で未来を守る」</li> </ul> <p>○ 全学年で2～3の単元が扱われている。5年生「生命のかて・塩」では，児童の身の回りにある食べ物を取り上げている。身近にある塩のもつ働きを，順序をふまえながら読み進めていく学習が設定されている。しかし，資料等が写真でないものもあり，日常的な読書にはつながりにくい。</p>
<p>三省堂</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年 「しっぽ しっぽ」「ぼうしの はたらき」</li> <li>・ 2年 「つばめのすだち」「たねのたび」</li> <li>・ 3年 「米と麦」「『農業』をする魚」</li> <li>・ 4年 「打ち上げ花火のひみつ」「安全について考えよう」「新聞でニュースを伝える」</li> <li>・ 5年 「『十秒』が命を守る」「メディアについて考える」「動物の『言葉』人間の『言葉』」</li> <li>・ 6年 「宇宙時代を生きる」「『なべ』の国，日本」</li> </ul> <p>○ 全学年で1～3の単元が扱われている。5年生「動物の『言葉』人間の『言葉』」では，児童にとって身近な動植物を取り上げ，動物や世界の子供たちの写真等を参考にしながら読み進め，文章の構成や要旨を捉える学習が設定されている。しかし，日常的な読書にはつながりにくい。</p>
<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な話題として，郷土を大切に思い，愛する心が育めるような題材を取り上げられている。</li> <li>例①</li> <li>・ 5年上 『わが町ベスト・スリー』を決めよう』では，聞き手が納得するような伝え方や構成について教材文で学習することをふまえて，「町じまん」を選んで推薦する学習が展開され，身近な話題に向き合う工夫がなされている。</li> <li>・ 1年</li> </ul>

	<p>「だれが、たべたのでしょうか」「はたらく じどう車」「みぶりで つたえる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2年 「すみれとあり」「きつつき」</li> <li>・ 3年 「めだか」「くらしと絵文字」「どちらが生たまごでしょうか」「町の行事について調べよう」</li> <li>・ 4年 「花を見つける手がかり」「『不思議図かん』を作ろう」「『便利』ということ」</li> <li>・ 5年 「『わが町ベスト・スリー』を決めよう」「世界遺産 白神山地からの提言」「まんがの方法」</li> <li>・ 6年 「森林のはたらきと健康」「意見文を書こう」</li> </ul> <p>○ 全学年で2～4の単元が扱われている。5年生「『わが町ベストスリー』を決めよう」では、聞き手が納得するような伝え方や構成について教材文で学習することをふまえ、「町じまん」を選んで推薦する学習が設定されている。他教科等に興味・関心をもたせ学習を広げることができる。</p>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 筆者の考えをとらえる中で、自分たちの生活をふり返ることにつながり、児童の興味・関心を高めている。</li> </ul> <p>例①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6年 「自然に学ぶ暮らし」では、筆者が紹介する自然の仕組みを自分たちの生活に置き換えて比べることを通して、身の回りの自然との関わり方や未来の生活について考える構成になっている。筆者の問題提起の読み取りが、児童の興味・関心を高めることにつながっている。</li> <li>・ 1年 「くちばし」「じどう車くらべ」「どうぶつの赤ちゃん」</li> <li>・ 2年 「たんぼぼのちえ」</li> <li>・ 3年 「気になる記号」「すがたをかえる大豆」「ありの行列」</li> <li>・ 4年 「動いて、考えて、また動く」、「ウナギのなぞを追って」</li> <li>・ 5年 「生き物は円柱形」「天気を予想する」</li> <li>・ 6年 「時計の時間と心の時間」「ようこそ、私たちの町へ」「自然に学ぶ暮らし」</li> </ul> <p>○ 全学年で、1～3の単元が扱われている。5年生「天気を予想する」では、筆者の考えを文章や図表・グラフ・写真から読み取る中で、自分たちの生活（身の回りの自然との関わり方）と比べる学習が設定されている。しかし、日常的な読書にはつながりにくい。</p>



【国語】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑤課題解決的な学習を実施するための工夫
方 法	課題とそれを解決するために設定された学習方法

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を通して取り組む言語活動の端的な提示（単元名）と身に付けさせたい力の提示が教材の最初になされている。</li> </ul> <p>○課題を解決するために設定された学習方法</p> <p>&lt;書くこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生           <p>順序よく書くことを例示している。メモに整理し、それをもとにした例文が紹介され、推敲のポイントと交流の方法が示されている。（上86）また、想像を広げて書く学習では、場面の絵とあわせて例文が提示されている。（下24）</p> </li> <li>・4年生           <p>組み立てを考えて文章を書くことを例示している。短い文にまとめたカードをもとに、組み立てメモを作る具体例があり、例文・推敲・交流の学習方法も示されている。（上110）また、既習事項との関連を促す「つながる」コーナーが設けられ、学習の積み重ねが図られている。（下50, 124）</p> </li> <li>・6年生           <p>連想をもとにした、題材集めの学習方法が提示され、メモを整理し、作品を仕上げる学習過程が紹介されている。（28）また、効果的な意見文を書くための資料の活用を、資料と文章を併記することで、資料の扱い方やその効果について紹介されている。（90）</p> <p>・課題を解決するための方法として、学習指導要領の指導事項をもとに、多様な文種が設定されており、発達段階に応じた内容となっている。資料を生かして考えたことを書くという課題の学習では、資料を正しく活用する手順や、文章の型が示されている。また、書く活動の過程も具体的に示されている。</p> </li> </ul> <p>&lt;読むこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生           <p>○課題「たんぼぼのひみつを見つけよう」～じゅんじよにきをつけて読む。</p> <p>○手引き・じゅんじよをたしかめながら読もう。（順序を把握するための絵の例示、ワークシート例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見つけたたんぼぼのひみつをつたえよう。（伝え方のポイント例 一つ目は、…）</li> </ul> </li> <li>・4年生           <p>○課題「説明のまとまりを見つけよう」～段落どうしの結びつきを考えて読み、文のまとまりをとらえる。</p> <p>○手引き・説明のまとまりをみつけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまりに気を付けながら文章を読んで、感想や考えたことを伝え合おう。</li> </ul> </li> <li>・6年生           <p>○課題「文章を読んで自分の考えを持とう」～事実と意見との関係に注意して筆者の考えを読み取る。文章に対する自分の考えを持つ。</p> <p>○手引き・事実と意見との関係に注意して、筆者の述べていることを確かめながら読もう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者のあげている例に注意しながら、文章の構成をとらえて要旨を確かめよう。</li> <li>・読み取ったことをもとに、自分の考えをまとめよう。</li> </ul> </li> </ul>

	<p>・イラストの子供たちの言葉をもとに考え、構成図を完成させる学習が設定されている。「てびき」には、言語活動とねらいをふまえた単元全体の学習課題が提示されている。また、学習活動（ねらいをふまえた）の具体が示された「言語活動」が設定されており、学習課題と学習活動の関連を示している。</p> <p>本単元で学んだ学習方法を他教科等に生かすことができる単元開発を行いやすく、教科横断的なカリキュラムづくりに有効であった。</p>
<p>学図</p>	<p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元名は学習のゴールとして示され、学習のてびきの見出しは、その学習のゴールに向かうために、中心的に学習することが示されている。(習得したことを活用するという意図)</li> </ul> <p>○課題を解決するために設定された学習方法</p> <p>&lt;書くこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生 <ul style="list-style-type: none"> <li>メモを書く活動を書く活動として位置付け、指導することができる。(上40) 詩を書く活動について、メモ的な例文と効果的な表現を比較して書き方を学ぶことができるようになっていく。(下28) 違いを比べるという活動を、表を使って観点別に整理するようにしてある。(上104) 続き話を作ろうということ、書くための手順を追って例も入れて示されている。(下52) 地域の行事を報告する活動において、書く活動を前提に話すことと聞くことの活動につなげている。(下78)</li> </ul> </li> <li>・4年生 <ul style="list-style-type: none"> <li>段落と段落の関係を考え、書くことを重点的にとらえるよう、推敲前と推敲後の例を示してまとめている。(上50) また、筋道を立てて書くことについて、事実と理由という観点でつなぐ学びができるようになっていく。(上66) そのような基礎的な学びを行ったうえで、実際に見学したことを報告するという活動を、メモを取る場や書く活動の実際場面等の例も示しながら、まとめられている。四コマまんがを題材に、話の展開を考えて書く活動を行うことができるようになっていく。(下66) ミニギャラリーの解説員になろうという学習活動を書く活動と解説する活動を合わせて単元構成されている。(下88)</li> </ul> </li> <li>・6年生 <ul style="list-style-type: none"> <li>文章構成の効果を考えるという基礎的な学習を行うようになっていく。(上62) 電子メールを「書く活動」として扱われている。(106) 調べたことをレポートにまとめる活動を学習過程にそってまとめられている。(108) 卒業レポートを書くことを、「構成、記述、推敲、交流」という学習過程を明確にして示している。(90)</li> </ul> </li> </ul> <p>・課題解決的な書くことの学習を実施するために、学年の初めに学習指導要領の指導事項を取り出して学習する単元があり、学習内容・方法の焦点化も図られている。すじ道（論理）を確かめるという課題の学習では、例文を参考にすじ道を立てる学習が示されている。作品例は示されているが、学習の進め方が少し具体的でない。</p> <p>&lt;読むこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生 <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題「ペンギンの子そだてをまとめよう」</li> <li>○手引き・きせつごとのエンペラーペンギンのようすを下の表にまとめましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンペラーペンギンがすることのわけを文しょうから考えましょう。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・4年生 <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題「要点をたしかめ、筆者の問いに答えよう」</li> <li>○手引き・題名「アメンボはにん者か」は、問いの形になっています。この題名について文章を読む前に思ったことと、読み終わってから感じたこととを比べてみましょう</li> </ul> </li> </ul>

	<p>う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章全体を「はじめ」「中」「終わり」に分けて考えましょう。</li> <li>・何のための実験か、説明しましょう。</li> </ul> <p>※単元の前に読むレッスン（練習教材）</p> <p>・6年生</p> <p>○課題「脳の働きを知り、自分自身に生かそう」～筆者の主張を読み、事例の果たす役割を考えよう～</p> <p>○手引き・「前頭前野」についてまとめているところを抜き出しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張にいたるまでの実験について、整理しましょう。</li> <li>・筆者は、どんな考察をしましたか。整理して書きましょう。</li> <li>・自分の脳を自分で育てるために、自分でできることはどんなことだと思いますか。本文を読んだことから考えをまとめて発表しあいましょう。</li> </ul> <p>※単元の前に「読むレッスン」（練習単元）</p> <p>・課題を解決するための方法として、読むことの学習を実施するために、説明的な文章を中心に、本教材の前に練習教材（読むレッスン）が設定され、そこで学んだことを生かしたり、二つの教材をセットとしたりして、課題を自ら解決することができる工夫がなされている。（「重ね読み」「比べ読み」）</p>
三省堂	<p>○課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元名が学習課題として設定されているが、手引きでも同じ表現が使われており、その具体化が図られていない。（指導事項との関連の中で）</li> </ul> <p>○課題を解決するために設定された学習方法</p> <p>&lt;書くこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生       <p>順序よく書くことを例示している。五つのメモと対応した例文が提示されている。推敲のポイントは示されているが、推敲場面の具体的な文章が示されていない。（60）想像を広げて書く学習では、見開き2ページにわたって大きな絵が示されていて、話の続きを想像していく提示になっている。（164）</p> </li> <li>・4年生       <p>単元冒頭で、学習過程のフローチャートが提示されている。（58, 164）また、推敲場面で具体的な表記の訂正を提示している。（112）仕上げた作品を多くの人に紹介する方法を提示し、相手意識をもたせている。（168）</p> </li> <li>・6年生       <p>単元冒頭で、学習過程のフローチャートが提示されている。（62, 160）また、組み立ての例をもとにした例文が紹介され、ふり返りの具体的な視点が提示されている。（166）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書く活動の過程が示されていない部分がある。</li> <li>・推敲の仕方を学ぶとき、手書き文字で加筆・修正等を行っている資料があり、より具体的なやり方が分かる。</li> <li>・「書くこと」の系統が明確で、多様な文種にふれ、多様な学びを行うことができる。また、取材方法の具体化が図られている。</li> <li>・事がらを集め整理して書くという課題の学習では、事がらのつながりを捉えるマップと例文が示されており、書いた後は交流が設定されている。しかし、手順として示されていることが具体的な内容として記述されていない部分がある。</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;読むこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生       <p>○課題「じゅんじょをたしかめながらよもう」</p> <p>○手引き・気づいたことをはなす</p> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かかれていることをよみとる</li> <li>・4年生 <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題「段落のつながりに気をつけて読もう」</li> <li>○手引き・読んで考えたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまりごとにくわしく読み取る。</li> <li>・筆者の伝えたいことを読み取る。</li> <li>・文章を要約する。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・6年生 <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題「筆者のものの見方をとらえ、自分の考えを深めよう」</li> <li>○手引き・読んで考えたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者のものの見方をとらえる。</li> <li>・考えたことを交流する。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>・学習課題を達成するために、手引きの内容は、基本的な流れとなっている。また、内容を正確に捉えるという課題の学習では、三段階の学習課題が示されている。</p>
<p>教出</p>	<p>○課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のゴールを描いた単元名となっている。</li> </ul> <p>○課題を解決するために設定された学習方法</p> <p>&lt;書くこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生 <p>単元冒頭に「学習のすすめ方」が提示されている。また、メモを書いたカードが修正されたり、組み立てに使われたりして、カードの活用が図られている。組み立てや推敲の場面で吹き出しを使って、学習のヒントを提示している。(上 54, 下 46, 108)</p> </li> <li>・4年生 <p>単元冒頭に「学習のすすめ方」が提示されている。(上 50, 下 22, 100)推敲の場面では、ポイントと記号を提示し、具体的な表記で示している。(上 50) また、例文の具体的な文章の工夫点を欄外に紹介している。(上 54, 下 24, 102)</p> </li> <li>・6年生 <p>図を用いた課題発見や組み立て・整理の方法を提示している。(上 14) 単元冒頭に「学習のすすめ方」が提示されている。(上 104, 下 32, 52) また、例文の具体的な文章の工夫点を欄外に紹介している。(上 106, 下 55)</p> </li> </ul> <p>・書く活動の過程が図や吹き出しを使って示してあり、学習の進め方が分かりやすい。また、教材における例文も指導のポイントと合わせて示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書く」の領域で、活動報告をまとめるという課題の学習では、文章の構成を目次としてまとめたり、段落構成等を考えさせたりする「学習の進め方」が示されている。</li> </ul> <p>&lt;読むこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生 <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題「つながりを せつめいしよう」～順序に気をつけて読みましょう</li> <li>○手引き・すみれとありのすることに気を付けて読む。(カード) <ul style="list-style-type: none"> <li>・すみれとありのつながりを説明する。(説明例)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・4年生 <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題「わかったことを説明しよう」～実験のすじみちをたどりながら読みましょう。～</li> <li>○手引き・実験でわかった事実と、そこから考えたこととの関係に気を付けて、文章を読みましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「もんしろちょうのよく集まる花」について説明しましょう。(理由を説明する例示)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・6年生</li> </ul>

	<p>○課題「伝えたいことをすいせんする文にまとめよう」 ～説明の仕方に着目して読みましょう。～</p> <p>○手引き・筆者が、森林のはたらきをどのように説明しているかに気を付けて読みましょう。(考えた根拠の例示)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「森林のはたらきと健康」のすいせん文を書きましょう。(伝えたいことの例示, 推薦文の例示)</li> </ul> <p>・単元における学習のゴールを表現として位置付け、読みを深めたものを条件に応じて表現させたり、「読むこと」と「書くこと」との内容的な関連を図ったりするなど、表現することの目的をもたせて、読むことの課題解決を行わせることができるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の工夫や登場人物の性格を捉えるという課題の学習でのまとめとなる「図書すいせん会」が単元全体の言語活動として設定されている。</li> <li>・手引きが「導入部」「展開部」「活用部」として、役割が明確であり、課題解決に必要な読みの技能が示されている。</li> </ul>
光村	<p>○課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のまとめりごとに、身に付けたい力(学習課題)を単元名とリード文で示されている。</li> </ul> <p>○課題を解決するために設定された学習方法</p> <p>&lt;書くこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生 書くことの例示がある。(上22)また、学習過程にそってメモやそのメモを使った文章が例示してある。そして、その例示に文章構成などの指導のポイントが示されている。(上64下118)</li> <li>・4年生 学習の流れが最初に示してある。グループで共同学習をする際のポイントが示されている。学習過程に沿って絵や記述例が示されている。(上54 上84)など複数の文例が示されている。(上84)リーフレット作りの活動があり、その構成表と例文が示されている。(下44)詩を書く活動が位置付けられている。(下77)学習過程にそって指導のポイントや作品例が関連付けて示されている。(下94)</li> <li>・6年生 ブレーンストーミングや対立軸を設けた着想方法を学び、その方法を取材活動に生かすという学習となっている。学習過程に沿った例示あり。(78 98)また、「話すこと・聞くこと」の学習を「書くこと」の活動につなげる単元構成がなされる単元もある。(98)「読むこと」の学習で学んだ内容と関連付けて絵を見て考えたことを表現する活動が設定されている。また、学習過程にそった指導のポイントが示されている。(147)</li> <li>・それぞれの学年に「たいせつ」という学習のポイントが示されている。</li> <li>・書く活動において作品例を複数示したり、ブレーンストーミングなど着想の方法を明示したりするなどして、書く活動の過程の具体化を図っている。</li> <li>・書く活動を学習のゴールとしながら、その前提として「話すこと・聞くこと」の学習を設定したり、「読むこと」の学習を受けて「書くこと」の学習に繋げたりして、他の領域との関連を図りつつ指導する工夫がなされている。</li> <li>・説明の仕方の工夫を見付けるという課題の学習では、文中の問いと答えに着目させ、その工夫についての話合いが設定されている。</li> </ul> <p>&lt;読むこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生 ○課題 「じゅんじょに気をつけて読もう」 ○手引き・はじめて知ったことやふしぎだとおもったことをはなそう。 ・ときをあらわすことばや、かわっていくじゅんじょに気をつけて読みましょう。</li> </ul>

- ・たんぼぼのちえには、どんなわけがありますか。
- ・たんぼぼのちえで、かしこいとおもうところはどこですか。わけと一つよにかきぬきましょう。

・ 4年生

○課題「きょうみをもったところを発表しよう」～それぞれの段落は、どのようにつながっているでしょう。

○手引き・文章内容をとらえよう。(読み取りのポイント)

- ・自分の考えを発表しよう。(言語活動)

※練習教材「大きな力を出す」

・ 6年生

○課題「筆者の意図をとらえ、自分の考えを発表しよう」～挙げられている事例に気をつけて、筆者の考えを読み取ろう

○手引き・事例との関わりに気をつけて、筆者の考えを読もう。(読み取りのポイント)

- ・自分の考えを発表しよう。(言語活動)

※練習教材「笑うから楽しい」

・学習課題に対して「読み取る力(読み取りのポイント)」と「言語活動(読み取ったことでの発表・発展的学習のポイント)」を單元ごとに一体化して示している。「言語活動」には、発言例なども示されている。

・説明的な文章では、課題解決の方法として、学年最初の單元において、練習教材から本教材という教材配列がなされており、練習教材の学びを生かした学習ができるようになっている。

・表現を工夫して物語を書くという課題の学習では、1枚の写真から物語を書くという課題の学習では、想像を書き出したり、構成を考えさせたりする、「活動の流れ」が示されている。

・説明の仕方の工夫を見付けるという課題の学習では、文中の問いと答えに着目させ、その工夫についての話し合いが設定されている。

・それぞれの学年に「たいせつ」という学習のポイントが示されている。

## 【国語】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑥見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方 法	相手や目的、方法等を明確にした構成、ワークシート・表、評価活動

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の学習を見通すことができるよう、目次の次に「学習のロードマップ」が設けられ、領域ごとに年間のつながりがわかる工夫がなされている。例①4年上「どんな学習をするのかな」他</li> <li>・单元ごとに「てびき」が紹介され、具体的な学習方法が箇条書きで分かりやすく書かれたり、図や表で説明されたりして、児童の思考を助けている。</li> <li>・各巻末には、身につけた「言葉の力」の振り返りや確認ができるように「言葉の力のまとめ」が設定されている。</li> <li>・单元ごとの「てびき」の最後には、単元のねらいに対応した単元の振り返りと評価のためのチェック欄（評価項目等）が設けられている。</li> <li>・「読む」領域では、2～3ページに「てびき」が紹介され、上下2段組によって学習の流れが明示され、題材巻末には、振り返りと評価のチェック欄が設定されている。</li> <li>・「話す・聞く」「書く」領域では、題材そのものに①②③などの学習のまとめりに番号が付けられ、学習の手順（振り返りと評価も）が示されている。</li> <li>・各单元には、「つながる」コーナーが設定され、他の教材との関連を明示している。</li> <li>・話し合うことにおいて、例えば、相手が適切な理由を挙げているか考えながら聞くために、「練習用例文」→「話し合い（聞き取りメモを使用）」→「振り返り」という構成となっている。聞き取りメモには相手の発言やそれをもとにした自分の立場を明確にして理由を書かせる欄、自分の活動を振り返る欄が示されている。</li> </ul>
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「話す・聞く」「書く」領域では、「この単元の学習の流れ」が図示されることで見通しをもち、「振り返り」マークがあるところで、学習の振り返りと評価をするように構成されている。</li> <li>・「読む」領域では、「学習のてびき」を通して、文章の読みとき方が習得でき、キーワードとなる語句には傍線を付けるなどの工夫がなされている。</li> <li>・話し合うことにおいて、例えば、新しい課題を見つけるためにパネルディスカッションが設定されている。テーマ選び→分類・整理→準備→実践という構成になっている。この学習活動や完成したパネル、発表資料例がイラストで示されている。パネルディスカッションの各担当としての振り返りのみが示されている。（学習内容の振り返りはない。）</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年、1年間を通した1冊の教科書により、児童が年間を通して、あらゆる段階で見通しと振り返りを意識して学習に取り組める工夫をしている。</li> <li>・「話す・聞く」「書く」領域では、一部に「振り返る」学習方法を見出しに掲げ、振り返りの視点や評価を紹介している。例①6年「お札にしたいあの人物」「説得力のある意見」</li> <li>・話し合うことにおいて、例えば、自分の意見をはっきりさせるためにパネルディスカッションが設定されている。パネルディスカッションの手順→情報収集→実践の構成となっている。メモ等のワークシートは示されていない。パネルディスカッションの担当者としての振り返りが示されている。（学習内容の振り返りはない。）</li> </ul>

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に学習の目的や方法、そして「今、何を学習しているのか」がわかるように単元ごとに設定されている。他教科の学習でも活用できるツールや活動の留意点も明示されており、児童が目的とゴールまでの見通しをもって学習に臨める。例①6年下「ぼくの世界、君の世界」他</li> <li>・「話す・聞く」「書く」領域では、単元冒頭の欄外に「学習の進め方」が明示され、一目で単元の見通しが持てる工夫になっている。</li> <li>・話し合うことにおいて、例えば、意見の違いを大事にするためにパネルディスカッションが設定されている。ルール確認→発表例文→実践→感想交流の構成となっている。発表例文の下に各立場としての留意点が示されている。聞き取りメモ等は示されていない。パネルディスカッションの担当者としての振り返りのみが示されている。(学習内容の振り返りはない。)</li> </ul>
<p>光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元冒頭に、目標と言語活動を明示し、「学習のてびき」を見開き・2段組で構成され、学習の流れが一覧で見ることができる。また、「ふりかえろう」のコーナーでは、チェック欄を設けて、振り返りと評価が行える工夫がなされている。例①5年「大造じいさんとガン」他・3年以上の各巻冒頭には、「学習を見わたそう」を設け、その学年で身につけるべき力を、児童自らが確認できる工夫がなされている。</li> <li>・「話す・聞く」「書く」領域では、「確かめ」「活動の流れ」「ふりかえり」がフローチャートでコンパクトに明示されて、見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成が工夫されている。</li> <li>・目次の後の「学習を見わたそう」では、見開き2ページで年間に学習する題材や各領域の学習の流れ、学習した題材に着色するなど、学習の見通しが持てる工夫がされている。</li> <li>・話し合うことにおいて、立場を明確にして主張し合うために学級討論が設定されている。討論会の流れの確認→メモの確認1→準備→実践→メモの確認2の構成となっている。発表前の立場と理由を明記するメモが示され、実践後にはメモに朱書きで修正が加えられている。ねらいに対する振り返りが示されている。</li> </ul>



【国語】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑦単元・題材や資料等の配列
方 法	三領域一事項における教材の配分や配列，全体構成のバランスやページ数

発行者	調査・研究内容				
東書	題材数		P：ページ数		
		話す・聞く (P)	書く (P)	読む (P)	伝統文化 (P)
	1年	2	5	7	
	2年	5 (28)	9 (45)	12 (130)	(45)
	3年	5 (24)	8 (40)	12 (135)	(52)
	4年	4 (24)	8 (39)	12 (140)	(34)
	5年	3 (37)	6 (29)	11 (126)	(34)
	6年	3 (34)	5 (25)	11 (138)	(34)
<p>※1年生は領域に分けることができないものもあるため，ページ数を入れていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生上 説明的な文章1教材，物語文3教材</li> </ul> <p>各領域による配置の偏りは見られない。高学年より低中学年の方が，「話す・聞く」「書く」領域の題材数が多い。高学年で，領域を関連付けた単元が設定されている。</p>					
学図	題材数		P：ページ数		
		話す・聞く (P)	書く (P)	読む (P)	伝統文化 (P)
	1年	2	3	5	
	2年	3 (22)	5 (31)	10 (111)	(57)
	3年	3 (34)	5 (35)	9 (95)	(65)
	4年	3 (36)	5 (36)	9 (113)	(60)
	5年	3 (26)	6 (33)	9 (130)	(64)
	6年	3 (18)	8 (43)	8 (112)	(56)
<p>※1年生は領域に分けることができないものもあるため，ページ数を入れていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生上 説明的な文章1教材，物語文3教材</li> </ul> <p>目次がある。お話からスタートしていない。</p> <p>各領域による配置の偏りは見られない。6年生で「書く」領域のページ数が多く，書くための基本的な技能を習得させる目的の部分と，活用する部分に分けられる。</p>					
三省堂	題材数		P：ページ数		
		話す・聞く (P)	書く (P)	読む (P)	伝統文化 (P)
	1年	2	4	7	
	2年	5 (18)	7 (34)	12 (100)	(44)
	3年	5 (22)	7 (40)	11 (100)	(54)
	4年	5 (22)	7 (36)	10 (106)	(50)
	5年	5 (28)	6 (40)	10 (108)	(54)
	6年	5 (26)	6 (38)	10 (122)	(48)
<p>※1年生は領域に分けることができないものもあるため，ページ数を入れていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生上 説明的な文章1教材，物語文3教材</li> <li>・1教材1領域</li> <li>・「調べる」という題材を設定している。</li> </ul>					

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表紙の裏に、詩を配置していない。</li> <li>各領域による配置の偏りは見られない。1教材1領域で構成されている。別冊の資料がある。</li> </ul>				
教出	題材数			P : ページ数	
		話す・聞く (P)	書く (P)	読む (P)	伝統文化 (P)
	1年	1	4	5	
	2年	4 (16)	8 (30)	13 (152)	(44)
	3年	5 (24)	6 (29)	11 (136)	(55)
	4年	4 (24)	6 (29)	11 (142)	(51)
	5年	4 (24)	4 (30)	9 (140)	(54)
	6年	3 (22)	5 (33)	10 (134)	(57)
	<p>※1年生は領域に分けることができないものもあるため、ページ数を入れていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生上 説明的な文章2教材，物語文4教材</li> <li>・「文化」「言葉」という題材を設定している。</li> </ul> <p>各領域による配置の偏りは見られない。2領域，3領域を組み合わせた単元が設定されている。</p>				
光村	題材数			P : ページ数	
		話す・聞く (P)	書く (P)	読む (P)	伝統文化 (P)
	1年	2	3	6	
	2年	5 (20)	7 (32)	11 (117)	(38)
	3年	4 (22)	6 (28)	11 (133)	(44)
	4年	4 (24)	6 (30)	11 (134)	(42)
	5年	3 (18)	5 (29)	10 (127)	(45)
	6年	3 (27)	4 (32)	10 (126)	(36)
	<p>※1年生は領域に分けることができないものもあるため、ページ数を入れていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生上 説明的な文章1教材，物語文4教材</li> <li>入門期 1ページ目に詩を配置している。</li> </ul> <p>・中学年の説明的な文章は，2教材構成になっている。第1教材は，見開き1ページで，基礎的知識を習得するための教材である。第1教材での学びを活用し，第2教材を学習する構成になっている。</p> <p>各領域による配置の偏りは見られない。「読む」領域のページ数が多く，読みを深める資料が設定されている。</p>				

【国語】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑧発展的な学習の扱い方
方 法	発展的な学習の扱い方, 表記, 教材名, ページ数, 種類

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○関連図書の紹介 1～9冊程度, 写真で提示  「こんな本もいっしょに」「いろいろなお話を読もう」  1年生上 P15, P81-83, P107, 下 P19, P47, P77, P99, P125  2年生上 P21, P43, P69, P117, 下 P23, P46, P85, P95, P117, P141  3年生上 P21, P45, P69, P99, P101, 下 P25, P59, P79, P106, P143  4年生上 P19, P41, P63, P95, 下 P30, P65, P66, P86-87, P112, P147  5年生 P19, P39, P63, P95, P97, P131, P153, P183, P187, P211, P235  6年生 P21, P43, P60, P89, P117, P140, P173, P205, P222</p> <p>○大単元の最後に, 国語科で学んだことを他教科等で活用する視点を明記  「ひろがる」「言葉の力を活用しよう」  2年生上 P43, P49, P53, P73, P82, P91, P121  下 P48, P58, P67, P103, P127  3年生上 P31, P45, P52, P75, P81, P110, P118  下 P41, P48, P59, P78, P117, P121  4年生上 P29, P41, P45, P67, P75  下 P48, P53, P65, P112, P123, P128  5年生 P29, P39, P45, P73, P82, P103, P159, P199, P210  6年生 P43, P47, P70, P76, P95, P145, P204, P211</p> <p>○自主学习につながる学習活動を提示「つづけてみよう」  2年生上 P27, P93, 下 P33, P91  3年生上 P27, P89, 下 P35, P83  4年生上 P25, P83, 下 P41, P91  5年生 P25, P85, P141, P185  6年生 P27, P79, P127, P175</p> <p>○歴史的仮名遣いがあり, 併せて, ( ) あるいは, 色を変えて現代仮名遣いを示している。  2年生…下 P98  3年生…下 P91-93  4年生…下 P96-98  5年生…P25, P85, P104-107, P140-141, P190-192  6年生…P26-27, P79, P127, P174-175, P181-182</p> <p>単元末で, 学習教材に関連した図書3～6冊を写真で紹介している。(全学年) また, 2年生以上において, 国語科で学んだことを他教科等や国語科の他領域で活用する視点を明記している。自主学习の推進を図るための学習活動なども提示しており, 活用</p>

	<p>につながる具体例が多く挙げられている。</p> <p>6年生「日本の言の葉 いにしえの言葉に学ぶ」において、歴史上の人物が言った言葉や書物の一節にふれ、考えたことを「書く」学習が4ページ示されている。「日本の言の葉 日本の文字に関心を持とう」においては、万葉集を例に挙げ、万葉がなについて2ページ示されている。</p> <p>発展的な学習の教材であることや中学校で学習することの表記はない。</p>
学図	<p>○関連図書の紹介3～5冊程度、写真で提示「本とともだち」</p> <p>1年生上 P73, P107, 下 P13, P43, P46-47, P69, P93, P112</p> <p>2年生上 P21, P35, P63, P77, P78-79, P103</p> <p>下 P13, P46, P50-51, P71, P93, P105</p> <p>3年生上 P21, P37, P77, P78-79, 下 P15, P49, P56-57, P75, P107</p> <p>4年生上 P19, P39, P87, P88-89, 下 P18, P59, P62-63, P85, P115</p> <p>5年生上 P27, P47, P93, P94-95, 下 P15, P63, P66-67, P89, P110, P129</p> <p>6年生上 P25, P47, P83, P84-85, 下 P15, P59, P61, P62-63, P85, P115</p> <p>○大単元の最後に、発展的な内容として提示（話し合う観点、文章構成のパターン等）「ひろげよう」</p> <p>4年生下 P18, 5年生上 P27, P47, 下 P15, 6年生下 P15, P85</p> <p>※その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読むことの教材「読むレッスン」「学びをつなげよう」（3年生以上）</li> </ul> <p>（5年生下 P106-P111 では、他の作品と関連させながら読む活動を提示している。5年生以外では、読む前に「組み立て」「筆者の主張」「段落構成」などに着目できるように観点を示している。）</p> <p>○歴史的仮名遣いがあり、併せて、（ ）あるいは、色を変えて現代仮名遣いを示している。</p> <p>5年生…上 P106, P110-111, 下 P42</p> <p>単元末で、学習教材に関連した図書3～5冊を写真で紹介している。（全学年）また、4年生以上において、話し合う観点や文章構成のパターンなど、発展的な学習内容を提示している。5年生では、「読むこと」の発展教材として、他の作品と関連させながら読む活動を提示している。</p> <p>6年生「言葉のきまり 時代による言葉の変化」において、口語と文語や昔の言葉のきまりを知る学習が2ページ示されている。</p> <p>発展的な学習の教材であることや中学校で学習することの表記はない。</p>
三省堂	<p>○関連図書の紹介1～3冊程度、写真で提示「わたしの本棚」</p> <p>1年生上 P87, 下 P17, P23, P33, P41-43, P55, P61, P71, P75, P93, P97</p> <p>2年生 P31, P37, P49, P59, P81, P85, P99, P105, P121, P135, P149, P163, P177, P181, P201, P205</p> <p>3年生 P31, P37, P47, P53, P61, P67, P87, P99, P109, P117, P137, P153, P161, P169, P177, P189, P195, P217, P223</p> <p>4年生 P27, P33, P43, P57, P61, P83, P95, P105, P113, P139, P153, P161, P169, P175, P187, P193, P217, P221</p> <p>5年生 P27, P35, P47, P63, P69, P87, P95, P105, P125, P131, P147, P163,</p>

	<p>P181, P195, P201, P231, P235  6年生 P27, P33, P47, P61, P67, P93, P101, P111, P113, P133, P137,  P153, P167, P179, P191, P197, P225, P233</p> <p>○歴史的仮名遣いを用いず、現代仮名遣いで示している。(5年生別冊 P46「平家物語」、  6年生別冊 P50-51「徒然草」)  短歌(与謝野晶子)一句のみ、歴史的仮名遣いを用いている。</p> <p>単元末で、学習教材に関連した図書1～3冊を写真で紹介している。(全学年)他社  より、紹介箇所は多い。また、単元ごとに「要旨」「朗読」など、他の学習や生活で役  立つことを学習のポイントとしてまとめている。</p> <p>発展的な学習の教材であることや中学校で学習することの表記はない。</p>
<p>教出</p>	<p>○関連図書の紹介2～3冊程度、写真で提示「本を読もう」  1年生下 P19, P43, P99, P137  2年生上 P27, P37, P40-41, P79, P115, 下 P29, P43, P97, P135,  3年生上 P29, P45, P97, P129, 下 P17, P81, P119  4年生上 P25, P41, P97, P121, 下 P19, P85, P131  5年生上 P31, P63, P109, 下 P91, P131, P145  6年生上 P31, P59, P95, P133,  下 P31, P63-65, P89, P117, P133, P135, P164</p> <p>※ 物語・説明文の最後に、作者の他の作品の題名を紹介している。(文字のみ)</p> <p>○歴史的仮名遣いがあり、併せて、( )あるいは、色を変えて現代仮名遣いを示して  いる。  5年生…下 P6, P8-9, P32-36, P146-147  6年生…上 P65-68, P134-137, 下 P94-98</p> <p>単元末で、学習教材に関連した図書2～3冊を写真で紹介している。また、イラス  トの吹き出しで、発展的な学習につながるような投げかけをしている単元がある。(例)  「考えることの意味についても、何か気づくことがあるかもしれない。」6年生下 P49  6年生「日本語の歴史」において、漢字仮名交じり文や万葉仮名について知る学習  が2ページ示されている。「言葉は時代とともに」においては、「歴史的仮名遣いが今  はほとんど使われなくなった」ということが、示されている。「日本語の文字」におい  ては、万葉仮名に関する説明が3ページ示されている。</p> <p>発展的な学習の教材であることや中学校で学習することの表記はない。</p>
<p>光村</p>	<p>○関連図書の紹介2～6冊程度、写真で提示「この本、読もう」  1年生上 P91, P95, 下 P34, P99  2年生上 P18, P42, P62, P89, P114, 下 P20, P41, P68, P90, P116  3年生上 P24, P50, P82, P90, P103, 下 P24, P37, P59, P83, P119  4年生上 P25, P50, P81, P100, 下 P29, P43, P62, P86, P122  5年生 P32, P54, P83, P134, P222  6年生 P30, P44, P71, P133, P150, P188, P214</p> <p>○大単元ごとに、国語科で学んだことを他教科等で活用する視点を明記 「ふりかえ</p>

ろう・いかそう」

3年生上 P59, 下 P43, P102

4年生上 P62, P119, 下 P47, P101

5年生 P93, P153

6年生 P83, P150

※ 物語文・説明文の最後に、作者の他の作品の題名を紹介している。(文字のみ)

○歴史的仮名遣いがあり、併せて、( ) あるいは、色を変えて現代仮名遣いを示している。

6年生…P176

単元末で、学習教材に関連した図書2～6冊を写真で紹介している。また、物語文・説明文の最後に、作者の他の作品の題名を紹介している。また、3年生以上において、一年間に2～4回、単元末に、国語科で学んだことを他教科等で活用する視点を明記している。

6年生「言語 日本で使う文字」において、平仮名と片仮名のそれぞれの起こりが3ページ示されている。

発展的な学習の教材であることや中学校で学習することの表記はない。

【国語】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑨本文記述と適切な関連付けがなされた図表の活用
方 法	文章とグラフや表の関連について考えさせる記述

発行者	調査・研究内容
東書	<p>3年生上 「書き手のくふうを考えよう」【読】  「ほけんだより」を読みくらべよう  ○てびき：図や表と文章との関係をとらえさせる記述  ・図と表が、文章のどの部分の説明になっているかをたしかめましょう。  ・もし図や表がなかったら、それぞれの文章のつたわり方はどうなるでしょうか。</p> <p>3年生下 「世界の家のつくりについて考えよう」【読】  ○文章や絵から読み取ったことをもとに考えさせる記述</p> <p>4年生上 「身の回りの文章を読みくらべよう」【読】  「広告と説明書を読みくらべよう」  ○てびき：目的に合わせた表し方の違いを読み取らせる記述  ①読み比べの観点に即して比べる  ・ちがいをたしかめましょう。  ・書かれていることがら  ・言葉の使い方や説明の仕方  ・写真や絵の使い方  ・色の使い方  ・書かれていることがらの順序やレイアウト  ②表し方の違いを目的と結びつけてまとめる  ・ちがいをまとめましょう。</p> <p>5年生 「書き手の意図を考えながら新聞を読もう」【読】  ○写真の役割についての記述  ○A社の記事とB社の記事の比較  ・A社とB社の写真の役割について、書き手の意図と関係付けながら考えましょう。  ・写真が掲載されていなかった場合と比べて考えてみましょう。  ・A社の写真とB社の写真を入れかえたらどうなるか考えてみましょう。  「わたしたちとメディアとの関わりについて考えよう」【読】  ○図や写真を使った説明文の提示</p> <p>6年生 「町の未来をえがこう」【読、話・聞】  ○複数の資料を読んで、情報を活用させる記述  ○意図が伝わるように、資料を効果的に活用して発表させる記述  ・筆者はどんな例を挙げ、どんな資料を用いて述べているのでしょうか。  「資料を生かして呼びかけよう」【書】  ○自分の意見が効果的に伝わるように、資料を活用して書かせる記述  ・三つの資料の中の写真、図、グラフには、それぞれどんな効果があると思ったか、友達と話し合いました。</p> <p>※ 他学年に特筆すべき記述はない。</p>

	<p>3年生は、「てびき」に図や表と文章の関係を捉えさせる記述がある。4年生では、目的に合わせた表し方の違いを読み取らせる記述がある。5年生は、図や写真を用いた説明文がある。6年生は、複数の資料を読んで、情報を活用する題材が配置されている。</p>
学図	<p>4年生上 「ムササビのひみつ」【読】 ○図や写真と文章を関係付けて説明した教材の提示</p> <p>5年生下 「表やグラフを使って伝えよう」【書】 ○表やグラフを使って考えを分かりやすく書く活動の設定</p> <p>6年生上 「脳の働きを知り、自分自身に生かそう」【読】 ○図や写真と文章を関係付けて説明した教材文の提示</p> <p>※ 他学年に特筆すべき記述はない。 手引きの中に本文と図を関連付けた課題は設定されていない。</p> <p>3年生は、図や記号と文章を関連付けた説明文や写真から物語を書く活動が設置されている。5年生は、表やグラフを使って相手に分かりやすく書く活動が設置されている。6年生は、説明文で図や写真と文章を関連付けた教材文が提示されている。</p>
三省堂	<p>5年生 「内容を正確にとらえよう」【読】 『『十秒』が命を守る』 ○図と文章を関係付けて説明した教材文の提示 ○てびき：図と文章の関係をとらえさせる記述</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図1～5について、それぞれを説明している文章の部分を確かめましょう。 図・表と内容を関連付けてとらえることの必要性を説明</li> <li>・文章と図や表とのつながりをきちんとたしかめながら読むことで、よりくわしく、正確に内容をとらえることができます。</li> </ul> <p>6年生 「事実と意見をおさえて、要旨をとらえよう」【読】 『『なべ』の国、日本』 ○図やグラフと文章を関係付けて説明した教材文の提示 ○てびき：グラフや表から読み取れることを文章と結び付けてまとめさせる記述</p> <p>※ 他学年に特筆すべき記述はない。 3年生以上は、図と文章を関連付けた説明文が配置されている。5年生は、「てびき」に図と文章の関連を考えさせる記述、図・表と内容を関連付けて捉えさせる記述がある。6年生では、グラフや表から読み取れることを文章と結び付けてまとめさせる記述がある。</p>
教出	<p>4年生下 「興味をもったことをしようかいしよう」【読】 ○図と文章を関係付けて説明した教材文の提示 ○てびき：筆者の写真・図・表の提示の仕方に着目させる記述</p> <p>5年生下 「多様な情報を読み取り、自分の考えを深めよう」【読・書】 ○自分の考えの根拠となる資料（グラフ・写真・新聞記事等）を見付けさせる記述</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけたくさんの資料を比べて自分の考えの根拠をはっきりさせよう。</li> </ul> <p>6年生上 「伝えたいことをすいせん文にまとめよう」【読】 ○推薦文を書くときのポイントとして、図や表を根拠として活用することの大切さを記述。</p> <p>※他学年に特筆すべき記述はない。 4年生は、図と文章を関連付けた教材が配置されている。5年生は、自分の考えの</p>



	<p>根拠となるグラフや、写真、新聞記事等を見付けさせる記述がある。6年生は、推薦文を書く時のポイントとして、図や表を根拠として活用させている。</p>
<p>光村</p>	<p>2年生下 「せつめいのしかたに気をつけて読もう」【読】  ○写真と文章を関係付けて説明した教材文の提示  ○てびき：写真の提示の仕方に着目させる記述</p> <p>3年生下 コラム「絵や写真を使って説明する」  ○文章だけでは想像しにくいものの説明に絵や写真を使うと分かりやすくなることを記述</p> <p>4年生上 「きょうみをもったところを発表しよう」【読】  ○図と文章を関連付けて説明した教材文の提示</p> <p>4年生下 「段落どうしの関係をとらえ、説明のしかたについて考えよう」【読】  ○写真と文章の対応に気を付けて読ませる記述  「きょうみをもったところを中心に、しょうかいしよう」【読】  ○図と文章を関係付けて説明した教材文の提示  ○筆者の図や写真の使い方に着目させる記述</p> <p>5年生 「新聞の編集のしかたや記事の書き方に目を向けよう」【読】  「新聞を読もう」  ○内容を分かりやすく伝えるための写真や図表の効果に着目させる記述</p> <p>5年生 「説明の仕方の工夫を見付け、話し合おう」【読】  「天気を予想する」  ○図表、グラフ、写真を用いて説明した筆者の意図や効果を考えさせる記述  ・筆者は、自分の考えを分かりやすく伝えるために、どのような説明の工夫をしているだろうか。また、その工夫には、どんな効果があるのだろうか。自分の考えをまとめよう。</p> <p>コラム「グラフや表を読む」  ○読むときに気を付けるべきことを記述  ↓  「グラフや表を用いて書こう」【書】  ○グラフや表を根拠に自分の考えを述べさせる記述  ・自分の考えに合ったグラフや表を選ぼう。  ・資料から考えられることが、自分の考えをうらづけるものになっているかどうかを判断する。</p> <p>6年生 『鳥獣戯画』を読む  ○絵と文章を照らし合わせながら「絵」について書いてあることを読ませる記述</p> <p>※他学年に特筆すべき記述はない。  2年生以上で、写真と文章を関連付けた説明文が配置されている。3年生では絵と写真、4年生では図、5年生で図表、グラフが加わっており、資料の種類が系統的に提示されている。6年生では、絵と文章を照らし合わせながら本文から絵について書いてあることを読み取る学習が示されている。</p>

【国語】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑩巻末資料の示し方
方 法	三領域一事項の指導内容を踏まえた巻末資料の示し方

発行者	調査・研究内容
東書	<p>・話すこと・聞くことに関する指導資料（全学年）【話すこと・聞くこと】</p> <p>1年・・・はっきり読もう</p> <p>2年・・・聞こえる声で読もう</p> <p>3年・・・メモをとりながら聞こう，インタビューをしよう</p> <p>4年・・・大事なことやその理由に気を付けて，メモを取りながら聞こう アンケートで調べよう</p> <p>5年・・・意見と理由に気を付けて，メモを取りながら聞こう</p> <p>6年・・・話題に沿っているか，偏った見方をしていないか，メモを取りながら聞こう</p> <p>○書き方の指導【書くこと】</p> <p>1年・・・こくごのノートの作り方</p> <p>2年・・・原稿用紙の使い方</p> <p>3年・・・原稿用紙の使い方，観察メモのとり方</p> <p>4年・・・手紙・葉書の書き方，新聞のわりつけ，組み立てメモ</p> <p>5年・・・文章の種類</p> <p>6年・・・文章の構成を考えよう</p> <p>※ 2年生以上は，「国語ノートの作り方」を巻末でなく，単元に関連させて明記</p> <p>○読みもの教材 [どくしょのへや] 【読むこと】</p> <p>1年・・・物語・昔話3作品，説明文1作品</p> <p>2年・・・物語・神話3作品，説明文1作品</p> <p>3年・・・物語2作品，説明文1作品</p> <p>4年・・・物語2作品，説明文1作品</p> <p>5年・・・伝記1作品，説明文1作品</p> <p>6年・・・物語1作品，説明文1作品</p> <p>○読書指導【読むこと】</p> <p>1年・・・図書館の紹介</p> <p>2年・・・日本のお話</p> <p>3年・・・日本の俳句</p> <p>4年・・・日本のかるた，日本の短歌</p> <p>5年・・・日本の文学館</p> <p>6年・・・日本の伝統芸能</p> <p>○国語科で学んだことを他教科で活用する視点を明記「言葉の力を活用しよう」 (3年以上)</p> <p>3年・・・社会科の例</p> <p>4年・・・総合的な学習の時間の例</p> <p>5年・・・理科の例</p> <p>6年・・・総合的な学習の時間の例</p>

	<p>○新出漢字（全学年） ※1年は、ひらがな・カタカナ表もある。 ※3年以上は、ローマ字表もある。</p> <p>○語彙の拡充「ことばの広場」（全学年）</p> <p>○学習で使う言葉（3年以上）</p> <p>○一年間で学習する言葉の力を領域ごとにまとめて表記「ことばの力のまとめ」 ※1年上の目次が巻末にある。</p> <p>「話すこと・聞くこと」、「書くこと」についての指導資料が段階的に示されている。 （全学年）「読むこと」において、読み物資料を全学年2～4作品載せている。さらに、日本に関わる俳句や文学館など、古典への興味付けになるページも全学年設けられている。また、3年以上で、国語科で学んだことをどのように他教科で活用できるかを、具体的に例を挙げて紹介している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>読みもの教材【どくしょのへや】として関連図書が取り上げられており、学習したことを生かして他の作品を読む力を育成することができた。また、同一テーマや同一作者等の作品を読み広げるきっかけづくりとなり、児童の読書活動を推進することができた。</p> </div>
学図	<p>○話すこと・聞くこと、書くことに関する指導資料「国語のカギ」 【話すこと・聞くこと、書くこと】 （領域ごとに大切なことを3～7つにまとめている）</p> <p>○読みもの教材【読むこと】</p> <p>1年・・・物語・昔話3作品 2年・・・物語2作品，外国民話1作品，説明文1作品 3年・・・物語・昔話3作品，説明文1作品 4年・・・物語・日本民話3作品，説明文1作品 5年・・・物語2作品，人形劇1作品，説明文1作品 6年・・・物語3作品，説明文1作品，古典（狂言）1作品</p> <p>○読書指導①〈図書室・図書館利用に関する指導資料〉【読むこと】</p> <p>2年・・・「図書室に行って読もう」 3年・・・「図書館で本をさがそう」 4年・・・「地域の図書館を利用しよう」 5年・・・「インターネットを活用して情報をさがそう」 6年・・・「目的に応じて調べよう」</p> <p>○読書指導②〈本の楽しみ方の紹介〉【読むこと】</p> <p>1年・・・劇遊び，お話かるたの紹介等「つぎはどうなる？」 2年・・・音の言葉が出てくる本の紹介「おもしろい音を楽しもう」 3年・・・『三』にかんけいのある物語を楽しもう」 4年・・・「おもしろさを分かち合おう」 5年・・・「おもしろさを分析しよう」 6年・・・「感想を語り合おう」</p> <p>○新出漢字（全学年） ※1年は、ひらがな・カタカナ表もある。 ※ローマ字表は巻末にない。</p>

	<p>○学習で使う言葉「授業で使う言葉」(1年下～)  ○保護者に各領域で目指すことを示す「保護者の方へ この教科書でめざすこと」  (1年下～)</p> <p>※6年下のみ、「さまざまな表現の工夫」倒置法、対句などの技法を紹介している。  ※1年上の目次が巻末にある。</p> <p>「話すこと・聞くこと」、「書くこと」についての指導資料を「国語のカギ」として、  領域ごとに大切なことを3～7つにまとめている。(全学年)「読むこと」において、  読み物資料を全学年3～5作品載せている。さらに、2年以上で、図書館の利活用に  つながる系統性のある指導資料、具体的な「本の楽しみ方」を提示している。  保護者に領域ごとに育てる力を示しているのは学校図書だけである。</p>
三省堂	<p>○話すこと・聞くことに関する指導資料「ことばのポケット」(全学年)  【話すこと・聞くこと】</p> <p>1年・・・こえをだそう、こえの大きさ  2年・・・なし  3年・・・一対一で話すときには  4年・・・グループで話すときには、インタビューをするときには  5年・・・司会をするときには  6年・・・司会の役割・みんなの役割</p> <p>○書き方の指導「ことばのポケット」【書くこと】</p> <p>1年・・・じをかこう  2年・・・原稿用紙に書いてみよう  3年・・・わかりやすい文を書くには、アンケートを活用しよう  4年・・・お願いの手紙を書くときには  5年・・・お礼の手紙を書くときには  6年・・・説得力のある文章を書くには</p> <p>○読みもの教材「読書の森」【読むこと】</p> <p>1年・・・詩1編、物語1作品、説明文1作品  2年・・・物語2作品  3年・・・物語2作品、古典3作品  4年・・・物語1作品、説明文1作品、古典2作品、百人一首(4首)  5年・・・物語1作品、説明文2作品、古典3作品  6年・・・物語2作品、説明文1作品、古典3作品</p> <p>○図書紹介「読書の森『小さな図書館』」(全学年)【読むこと】  (写真と簡単な紹介文で提示、中のイラストも写真で紹介しているものもある。  背表紙のみの写真もある。単元末で紹介している本もある。)</p> <p>1年・・・44冊(上9冊、下35冊) ※紹介した本の3ページを取り上げている。  2年・・・50冊  3年・・・59冊  4年・・・58冊  5年・・・58冊  6年・・・58冊</p>

	<p>○学習で使う言葉「国語学習のための用語集」(2年以上)</p> <p>○同音異義語の学習「違う字で同じ読み」(2年以上)</p> <p>○新出漢字(全学年) ※1年は、ひらがな・カタカナ表もある。 ※3年以上は、ローマ字表もある。</p> <p>○語彙の拡充「言葉のポケット」(3年以上) ※5年では、ものの数え方、数字の書き表し方等も示されている。 ※6年では、外来語、季語も示されている。</p> <p>○点字に関する資料(4年のみ)</p> <p>○一年間で学習したポイントを領域ごとにまとめて表記「覚えておきましょう」 (2年以上)</p> <p>※2～6年は、巻末の付録に加え、別冊「学びを広げる」がある。 ※1年上の目次が巻末にある。</p> <p>「書くこと」についての指導資料が段階的に示されている。(全学年) また、2年以外の学年で、「話すこと・聞くこと」についての指導資料が段階的に示されている。「読むこと」において、読み物資料を全学年2～5作品載せており、教科書で紹介された本を含め、背表紙や表表紙の写真で50冊程度の本を紹介している。他教科への活用は見られない。</p>
<p>教出</p>	<p>○書く等の表現に関する指導【書くこと】</p> <p>1年(上)・・・ノートの書き方</p> <p>2年(上)・・・ノートに文を書き写す(教科書や筆箱の置き方も示す) はがきの書き方</p> <p>2年(下)・・・横書きの書き方</p> <p>3年(下)・・・横書きの手紙の書き方、いろいろな括弧の使い方</p> <p>4年(下)・・・アンケートのとり方</p> <p>5年(上)・・・くぎり符号の使い方(中点、ハイフン等)</p> <p>5年(下)・・・自分の考えをまとめよう 電子メールを使うときの注意点</p> <p>○読みもの教材【読むこと】</p> <p>5年・・・古典(狂言)1作品</p> <p>6年・・・物語1作品、伝記1作品、随筆2作品</p> <p>・図書紹介「〇年生で読みたい本」(全学年)【読むこと】 (写真と簡単な紹介文で提示、中のイラストも写真で紹介しているものもある)</p> <p>1年・・・40冊(上12冊、下28冊)</p> <p>2年・・・54冊(上26冊、下28冊)</p> <p>3年・・・56冊(上28冊、下28冊)</p> <p>4年・・・53冊(上26冊、下27冊)</p> <p>5年・・・57冊(上29冊、下28冊)</p> <p>6年・・・53冊(上25冊、下28冊)</p> <p>○言葉に関する職業を紹介「言葉と仕事」</p> <p>4年・・・司書</p>

	<p>6年・・・翻訳家</p> <p>○古典に関する資料  4年・・・「百人一首」を読もう（8首）  5年・・・短歌や俳句を楽しもう</p> <p>○児童の興味関心を高める付録  1年・・・（上）かるたの読み札  2年・・・（下）「いなばのしろさぎ」紙人形</p> <p>○新出漢字（全学年） ※1年は、ひらがな・カタカナ表もある。  ※3年以上は、ローマ字表もある。</p> <p>○間違えやすい平仮名・カタカナ・漢字等の表記（拗音の書く位置、似ている字等）  「気を付けて書くところ」（1～2年）</p> <p>○語彙の拡充「言葉の木」（2～5年）  「言葉の星座」（6年）</p> <p>○一年間で学習する言葉の力を領域ごとにまとめて表記「この本で学ぶこと」  ○学習した用語とその用語が出てきたページ数を示す「学ぶ言葉」（2年以上）  ※1年上の目次が巻末にある。</p> <p>1年～5年で、書くことに関する指導資料が示されているが、書き方、くぎり符号の使い方というように系統性がない学年もある。また、3年、6年に言葉に関する職業を、4年、5年で古典に関する資料が示されており、全学年の段階的な指導資料とは言えない。1年、2年では、児童の興味関心を高める「かるた」「紙人形」の付録が付けられている。他教科への活用は見られない。</p>
光村	<p>・書き方の指導（4年以上）【書くこと】  4年・・・手紙の書き方  5年・・・通信文（手紙、ファクシミリ・電子メール）の書き方  6年・・・考えを助ける図表</p> <p>○読みもの教材【読むこと】  1年・・・昔話1作品、詩1編  2年・・・昔話・神話3作品  3年・・・昔話・脚本2作品、故事成語  4年・・・物語2作品、百人一首  5年・・・物語・昔話2作品、説明文1作品、古典2作品  6年・・・自伝・昔話2作品、手紙</p> <p>○図書紹介（写真と簡単な紹介文で提示）（2年以上）【読むこと】  2年・・・36冊（上18冊、下18冊）  3年・・・36冊（上18冊、下18冊）  4年・・・36冊（上18冊、下18冊）  5年・・・38冊  6年・・・38冊</p> <p>○一年間で学習する学習のポイントをまとめて表記『大切』のまとめ」（2年以上）  ○語彙の拡充「ことばのたからばこ」（2年以上）  ○学習で使う言葉をまとめて示している。（3年以上）</p>

○新出漢字（全学年） ※1～3年は、ひらがな・カタカナ表もある。  
※3年以上は、ローマ字表もある。

※1年上の目次が巻末にある。

4年以上で、「書くこと」についての指導資料が段階的に示されている。「分類する」、「共通点を見付ける」など、考えを広げるための指導資料がある。「考えを助ける図表（6年）」また、「読むこと」において、読み物資料を全学年2～5作品載せている。手紙を読み物資料に扱っているのは、光村図書だけである。他教科への活用は見られない。

【国語】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑪知識や経験に照らして自分の考えをまとめて論述する活動の工夫
方 法	「手紙を書く活動」、「報告文を書く活動」、「詩、物語、随筆等を創作する活動」等の 単元名とその数

発行者	調査・研究内容
東書	<p>論述する活動は3領域全てに設定し、単元名に単元を通して取り組む言語活動を示している。「書くこと」における創作活動は、各学年に2単元（物語、詩）を設けている。5・6年生には、「読むこと」と「話すこと・聞くこと」を複合した単元を設けている。</p> <p>【1年】話聞1 読4 書6</p> <p>①【書】 えにつきをかこう「日記を書く活動」</p> <p>②【読】 おはなしをよもう「主人公に手紙を書く活動」</p> <p>③【書】 わたしのはっけん「気付いたことを文章に書く活動」</p> <p>④【読】 のりものことをしらべよう「乗り物のことを調べてカードに書く活動」</p> <p>⑤【書】 おもい出してかこう「伝えたい出来事を文章に書く活動」</p> <p>⑥【書】 ことばあそびうたをつくろう「様子を表す言葉を集めて書く活動」</p> <p>⑦【読】 いろいろなおはなしをよもう「本の好きな人物を紹介するカードを書く活動」</p> <p>⑧【書】 おはなしをつくろう「物語を創作する活動」</p> <p>⑨【読】 いろいろなやりかたをくらべてかんがえよう 「自分が選んだやり方と選んだ訳を書く活動」</p> <p>⑩【話聞】 「じゃんけんやさん」をひらこう「じゃんけんの説明をする活動」</p> <p>⑪【書】 「おもいでブック」をつくろう「心に残っていることを文章に書く活動」</p> <p>【2年】話聞3 読6 書8</p> <p>①【書】 こんなことがあったよ「伝えたい出来事を書く活動」</p> <p>②【読】 たんぼぼのひみつを見つけよう「伝えたいことを順序よく伝える活動」</p> <p>③【話聞】 ことばで絵をつたえよう「絵を説明する活動」</p> <p>④【書】 かんさつしたことを書こう「観察カードを書く活動」</p> <p>⑤【読】 二つのせつめいをくらべよう「文章を基にカードを書く活動」</p> <p>⑥【書】 じゅんじょよく書こう「心に残った出来事を文章に書く活動」</p> <p>⑦【話聞】 たからものをしょうかいしよう「紹介するものについて書く活動」</p> <p>⑧【書】 「ありがとう」をつたえよう「手紙を書く活動」</p> <p>⑨【書】 絵を見てお話を作ろう「物語を創作する活動」</p> <p>⑩【読】 どうぶつのひみつをみんなでさぐる「クイズの問題と答えを書く活動」</p> <p>⑪【書】 名人をしょうかいしよう「紹介カードを書く活動」</p> <p>⑫【読】 むかし話をしょうかいしよう「紹介カードを書く活動」</p> <p>⑬【書】 心がうごいたことを「詩を書く活動」</p> <p>⑭【読】 同じところ、ちがうところ「比べて分かったことを文章に書く活動」</p> <p>⑮【読】 あなのやくわりを考えよう「説明文を書く活動」</p> <p>⑯【話聞】 「おもちゃ教室」をひらこう「紹介カードを書く活動」</p> <p>⑰【書】 「ことばのアルバム」を作ろう「心に残っていることを文章に書く活動」</p> <p>【3年】話聞2 読4 書8</p> <p>①【書】 自分をしょうかいしよう「紹介する文章を書く活動」</p> <p>②【話聞】 話したいな、うれしかったこと「スピーチの原稿を書く活動」</p> <p>③【書】 調べて書こう、わたしのレポート「レポートを書く活動」</p> <p>④【読】 書き手のくふうを考えよう「二つの文章を読み比べて考えたことを書く活動」</p> <p>⑤【書】 心にのこったことを「伝えたいことを文章に書く活動」</p>



- ⑥【書】人物を考えて書こう「物語を書く活動」
- ⑦【書】案内の手紙を書こう「手紙を書く活動」
- ⑧【読】はたらく犬についてしらべよう「リーフレットにまとめる活動」
- ⑨【読】世界の物語をしようかいしよう「物語を紹介するカードを書く活動」
- ⑩【書】気持ちを言葉に「詩を書く活動」
- ⑪【読】世界の家のつくりについて考えよう  
「文章や絵から読み取ったことを整理して文章に書く活動」
- ⑫【話聞】町について調べてしようかいしよう「調べて発表する活動」
- ⑬【書】理由が分かるように書こう「考えたことと理由を書く活動」
- ⑭【書】わたしの「ベストブック」を作ろう「賞状を書く活動」

【4年】話聞3 読4 書8

- ①【書】心の動きを伝えよう「心の動きや気持ちが伝わるように文章を書く活動」
- ②【読】説明のまとまりを見つけよう「感想や考えたことを伝え合う活動」
- ③【話聞】案内係になろう
- ④【書】みんなで新聞を作ろう「新聞を書く活動」
- ⑤【読】身の回りの文章を読みくらべよう「広告と説明書の違いをまとめる活動」
- ⑥【書】わたしの考えたこと「伝えたい自分の考えを文章に書く活動」
- ⑦【書】ある人物になったつもりで「物語を書く活動」
- ⑧【話聞】クラスで話し合おう
- ⑨【書】お願いやお礼の手紙を書こう「手紙を書く活動」
- ⑩【読】くらしの中にある「和」と「洋」を調べよう「紹介する文章を書く活動」
- ⑪【書】言葉をつなげて「連詩を書く活動」
- ⑫【読】わたしたちの生活とロボットについて考えよう  
「二つの文章をまとめて自分の考えを文章に書く活動」
- ⑬【話聞】報告します、みんなの生活
- ⑭【書】目的や形式に合わせて書こう「ポスターを書く活動」
- ⑮【書】「言葉のタイムカプセル」を残そう「自分の思いや考えを書く活動」

【5年】話聞3 読2 書6

- ①【書】一つの言葉から「詩を書く活動」
- ②【話聞】立場を決めて討論しよう「自分の立場を主張する活動」
- ③【書】資料を生かして考えたことを書こう「資料を活用して自分の考えを書く活動」
- ④【読】物語の良さを解説しよう「物語の解説文を書く活動」
- ⑤【書】不思議な世界へ出かけよう「物語を書く活動」
- ⑥【読・話聞】和の文化について調べよう「説明会をする活動」
- ⑦【書】伝記を読んで、感想文を書こう「読書感想文を書く活動」
- ⑧【書】五・七・五で表そう「俳句を作る活動」
- ⑨【書】伝えよう、委員会活動「リーフレットを書く活動」
- ⑩【読】わたしたちとメディアとのかかわりについて考えよう  
「考えたことを文章に書く活動」
- ⑪【話聞】六年生におくる字をすいせんしよう「スピーチをする活動」

【6年】話聞3 読3 書6

- ①【書】ずい筆を書こう「随筆を書く活動」
- ②【書】文章を読んで自分の考えを持とう「文章に対する自分の考えを書く活動」
- ③【読】新聞の投書を読んで意見を書こう「投書を書く活動」
- ④【話聞】問題を解決するために話し合おう
- ⑤【書】資料を生かして呼びかけよう「資料を活用して文章を書く活動」
- ⑥【書】物語を作ろう「物語を書く活動」
- ⑦【話聞・読】町の未来をえがこう「プレゼンテーションをする活動」
- ⑧【読】本を読んですいせんしよう「本の推薦カードを書く活動」
- ⑨【書】句会を開こう「俳句を作り、交流する活動」

	<p>⑩【話聞】 出合いにありがとう      ⑪【読】 将来の夢や生き方について考えよう「自分の考えを文章に書く活動」      ⑫【書】 六年間をふり返って書こう「自分の思いを伝える文章を書く活動」</p> <p>話す活動、書く活動が全ての学年にある。掲載されている活動数が多く、話す活動ではスピーチ、説明、報告等、書く活動では手紙、体験・生活文、推薦文、記録文・報告文、創作等の内容が設定されている。</p>
<p>学図</p>	<p>論述する言語活動は、「書くこと」の領域に多い。「読むこと」領域では読解主体の学習を行い、書いたものを他者に向けて発信する「話すこと・聞くこと」と「書くこと」を関連させた言語活動が設定されている。</p> <p>【1年】 話聞1 読1 書6</p> <p>①【書】 きのうのこと「思い出して書く活動」      ②【書】 えにつきをかきましょう「日記を書く活動」      ③【書】 わたしのはっけん「発見したことを書く活動」      ④【読】 じどう車くらべをしよう「問いと答えの文を書く活動」      ⑤【書】 ころろがうごいたこと「詩を書く活動」      ⑥【書】 「音」をさがしておはなしづくり「想像したことを書く活動」      ⑦【書】 手がみをかこう「手紙を書く活動」      ⑧【話聞・書】 わかるようにつたえよう「説明文を発表する活動」</p> <p>【2年】 話聞2 読3 書6</p> <p>①【書】 ペンギンの子そだてをまとめよう「感想を書く活動」      ②【話聞】 しらせたいことを話そう「報告文を書く活動」      ③【書】 手紙を書こう「手紙を書く活動」      ④【読】 ちがいをせつ明しよう「説明文を書く活動」      ⑤【書】 ちがいをくらべてかこう「違いがわかるように書く活動」      ⑥【書】 しを書こう「詩を書く活動」      ⑦【読】 とう場人ぶつになって読もう「手紙を書く活動」      ⑧【書】 読書を広げよう「本を紹介する本を作る活動」      ⑨【書】 お話を作ろう「物語のつづきの話を書く活動」      ⑩【読】 作り方をせつ明しよう「相手に説明する活動」      ⑪【話聞・書】 体けんしたことをほうこくしよう「報告文を書いて発表する活動」</p> <p>【3年】 話聞3 読2 書4</p> <p>①【読】 合図とするしの事れいを書いてみよう「事例をまとめる文章を書く活動」      ②【話聞】 しょうかいしたことを話そう「スピーチの原稿を書く活動」      ③【書】 手紙を書こう「案内状を書く活動」      ④【話聞・書】 知ろう・つたえよう「新聞を書く活動」      ⑤【書】 感想文を書こう「感想文を書く活動」      ⑥【書】 詩を書こう「詩を書く活動」      ⑦【読】 読書を広げよう「本のポップを書く活動」      ⑧【書】 話を作ろう「物語を書く活動」      ⑨【話聞・書】 調べたことをほうこくしよう「報告文を書く活動」</p> <p>【4年】 話聞5 読2 書4</p> <p>①【書】 書き方・まとめ方「まとまりを考えて説明文を書く活動」      ②【話聞】 しょう来のゆめを語ろう「自分の夢を発表する活動」      ③【書】 書き方・まとめ方「筋道を立てて説明文を書く活動」</p>

- ④【読】読書を楽しもう「人物の紹介カードを書く活動」
- ⑤【書】手紙を書こう「依頼状とお礼状を書く活動」
- ⑥【話聞・書】知ろう・伝えよう「新聞を書く活動」
- ⑦【話聞】問題を解決するために話し合おう「調べたことを発表する活動」
- ⑧【書】詩を書こう「詩を書く活動」
- ⑨【話聞・書】話を作り上げよう「物語を書く活動」
- ⑩【読】文化のちがいをまとめよう「感想や意見を書く活動」
- ⑪【話聞・書】絵から読み取ったことを伝えよう「解説文を書く活動」

【5年】話聞3 読3 書5

- ①【読】要旨をとらえ、感想を伝え合おう「感想文を書く活動」
- ②【書】書き方・まとめ方「筋道（論理）を考えて意見文を書く活動」
- ③【話聞】自分の考えを提案しよう「スピーチメモを書く活動」
- ④【書】手紙を書こう「手紙を書く活動」
- ⑤【書】随筆を書こう「随筆を書く活動」
- ⑥【話聞】立場を決めて討論しよう
- ⑦【書】詩を書こう「短歌・俳句を作る活動」
- ⑧【書】きゃく本を作ろう「脚本を書く活動」
- ⑨【読】情報の伝わり方を知り、考えを深めよう「意見文を書く活動」
- ⑩【話聞・書】情報を整理して発信しよう「紹介原稿を書く活動」
- ⑪【読】すぐれた描写を報告しよう「報告書を書く活動」

【6年】話聞1 読1 書9

- ①【話聞】すいせんスピーチをしよう「スピーチ原稿を書く活動」
- ②【書】書き方・まとめ方「文章構成を考えて意見文を書く活動」
- ③【書】手紙を書こう「電子メールや送り状を書く活動」
- ④【書】調べたことをレポートにまとめよう「レポートを書く活動」
- ⑤【書】意見文を書こう「意見文を書く活動」
- ⑥【書】読むために書く「グラフを読み取って文章を書く活動」
- ⑦【書】詩を書こう「詩を書く活動」
- ⑧【書】創作にチャレンジ「物語を書く活動」
- ⑨【読】私たちのこれからを考えよう「意見文を書く活動」
- ⑩【書】書き方・まとめ方「文章構成を考えて意見文を書く活動」
- ⑪【書】レポートをまとめよう「卒業レポートを書く活動」

全学年で、話す活動ではスピーチ、説明、報告等、書く活動では、手紙、体験・生活文、推薦文、記録文・報告文、創作等の内容が設定されており、様々な学習活動が扱われている。

「話すこと・聞くこと」では、スピーチ、説明・報告等、「書くこと」では、手紙、体験・生活文、紹介・推薦文、記録・報告文、創作等、各学年における言語活動に系統性がある。5・6年生に、「読むこと」と「話すこと・聞くこと」を関連させた言語活動がある。

【1年】話聞2 読1 書5

- ①【書】かいてつたえよう「伝えたいことを文章に書く活動」
- ②【書】えにつきをかこう「日記を書く活動」
- ③【話聞】きのうこんなことがあったよ
- ④【書】よくみてかこう「観察文を書く活動」
- ⑤【読】むかしばなしをたのしもう

三省堂

- ⑥【書】おはなしをつくろう「詩を書く活動」
- ⑦【話聞】たずねよう ことえよう
- ⑧【書】はっきりつたわるようにかこう「文章に書く活動」

【2年】話聞3 読3 書5

- ①【話聞】できたらいいな
- ②【書】じゅんじょに気をつけて書こう「出来事を文章に書く活動」
- ③【読】気持ちを考えながら読もう「登場人物に手紙を書く活動」
- ④【書】手紙をこうかんしよう「手紙を書く活動」
- ⑤【話聞】じゅんじょがわかるように話そう
- ⑥【書】よくかんさつして書こう「観察文を書く活動」
- ⑦【読】行どうに気をつけて読もう「気持ちを想像して書く活動」
- ⑧【書】つながりに気をつけて書こう「発見したことを文章に書く活動」
- ⑨【書】お話をそうぞうしよう「物語を書く活動」
- ⑩【話聞・読】読んで、作って、あそぼう「説明文を書く活動」
- ⑪【読】おもしろいところを見つけよう「感想文を書く活動」

【3年】話聞2 読0 書6

- ①【話聞】すじ道を立てて話そう
- ②【書】あんないの手紙を書こう「案内状を書く活動」
- ③【書】中心をはっきりさせて書こう「出来事を文章に書く活動」
- ④【話聞】役わりを考えながら話し合おう
- ⑤【書】つたえたいことに合わせて書き方をくふうしよう「紹介カードを書く活動」
- ⑥【書】組み立てを考えて書こう「報告文を書く活動」
- ⑦【書】くふうして楽しく書こう「カルタを作る活動」
- ⑧【書】読む人のことを考えて、つたえ方をくふうしよう「説明文を書く活動」

【4年】話聞3 読0 書6

- ①【話聞】聞く人のことを考えて話そう
- ②【書】お願いやお礼の手紙を書こう「依頼状やお礼状を書く活動」
- ③【書】感じたことをくふうして書き表そう「詩を書く活動」
- ④【話聞】進行にそって話し合おう
- ⑤【書】理由をはっきりさせて書こう「紹介文を書く活動」
- ⑥【書】組み立てをくふうして書こう「新聞記事を書く活動」
- ⑦【書】想ぞうをふくらませよう「物語を書く活動」
- ⑧【話聞】事がらを整理して話そう
- ⑨【書】書いたものを読み合い、考えたことを伝え合おう「手紙を書く活動」

【5年】話聞4 読0 書7

- ①【書】表現を味わい、ゆたかに想ぞうしよう「日記を書く活動」
- ②【話聞】組み立てをくふうして話そう
- ③【書】事がらを集め、整理して書こう「出来事を文章に書く活動」
- ④【書】このあと、どうなる？「物語を書く活動」
- ⑤【話聞】資料を効果的に使って話そう
- ⑥【書】伝えたいことを明確にして書こう「新聞を書く活動」
- ⑦【書】効果的な組み立てをくふうして書こう「レポートを書く活動」
- ⑧【話聞】写真と絵、どちらを選ぶ？
- ⑨【書】表現のよいところを見つけ合おう「俳句を作る活動」
- ⑩【話聞・読】読んで自分の考えを広げよう
- ⑪【書】自分の考えが深まるように書こう「意見文を書く活動」

【6年】話聞4 読3 書6

- ①【話聞】このニュース、わたしはこう思う
- ②【読】筆者のものの見方をとらえ、自分の考えを深めよう「意見文を書く活動」
- ③【書】場面の様子を自分の思いと書き分けよう「随筆を書く活動」
- ④【書】あなたの意見は？

	<p>⑤【話聞】理由を明らかにして話そう「推薦文を書く活動」      ⑥【読】人物の関わりを考えながら読もう「感想を書く活動」      ⑦【書】表現の効果を考えて書こう「広告文を書く活動」      ⑧【書】自分の意見を明確にして書こう「意見文を書く活動」      ⑨【話聞】どんな国？      ⑩【書】表現のくふうを楽しもう「短歌を作る活動」      ⑪【話聞・読】読んで人間の生き方について考えよう      ⑫【読】表現のおもしろさを味わおう「推薦文を書く活動」      ⑬【書】自分の学びを本にまとめよう「詩や作文を書く活動」</p> <p>全学年で、話す活動では、スピーチ、説明、報告等、書く活動では、手紙、体験・生活文、推薦文、記録文・報告文、創作等の内容が設定されており、数はやや少ないが、様々な学習活動が扱われている。</p>
<p>教出</p>	<p>3領域の言語活動が設定され、伝統的な言語文化に関わる言語活動も設定されている。詩や物語などを創作する言語活動が全学年で設定されている。5年生で「読むこと」と「書くこと」、6年生で3領域を関連させた、言語活動が設定されている。</p> <p>【1年】話聞0 読3 書8</p> <p>①【書】しらせたいことをかこう「伝えたいことを文章に書く活動」      ②【書】えにつき「日記を書く活動」      ③【書】楽しかったことを書こう「出来事を文章に書く活動」      ④【書】カードにかいてしらせよう「本カードを書く活動」      ⑤【読】のりもののことをしらせよう「説明文を書く活動」      ⑥【読】おはなしかいをしよう      ⑦【書】おはなしのつづきをかこう「物語を書く活動」      ⑧【書】ようすをよく見て書こう「見つけたことを文章に書く活動」      ⑨【読】みぶりについてせつめいしよう「説明文を書く活動」      ⑩【書】したことをおもい出してかこう「したことを文章に書く活動」      ⑪【書】がまくんやかえるくんに手がみをかこう「登場人物に手紙を書く活動」</p> <p>【2年】話聞2 読4 書9</p> <p>①【読】お話の中のできごとを、日記に書こう「日記を書く活動」      ②【書】つづけてみよう—日記—「日記を書く活動」      ③【読】つながりをせつめいしよう「説明文を書く活動」      ④【書】手紙を書いてつたえよう      ⑤【話聞】みんなの前で話そう      ⑥【書】見つけたことをわかりやすく書こう「みんなに伝える文章を書く活動」      ⑦【読】くりかえしのあるお話を作ろう「物語を書く活動」      ⑧【書】みじかい言葉で「詩を書く活動」      ⑨【話聞】話し合ってきめよう      ⑩【書】お話のつづきを書こう「物語を書く活動」      ⑪【書】絵を見てお話を書こう「物語を書く活動」      ⑫【書】メモをもとに文章を書こう「観察文を書く活動」      ⑬【書】じゅんじょを考えてせつめいしよう「説明文を書く活動」      ⑭【話聞・読】作り方をせつめいしよう「説明文を書く活動」      ⑮【書】思い出して書こう「心に残っていることを文章に書く活動」</p> <p>【3年】話聞5 読7 書6</p> <p>①【話聞】「聞き取りクイズ」をしよう      ②【書】物語のつづきをそうぞうしよう「物語を書く活動」      ③【書】「発見ノート」を作ろう「発見したことを書く活動」      ④【読】大事なことをまとめよう「分かったことを文章に書く活動」      ⑤【書】理由やれいをあげて説明しよう「調べたことを文章に書く活動」</p>

- ⑥【話聞】 すじみちを立てて発表しよう「発表メモを書く活動」
- ⑦【読】 物語をそうぞうして書こう「物語を書く活動」
- ⑧【書】 いろいろな手紙を書こう「手紙を書く活動」
- ⑨【話聞・書】 調べたことをほうこくしよう「報告文を書く活動」
- ⑩【読】 物語をしょうかいしよう「紹介文を書く活動」
- ⑪【読】 絵文字についてしょうかいしよう「説明文を書く活動」
- ⑫【書】 はったしたことを詩に書こう「詩を書く活動」
- ⑬【話聞】 話し合って、みんなの考えをまとめよう
- ⑭【読】 物語のおもしろいところをしょうかいしよう「紹介文を書く活動」
- ⑮【読】 たまごの見分け方をしょうかいしよう「リーフレットを書く活動」
- ⑯【話聞】 調べてほうこくしよう「発表台本を作って報告する活動」
- ⑰【書】 中心場面を明らかにして書こう「心に残っていることを文章に書く活動」
- ⑱【読】 物語を読んで、手紙を書こう「手紙を書く活動」

【4年】 話聞4 読6 書5 文化1

- ①【話聞】 くらべて発見しよう
- ②【読】 想像を広げて日記を書こう「登場人物になったつもりで日記を書く活動」
- ③【読】 わかったことを説明しよう「説明文を書く活動」
- ④【書】 課題にそって報告文を書こう「報告文を書く活動」
- ⑤【文化】 日本語のひびきにふれよう「感想を書く活動」
- ⑥【話聞】 話の組み立てを考えて、発表しよう
- ⑦【話聞】 よりよい話合いの仕方を考えよう
- ⑧【書】 学級新聞を作ろう「新聞記事を書く活動」
- ⑨【読】 感想を友達に伝えよう「感想文を書く活動」
- ⑩【読】 興味をもったことをしょうかいしよう「紹介文を書く活動」
- ⑪【書】 ぶんたんして図かんを作ろう「図鑑の原稿を書く活動」
- ⑫【読】 テーマを決めて本をしょうかいしよう「本の紹介文を書く活動」
- ⑬【書】 物語を書こう「物語を書く活動」
- ⑭【読】 「便利」について考えよう「意見文を書く活動」
- ⑮【話聞】 ポスターを使って発表しよう
- ⑯【書】 様子がわかるように、言葉を選んで書こう「伝えたいことを文章に書く活動」

【5年】 話聞3 読6 書4 文化2

- ①【読】 人物の心情を想像して、物語の続きを書こう「物語を書く活動」
- ②【書】 しょうかいするポスターを作ろう「紹介するポスターを作る活動」
- ③【話聞】 「町じまん」を一つ選んで、すいせんしよう
- ④【書】 新聞記事を書いて、言葉と事実について考えよう「新聞記事を書く活動」
- ⑤【話聞】 立場を決めて話し合おう
- ⑥【読】 立場を変えて書きかえよう「立場を変えて物語を書きかえる活動」
- ⑦【読・書】 多様な情報を読み取り、自分の考えを深めよう「意見文を書く活動」
- ⑧【文化】 日本の文化を考えよう「感想を書く活動」
- ⑨【書】 俳句・短歌を作ろう「俳句・短歌を作る活動」
- ⑩【読】 本のすいせんをしよう「本の推薦文を書く活動」
- ⑪【文化】 折句を作ろう「詩を作る活動」
- ⑫【読】 まんがに対する考えを文章に表そう「意見文を書く活動」
- ⑬【話聞】 資料をくふうして効果的に発表しよう
- ⑭【書】 活動を報告する文章を書いて、文集にまとめよう「報告文を書く活動」
- ⑮【読】 自分の考えをまとめよう「自分の考えを書く活動」

【6年】 話聞4 読6 書5 文化1

- ①【話聞】 引用して話そう
- ②【読】 随筆を読んで、経験をもとにして書こう「自分の経験を文章に書く活動」
- ③【書】 学校案内パンフレットを作ろう「パンフレットを作る活動」

- ④【話聞】話し合っ、考えや意見を一つにまとめよう
- ⑤【読】伝えたいことをすいせん文にまとめよう「推薦文を書く活動」
- ⑥【読】感想を話し合おう
- ⑦【書】自分のものの見方や考え方を深めよう「随筆を書く活動」
- ⑧【話聞】意見を出し合おう
- ⑨【読】物語の世界を想像して書こう「想像して書く活動」
- ⑩【書】一年生に向けて物語を書こう「物語を書く活動」
- ⑪【読】筆者の考えを読み、感想を書こう「感想文を書く活動」
- ⑫【書】説得力のある文章を書こう「意見文を書く活動」
- ⑬【読】大切な本をしょうかいしよう「本の紹介文を書く活動」
- ⑭【書】興味のある人物をしょうかいしよう「人物の紹介文を書く活動」
- ⑮【文化】日本の文化を考えよう「考えたことを書く活動」
- ⑯【話聞・書・読】国語の学習 これまで これから「筆者へ返事を書く活動」

話す活動、書く活動がすべての学年にあり、数も多く、種類も話す活動ではスピーチ、説明、報告等、書く活動では手紙、体験・生活文、推薦文、記録文・報告文、創作等の内容が設定されている。

3年生以上では、説明的な文章を「読むこと」とつながる「書くこと」の言語活動が一回ある。「書くこと」では、記録・報告・意見、創作・手紙等について、学年で系統的に設定されている。単元名で、読みの観点と取り組む言語活動が分かるようになっている。

【1年】話聞1 読3 書5

- ①【書】おおきくなった「観察カードを書く活動」
- ②【書】こんなことをしたよ「日記を書く活動」
- ③【書】よく見て書こう「見つけたものを知らせる文章を書く活動」
- ④【読】くらべてよもう「調べたことを書く活動」
- ⑤【読】本をえらんでよもう「本の紹介カードを書く活動」
- ⑥【話聞・書】すきなことなあに「伝えたいことを話したり書いたりする活動」
- ⑦【書】てがみをかこう
- ⑧【読】すきなところをさがしてよもう「本の好きなところを書く活動」
- ⑨【書】おもい出してかこう「一年間の出来事を思い出して文章に書く活動」

【2年】話聞2 読3 書7

- ①【書】今週のニュース「知らせたいことを文章に書く活動」
- ②【読】じゅんじょに気をつけて読もう  
「分かったことや思ったことを文章に書く活動」
- ③【書】ていねいにかんさつしてきろくしよう「観察文を書く活動」
- ④【読】お話を読んで、かんそうを書こう「感想文を書く活動」
- ⑤【書】こんなもの、見つけたよ「知らせたいことを文章に書く活動」
- ⑥【書】まとまりに分けて、お話を書こう「物語を書く活動」
- ⑦【書】わかりやすくせつめいしよう「作り方の説明をする文章を書く活動」
- ⑧【話聞】組み立てを考えて、はっぴょうしよう
- ⑨【読】じんぶつと自分をくらべて読もう「心にのこったことを書く活動」
- ⑩【書】見たこと、感じたこと「詩を書く活動」
- ⑪【話聞】みんなできめよう
- ⑫【書】できごとや気持ちがつたわるように書こう  
「一年間の出来事を思い出して文章に書く活動」

【3年】話聞2 読7 書4

- ①【話聞】よい聞き手になろう
- ②【読】まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう
- ③【書】ざいりょうを集めて、ほうこくする文章を書こう「報告文を書く活動」
- ④【読】読んで、かんじたことを発表しよう

光村

- ⑤【書】「ありがとう」をつたえよう「手紙を書く活動」
- ⑥【話聞】進行を考えながら話し合おう
- ⑦【読】場面のうつりかわりをとらえて、感想をまとめよう「感想文を書く活動」
- ⑧【読】せつめいのくふうについて話し合おう「説明文を書く活動」
- ⑨【読】おもしろいと思うところを、しょうかいしよう「本の紹介文を書く活動」
- ⑩【書】たから島のぼうけん「物語を書く活動」
- ⑪【読】考えの進め方をとらえて、科学読み物をしょうかいしよう  
「科学読み物の紹介文を書く活動」
- ⑫【書】本で調べて、ほうこくする文章を書こう「報告文を書く活動」
- ⑬【読】心にのこったことを、自分の言葉で表そう「ポスターを書く活動」

【4年】話聞1 読8 書6

- ①【読】登場人物の人がらをとらえ、話し合おう
- ②【読】きょうみをもったところを発表しよう「自分の考えを書く活動」
- ③【書】調べたことを整理して書こう「新聞記事を書く活動」
- ④【読】場面の様子に着目して読み、しょうかいしよう「本の紹介文を書く活動」
- ⑤【書】自分の考えをつたえるには「自分の考えを書く活動」
- ⑥【読】「読むこと」について考えよう「作品を紹介するカードを書く活動」
- ⑦【話聞】調べたことを整理し、発表しよう
- ⑧【読】読んで考えたことを話し合おう
- ⑨【読】段落どうしの関係をとらえ、説明のしかたについて考えよう
- ⑩【書】「クラブ活動リーフレット」を作ろう「説明文を書く活動」
- ⑪【読】心に残ったことを感想文に書こう「感想文を書く活動」
- ⑫【書】野原に集まれ「詩を書く活動」
- ⑬【読】きょうみをもったところを中心に、しょうかいしよう「紹介文を書く活動」
- ⑭【書】本で調べて、ほうこくする文章を書こう「報告文を書く活動」
- ⑮【書】十年後のわたしへ「手紙を書く活動」

【5年】話聞2 読8 書4

- ①【読】登場人物どうしの関わりをとらえ、感想を伝え合おう
- ②【読】筆者の考えの進め方をとらえ、自分の考えを発表しよう  
「自分の考えを書く活動」
- ③【読】広がる、つながる、わたしたちの読書「本の推薦文を書く活動」
- ④【書】事実と考えを区別して、活動を報告する文章を書こう「報告文を書く活動」
- ⑤【話聞・書】考えを明確にして話し合い、提案する文章を書こう「提案文を書く活動」
- ⑥【読】すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう
- ⑦【読】説明のしかたの工夫を見つけ、話し合おう
- ⑧【書】グラフや表を用いて書こう「意見文を書く活動」
- ⑨【読】伝記を読んで、自分の生き方について考えよう
- ⑩【読】事例と意見の関係をおさえて、自分の考えをまとめよう  
「自分の考えを文章に書く活動」
- ⑪【話聞】すいせんします
- ⑫【読】特色をとらえながら読み、物語をめぐって話し合おう
- ⑬【書】一まいの写真から「物語を書く活動」
- ⑭【書】六年生になったら「自分の考えを書く活動」

【6年】話聞3 読6 書4

- ①【読】登場人物の心情をとらえ、感想をまとめよう「感想文を書く活動」
- ②【読】筆者の意図をとらえ、自分の考えを発表しよう
- ③【話聞】学級討論会をしよう
- ④【読】私と本「心に残っている本について書く活動」
- ⑤【書】町のよさを伝えるパンフレットを作ろう「パンフレットを書く活動」
- ⑥【書】たのしみは「短歌を書く活動」



- ⑦【話聞・書】意見を聞き取って考えを深め、意見文を書こう「意見文を書く活動」
- ⑧【読】筆者のものの見方をとらえ、自分の考えをまとめよう
- ⑨【書】この絵、私はこう見る「絵を見て読み取ったことや感じたことを書く活動」
- ⑩【読】筆者の考えをとらえ、自分の考えと比べて書こう「自分の考えを書く活動」
- ⑪【書】忘れられない言葉「随筆を書く活動」
- ⑫【読】登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう
- ⑬【話聞】今、私は、ぼくは「スピーチ原稿を作る活動」

話す活動ではスピーチ、説明、報告等、書く活動では手紙、体験・生活文、推薦文、記録文―報告文、創作等の内容が設定されており、様々な学習活動が扱われている。

【国語】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑫学校図書館機能の活用
方 法	学校図書館を利活用し、読書を進めたり、情報を得たりする学習の仕方について示されている記述の例

発行者	調査・研究内容					
東書	1年生で学校図書館を紹介し、2年生から6年生まで「図書館へ行こう」という小単元(2p)をそれぞれ設け、「図書館の案内」、「本のなかま分け」、「三段ラベル」、「日本十進分類法」、「地域の図書館」について記述がある。合計12ページ。子供たちに、学校図書館が学習・情報センター及び読書センターとしての役割をもっていることが認識できるよう設定されている。					
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
	「としょかんってどんなどころ」	「としょかんへ行こう」	「図書館へ行こう」	「図書館へ行こう」	「図書館へ行こう」	「図書館へ行こう」
	図書館の紹介	図書館の案内	本のなかま分け	三段ラベル	日本十進分類法NDC	NDC地域の図書館
2 p	2 p	2 p	2 p	2 p	2 p	
学図	1年生から4年生までと6年生で小単元(2P)を設け、「学校図書館の紹介」、「学校図書館の使い方」、「本のなかま分け」、「地域の図書館の紹介」について記述がある。合計12ページ。					
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
	「すきなほんをひらいてみましょう」	「図書しつに行ってみよう」	「図書室で本をさがそう」	「地いきの図書館を利用しよう」「生活の中に生きている読書」		「目的に応じて調べよう」
	学校図書館の紹介	学校図書館の使い方	本のなかま分け目次、索引	地いきの図書館の、紹介本の選び方		図書館、資料館、インターネット、取材での調べ方
2 p	2 p	2 p	4 p		2 p	
三省堂	全学年で「図書館へ行こう」という小単元と、2年生から学校図書館での調べ学習の小単元を設け、「学校図書館の紹介」、「本のあつかい」、「目次、索引」、「推薦図書」等、「本の検索」、「日本十進分類」、「関連読書」等についての記述がある。合計28ページ。					
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
	「としょかんへいこう」	「としょかんへいこう」	「図書かんへ行こう」	「図書館へ行こう」	「図書館へ行こう」	「図書館へ行こう」
	学校図書館の紹介	本をさがそうどくしょカード	読書カード図書館の役割	推薦図書	図書目録コンピュータ検索	関連読書
	2 p	2 p	2 p	2 p	2 p	2 p
	「わたしのよんだ本」	「本を大切にしよう」	「本をさがそう」「図かんで調べよう」	「百科事典で調べよう」	「情報を分類して整理しよう」	「調べるための本」
どくしょカード	本のあつかい	もくじ、さくいん	百科事典	日本十進分類	図鑑、事典、年鑑	
4 p	2 p	4 p	2 p	2 p	2 p	
子供たちに、学校図書館が学習・情報センター及び読書センターとしての役割をもっていることが認識できるよう設定されている。						

教出	1年生から4年生まで「図書館へ行こう」という小単元（4p～10p）を設け、「学校図書館の紹介」、「図書館で本をさがそう」、「本で調べよう」、「分類をもとに本を見つけよう（日本十進分類法）」の記述がある。合計23ページ。					
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
	「としょかんへいこう」	「図書館へ行こう」	「図書かんへ行こう」	「図書館へ行こう」「司書」		
	学校図書館の紹介	図書館で本をさがそう	本で調べよう	分類をもとに本を見つけよう日本十進分類法		
	8p	6p	4p	5p		
光村	全学年で「本は友達」という単元を読み物とともに設け、「学校図書館の紹介」等、「お話クイズ」等、「本の分類表」等、「読書のふり返りと紹介」「本のラベル」、「ポスター、帯、ポップ、著作権」、「本との出会い、心に残る本」等の記述がある。合計45ページ。					
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
	「ほんはともだち」	「本はともだち」	「本は友だち」	「本は友達」	「本は友達」	「本は友達」
	学校図書館の紹介	お話クイズをしよう	本を使って調べよう	「読むこと」について考えよう	広がる、つながる、わたしたちの読書	私と本
		お話クイズのやりかたを知ろうクイズをつくって、たのしもう	図書館のくふうを知ろう	何を読んでいるかふり返ろう	本をすすめるための方法を知ろう ポスター、帯、ポップ、特設コーナー、ブックトーク	これまでにどんな本に出会ってきたかをふり返ろう
	4p	6p	2p	2p	4p	2p
	「ほんはともだち」「むかしばなしがいっぱい」	「本の分けかた・ならべかた」	本を使って調べ方法を知ろう	どのように文章を読んでいるか考えよう	本をすすめよう	自分と本との関わりについて考え、伝え合おう
	5p	1p	2p	2p	2p	1p
	おはなしノート		本の分類表	読んだ本をしようかしよう	著作権について知ろう	いちばん心に残っている本について考えよう
	1p		2p	2p	1p	1p
	「本はともだち本をえらんでよう」			読みたい本の見つけ方 本のラベル		施設を利用して、本の世界を広げよう
	2p			1p		1p
	おはなしの森					
	1p					
子供たちに、学校図書館が学習・情報センター及び読書センターとしての役割もっていることが認識できるよう設定されている。						

平成30年 7月 3日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 書写

代表者 呉市立波多見小学校

氏名 永田 久美子

呉市教科用図書調査・研究報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【書写】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	①単元・題材の目標の示し方
方 法	各単元・題材における明確な目標の示し方

発行者	調査・研究内容
東書	<p>めあては、ページの右上に「調べよう」という項目を設定し示されている。「～について調べよう。」「～について考えよう。」という表現で具体的な活動目標になっている。1, 2年生はページの右上にめあてを示したマークやイラストが使用されている。硬筆や毛筆についての筆順の違いや書く時のリズム等を確認することを通して、めあてが明らかになるようにしている。そして、その「調べよう」の下に書き方のポイントを示している。「めあて」という表記はない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>目標が具体的に示されているため、児童は何に気を付けて活動すればよいのか、意識して学習に臨むことができていた。また、マークやイラストによって「めあて」が強調されていることで、児童自ら「めあて」を確認する姿が多く見られた。</p> </div>
学図	<p>めあては、全学年ページ右端に「学習すること（めあて）のマーク」を付けている。「～に気を付けて書こう。」「～を考えて書こう。」「～に注意して、～して書こう。」という表現で示し、注意すべき点も明確に示している。その際、ポイントとなる言葉は、色付けをして明確に示している。</p>
三省堂	<p>穂先の位置などを具体的に示し、身に付けさせたい内容は明確である。3, 4年生では、ページの右側に書き方のポイントが大きく示されている。5, 6年生では、最初に硬筆でどちらが読みやすいか例文を2つ示し、書いて確かめさせて、目標を設定するような単元になっている。「めあて」という表記はない。</p>
教出	<p>見開き2ページで右側に手本、左側に学習を進める順番が書いている。左側の始めに「めあて」と書き表し、「～に気を付けて書こう。」という表現で色分けをして明確に示している。めあては、3年生以上では、縦書きの場合はページの右端に、横書きの場合はページの上側に「めあて」と文字で示している。1, 2年生では、「めあて」の文字の代わりにりんごのマークで示している。</p>
光村	<p>単元が大きく分けられている。その単元の中で、細かく題材が示されている。めあては、全学年、見開きの2ページの右端に単元のめあてを示している。その左側に、整った文字の書き方を考えさせ、右下に整った文字の書き方のポイントを「たいせつ」という言葉とともに示している。整った文字の書き方について考えることを通して、大切なポイントについて気付かせるよう構成している。「めあて」という表記はない。</p>
日文	<p>見開き2ページで右側に学習の流れ、左側に手本という順番に書いている。右側の始めに「～に気を付けて～を書こう。」「～を考えて書こう。」という表現で、めあてを明確に示している。めあては、ページの右端に学年ごとに強調するためのマークを付けている。「めあて」という表記はない。</p>

【書写】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②姿勢, 執筆法, 用具の扱いの示し方
方 法	正しい姿勢や執筆法, 用具の扱い方の写真やイラストでの示し方

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢のポイントを1～4年生では、「足ぺたぴんとんさあ書こう」という言葉で表現し、①足のおき方②背筋③手のおき方について写真で示している。えんぴつの持ち方を1ページ使って拡大して示している。3年生以上は、硬筆と毛筆の姿勢についてそれぞれ示している。</li> <li>・大筆・小筆の持ち方, 用具の置き方, 扱い方と後始末について3年生以上で写真と文字で具体的に児童の目線にあわせた示し方である。筆の持ち方は, イラストで示している。</li> <li>・1, 2年生は, 赤線で筆記用具の動きを示している。3年生以上は朱墨と薄墨で筆の動きを示している。</li> <li>・写真やイラストを使用して, 児童に具体的にイメージしやすい工夫がされている。</li> </ul>
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢のポイントを1, 2年生では、「あしはぺたぺた。せすじはびん。おなかとせなかにぐうひとつ。かみをおさえてさあかこう。」という言葉でリズムのよい言葉で示している。6点のポイントについて, 正面, 横からの姿勢を写真で示している。えんぴつの持ち方を1ページ使って示している。3, 4年生でも同様に正面, 横からの姿勢を写真で示している。筆の持ち方を3年生以上では写真で示している。</li> <li>・用具の配置と後始末は3, 4年生まで写真で示している。筆の持ち方については, 3年生以上で示している。</li> <li>・1, 2年生は, 赤線で筆記用具の動きを示している。3年生以上は朱墨と薄墨で筆の動きを示している。(5, 6年生は3ヵ所。)</li> <li>・写真やイラストを使用して, 児童に具体的にイメージしやすい工夫がされている。</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢とえんぴつ, 筆の持ち方は全学年でイラストで示している。</li> <li>・姿勢のポイントを1, 2年生では「おなかとせなかにぐうひとつ。あしをぺたぺた。せなかをびん。」という「しせいの合言葉」として示している。</li> <li>・えんぴつの持ち方について, 具体的に示されていない。</li> <li>・1, 2年生では, 筆記用具の強さや動きが, 青の●印や赤の線で示している。3, 4年生では, 朱墨と薄墨で筆の動きを示している。5, 6年生は赤線で鉛筆や筆の動きを示している。</li> <li>・写真やイラストを使用して, 児童に具体的にイメージしやすい工夫がされている。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢のポイントを2～4年生まで、「あしは, ぺたぺた。せなかは, びん。おなかとせなかに, ぐうひとつ。えんぴつ (筆を) もって, そとてをおく。」という言葉で示している。えんぴつの持ち方はイラストと写真で示している。姿勢と筆の持ち方を3～6年生では, 写真で示している。入門期の1年生で良い姿勢を示す言葉が示されていない。</li> <li>・3, 4年生では, 用具の置き方や片付け方, 筆圧や筆使い, 穂先について5, 6ページで示している。</li> <li>・5, 6年生では, 姿勢と筆使い, 点画について示している。</li> <li>・1, 2年生は, 赤線や黒線で筆記用具の動きが示されている。3, 4年生は筆先のイラストと朱墨と薄墨で筆の動きが示されている。5, 6年生は, 朱墨と黒線で筆の動きが示されている。</li> </ul>

<p>光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢のポイントを1～4年生では、「あしはぺったん。せなかはぴん。おなかとせなかにぐうひとつ。かみをおさえて。さあかこう。」という言葉で「書くときの姿勢」として示している。1，2年生のえんぴつの持ち方は写真とイラストで2，3ページ示している。姿勢は全学年正面，横からの写真である。</li> <li>・大筆・小筆の持ち方，用具のおき方と扱い方について3年生以上で写真と文字で具体的に示している。5，6年生でえんぴつの持ち方を写真で示している。</li> <li>・1，2年生は，赤線で筆記用具の動きを示している。3年生以上で，墨，朱墨と薄墨，筆先のイラストで筆の動きを示している。</li> <li>・写真やイラストを使用して，児童に具体的にイメージしやすい工夫がされている。</li> </ul>
<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢のポイントを1～4年生では，姿勢について書写の合言葉として「あしはびた。せなかはぴん。おなかとせなかにぐうひとつ。もちかたたしかめさあかこう。」という言葉で示している。</li> <li>・えんぴつの持ち方を1年生では，写真とイラストで，2年生では，写真で示している。大筆・小筆の持ち方，用具の置き方とあつかい方について3年生以上で写真と文字で具体的に示している。</li> <li>・1，2年生は，赤線で筆記用具の動きを示している。3年生以上で朱墨と薄墨で筆の動きを示している。3，4年生は朱墨と薄墨に加え，筆先のイラストでも示している。</li> <li>・写真やイラストを使用して，児童に具体的にイメージしやすい工夫がされている。</li> </ul>

【書写】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	③伝統と文化に関する内容の記述
方 法	書写の歴史に関する資料等の内容及びページ数, 伝統的な言語文化に関する内容及びページ数

方法：書写の歴史に関する資料等の内容及びページ数・・・①

伝統的な言語文化に関する内容及びページ数・・・②とする。

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○書写の歴史に関する資料等の内容及びページ数                      1年生：なんの かたちから できたのかな p 1 (37)                      5年生：ひらがな・かたかな・ローマ字の表 p 2 (36・37)・・・字源について書いてある。                      6年生：いろいろな時代の文字 p 1 (表紙裏)・・・金印, 光琳カルタ, 信長の手紙                      こんな文字, 見つけたよ p 1 (11) (行書)</p> <p>○伝統的な言語文化に関する内容及びページ数                      1年生：「花さかじいさん」のうた p 1 (36)                      2年生：いろはうた・春の七草 p 1 (36) かさこじぞう p 1 (33)                      3年生：俳句 p 1 (31)                      4年生：百人一首 p 1 (31) ごんぎつね p 1 (26)                      5年生：竹取物語, 枕草子, おくのほそ道 p 2 (34・35)                      6年生：論語, 春暁 p 2 (34・35)</p> <p>①は5ページある。(字源, 金印, 光琳カルタ, 信長の手紙, 行書) ②は10ページある。「花さかじいさん」のうた, いろはうた・春の七草, 俳句, 百人一首, 竹取物語, 枕草子, おくのほそ道, 論語, 春暁) 中学校古典で学習する作品がある。(竹取物語, 枕草子, おくのほそ道, 論語, 春暁)</p> <p>方法①は1年生, 5年生, 6年生で掲載されており, 方法②では全学年で掲載されている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>書写の歴史に関する事項が, 学年に応じて紹介されており, 児童が言語文化に親しんだり, 理解を深めたりすることができた。</p> <p>伝統的な言語文化に関する資料は, 国語の教科書から取り上げられている物が多く, 児童の興味・関心をひきやすかった。</p> </div>
学図	<p>○書写の歴史に関する資料等の内容及びページ数                      5年生：ひらがなのでき方 p 2 (12・13)・・・字源やかたかなの生まれについて書いてある。                      身の回りに生きている書写 p 1 (38)・・・欄干の文字, 石碑                      漢字の成り立ち p 1 (39)                      6年生：平がな いろは歌 p 1 (17)・・・いろはうた江戸時代写真有</p> <p>○伝統的な言語文化に関する内容及びページ数                      1年生：ももたろうのうた p 1 (36)                      2年生：春の七草 数え歌 p 1 (36)                      3年生：俳句 p 1 (31)                      4年生：短歌 p 1 (23)</p>



	<p>5年生：枕草子 p 1 (11)  6年生：俳句・短歌 p 1 (9)  いろはうた p 1 (17)・・・いろはうた江戸時代写真有  文語詩 (ヤシの実) p 1 (21)</p> <p>①は5ページある。(イギリスで発明, 聖武天皇の文字, 字源, カタカナの生まれ, 欄干の文字, 石碑, 漢字の成り立ち, いろはうた) ②は8ページある。(ももたろうのうた, 春の七草, 数え歌, 俳句, 短歌, 枕草子, 文語詩)  全学年において方法①②の内容が掲載されている。</p>
三省堂	<p>○書写の歴史に関する資料等の内容及びページ数  6年生：文字で伝える・文字で伝わる p 2 (1・2)・・・短歌を書き写したものを, 絵巻物 奈良や平安の手紙  文字の由来 p 1 (裏表紙) 象形文字  ○伝統的な言語文化に関する内容及びページ数  2年生：かさこじぞう p 1 (33)</p> <p>①は3ページある。(短歌を書き写したものを, 絵巻物, 奈良や平安の手紙, 文字の由来, 象形文字) ②は1ページある。(かさこじぞう)  方法①は6年生で掲載されており, 方法②は2年生で掲載されている。</p>
教出	<p>○書写の歴史に関する資料等の内容及びページ数  1年生：しりたい文字のせかい p 1 (39) 象形文字  2年生：知りたい文字のせかい p 2 (28・29) 象形文字  3年生：漢字のなり立ち p 1 (56) 一部 象形文字  4年生：漢字の成り立ち p 1 (56) 一部 象形文字  5年生：漢字の成り立ち p 1 (48) 一部 象形文字  6年生：文字の旅 p 2 (1・2) 金印, 鉄剣の文字  知りたい文字の世界 p 1 (13) 今に生きる文字  漢字の成り立ち p 1 (48) 一部 象形文字  ○伝統的な言語文化に関する内容及びページ数  2年生：かさこじぞう p 1 (35)  3年生：おにたのぼうし p 1 (41)  4年生：短歌・俳句 p 2 (34・35)  ごんぎつね p 1 (41)  5年生：竹取物語 p 1 (21) 本文 p 1 (39) 行書  雪わたり p 1 (35)  6年生：枕草子 p 2 (18・19)  俳句 p 1 (24)</p> <p>①は10ページある。(象形文字, 金印, 鉄剣)  ②は11ページある。(かさこじぞう, おにたのぼうし, ごんぎつね, 竹取物語, 雪わたり, 枕草子, 短歌・俳句)  方法①は全学年で掲載されており, 方法②は2年生以上で掲載されている。</p>
光村	<p>○書写の歴史に関する資料等の内容及びページ数  6年生：文字の歴史 p 2 (20・21) 漢字の誕生：甲骨文, 金印, 仮名の誕生</p>

	<p>○伝統的な言語文化に関する内容及びページ数</p> <p>4年生 和歌 p 1 (29)</p> <p>5年生 枕草子 p 1 (27)</p> <p>6年生 俳句 p 2 (10・11)</p> <p>①は2ページある。(漢字の誕生) ②は4ページある。(和歌, 枕草子, 俳句)</p> <p>方法①は6年生で掲載されており, 方法②は4年生以上に掲載されている。</p>
<p>日文</p>	<p>○書写の歴史に関する資料等の内容及びページ数</p> <p>1年生: かん字ができた p 1 裏表紙</p> <p>6年生: 平仮名と片仮名ができるまで p 4 (2~5)</p> <p>平仮名のもとになった漢字 p 1 (23)</p> <p>○伝統的な言語文化に関する内容及びページ数</p> <p>1年生: おおきなかぶ p 1 (15)</p> <p>2年生: 雪 p 1 (35)</p> <p>3年生: ことわざ p 1 (35) 俳句 p 1 (42)</p> <p>4年生: ごんぎつね p 1 (30) 百人一首 p 1 (42)</p> <p>5年生: 赤とんぼ p 1 (34) 竹取物語 p 1 (42) いろは歌 p 1 (43)</p> <p>6年生: 俳句 p 1 (22) 俳句 p 2 (28・29) ことわざ, 論語 p 1 (30)</p> <p>枕草子 p 1 (39) 俳句 p 1 裏表紙</p> <p>①は6ページある。(かん字ができた, 平仮名と片仮名ができるまで, 平仮名のもとになった漢字) ②は15ページある。(おおきなかぶ, 雪, ことわざ, ごんぎつね, 百人一首, 赤とんぼ, 竹取物語, いろは歌, 俳句, 枕草子, 論語)</p> <p>方法①は1年生, 6年生で掲載されており, 方法②は全学年で掲載されている。</p>

【書写】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④興味・関心を高めるための工夫
方 法	身の回りで使用されている書体の具体例, 用具の種類, 書体

発行者	調査・研究内容
東書	<p>身の回りで使用されている書体について, 3・4年生「身の回りの文字を探そう」, 5年生「世界の文字」「いろいろな大きさの文字」, 6年生「文字にこめられた思い」で扱われている。</p> <p>用具の種類は, 1年生, 5年生, 6年生において, のべ13種類が示されている。書体は, 4年生で「手書き文字と活字」, 6年生で「行書」が示されている。</p> <p>「身の回りで使用されている書体について」</p> <p>3年生…表紙扉：身の回りの文字をさがそう 4年生…表紙扉：身の回りの文字をさがそう 5年生…表紙扉：世界の文字 裏表紙扉：いろいろな大きさの文字 6年生…裏表紙扉：文字にこめられた思い</p> <p>「用具の種類について」</p> <p>1年生…P16・17なまえをかこう (フェルトペン, 画用紙にクレヨン, 粘土に名前をほる) 5年生…P4・5いろいろな筆記具 6年生…P4・5いろいろな筆記具 P32・33卒業作品筆記具の選択 ※3年生P21どうやって作るの 筆・和紙・すずり・すみ 2年生P12どうやって作るの 鉛筆消しゴム</p> <p>「書体」</p> <p>4年生…P15手書き文字と活字 (コンピューター) 6年生…P11こんな文字, 見つけたよ 行書</p>
学図	<p>身の回りで使用されている書体について, 1年生「がっこうのものをさがそう」, 5年生「身の回りに生きている書写」で扱われている。</p> <p>用具の種類は, 2年生, 5年生, 6年生において, のべ17種類が示されている。書体は4年生で「くらべてみよう」(手書きとコンピューターの活字) が示されている。</p> <p>「身の回りで使用されている書体について」</p> <p>1年生…P1・2がっこうのものをさがそう 5年生…P38身の回りに生きている書写</p> <p>「用具の種類について」</p> <p>2年生…P37いろいろなひつきぐ 5年生…P1選んで書こう P36六年生をおくりだそう 6年生…P1ポスターで伝えよう 太いフェルトペン P32連詩 いろいろな筆記具を使おう ※5年生P40和紙ができるまで 4年生P40すみができるまで 3年生P43筆ができるまで (広島県熊野町)</p>

	<p>2年生P39えんぴつができるまで</p> <p>「書体」</p> <p>4年生…P38・39 くらべてみよう 手書きとコンピューター活字</p>
三省堂	<p>身の回りで使用されている書体について，1年生「みんなのなまえ」，5年生「生活の中の文字」，6年生「文字で伝える・文字で伝わる」で扱われている。</p> <p>用具の種類については，2年生，4年生，6年生において，のべ23種類が示されている。</p> <p>書体については，6年生において，「行書」が示されている。</p> <p>「身の回りで使用されている書体について」</p> <p>1年生…P2みんなのなまえ</p> <p>5年生…表紙扉 生活の中の文字</p> <p>6年生…P1・2文字で伝える・文字で伝わる</p> <p>「用具の種類について」</p> <p>2年生…P2いろいろなようぐ</p> <p>4年生…P1・2みんな毛筆の仲間</p> <p>6年生…P24目的にふさわしい筆記用具と書き方 P35どの筆記用具を使うか</p> <p>「書体」</p> <p>6年生…P23こんな字を見たことがありますか「行書」</p>
教出	<p>身の回りで使用されている書体について，全学年で「がっこうのもじたんけん」「文字たんけん」「筆文字をさがそう」等として扱われている。</p> <p>用具の種類は，全学年において，のべ23種類が示されている。</p> <p>書体については，3年生で「手書き文字と活字」，5・6年生で「行書」が示されている。</p> <p>「身の回りで使用されている書体について」</p> <p>1年生…P1・2がっこうのもじたんけん</p> <p>2年生…P1・2町の文字たんけん</p> <p>3年生…P1・2毛筆の学習が始まるよ</p> <p>4年生…P1・2いろいろな書き方のくふう P42筆文字をさがそう</p> <p>5年生…P1・2世界の「こんにちは」</p> <p>6年生…P1・2文字の旅 P13今に生きる文字 P20・21生活と文字</p> <p>「用具の種類について」</p> <p>1年生…P38ひっきようぐをえらんでかこう</p> <p>2年生…P36ひっき用具をえらんで書こう 裏表紙扉 ひっき用具とらのまき</p> <p>3年生…P57筆記用具とらのまき P14いろいろな筆</p> <p>4年生…P57筆記用具とらのまき</p> <p>5年生…P22・23筆記用具を使いこなそう（用紙） P37書いて伝えよう 筆記用具のくふう</p> <p>6年生…P23文字の大きさと筆記用具</p> <p>※3年生P19筆・すみ・すずり・紙 作り方を見てください。</p>

	<p>「書体」</p> <p>3年生…P 4 2 手書き文字と活字</p> <p>5年生…P 3 9 「行書」</p> <p>6年生…P 3 9 「行書」</p>
光村	<p>身の回りで使用されている書体について、4年生「書写で学習したことは、どんな場面で生かせるかな」、6年生「学習したことを生かして書こう」として扱われている。</p> <p>用具の種類は、5年生、6年生において、のべ13種類が示されている。</p> <p>書体については、5年生で「手書き文字と活字」、6年生で「楷書」「行書」が示されている。</p> <p>「身の回りで使用されている書体について」</p> <p>4年生…P 1 書写で学習したことは、どんな場面で生かせるかな</p> <p>6年生…P 3 0・3 1 学習したことを生かして書こう</p> <p>「用具の種類について」</p> <p>5年生…P 2 4・2 5 筆記具の選たく</p> <p>6年生…P 1 3 筆記具の選たく P 1 5 筆記具の工夫</p> <p>※2年生P 3 6 もっと知りたい えんぴつができるまで</p> <p>3年生P 5 5 もっと知りたい 筆ができるまで</p> <p>4年生P 4 9 もっと知りたい 紙・すみ・すずりができるまで</p> <p>「書体」</p> <p>5年生…P 1 7 手書き文字と活字</p> <p>6年生…P 4 9 速く、読みやすく書くには 「楷書」「行書」</p>
日文	<p>身の回りで使用されている書体について、1年生、5年生、6年生において「手書きの文字と活字のよさを知ろう」等として扱われている。</p> <p>用具の種類は、5年生、6年生でのべ18種類が示されている。</p> <p>書体については、4年生で「手書き文字と活字のよさを知ろう」が示されている。</p> <p>「身の回りで使用されている文字について」</p> <p>1年生…P 1 よめるかな</p> <p>5年生…P 5 世界の文字で「ありがとう」手書きの文字と活字のよさを知ろう</p> <p>6年生…P 3 伝えるものがある P 1 8 身の回りの文字に目を向けよう</p> <p>「用具の種類について」</p> <p>5年生…P 1 筆記具でくふう</p> <p>P 3 6 筆記具の特ちょうを知ろう</p> <p>P 3 7 ポスターの書き方</p> <p>6年生…P 3 2・3 3 筆記具の特ちょうをいかして書こう</p> <p>※5年生P 2～4 何ができるのかな 筆・墨・すずり・紙</p> <p>「書体」</p> <p>4年生…p 3 1 手書きの文字と活字のよさを知ろう</p> <p>5年生…裏表紙扉「行書」って何？</p> <p>6年生…裏表紙扉「行書」で書けるかな？</p>

【書写】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方 法	学習の手順の示し方

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(1) 年間を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5, 6年生では「姿勢と筆記具／学習の進め方」として、「姿勢」「持ち方」「用具の置き方と扱い方」を2ページ、さらに「いろいろな筆記具」で2ページ、「学習の進め方」で1ページ、「いろいろな点画」で1ページと計6ページで説明している。3, 4年生は「学習の進め方」としては示していないが、5, 6年生とほぼ同じ内容で4ページにわたって説明している。</li> </ul> <p>(2) 単元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1, 2年生は「気をつけることは何かな」「書いてみよう」「できたらシールをはろう」の手順が数字と言葉で示されている。3年生以上では、「しらべよう」→「たしかめよう」→「広げよう」→「振り返ろう」の順で展開が考えられている。何を調べるのか、何を確かめるのかなどポイントが明確に示されているが、具体的なポイントは示されていない。</li> </ul> <p>左ページのインデックスによって、どのページを見ればポイントの解説があるか示されているため、課題解決のために進んで調べる児童の姿が見られる等、主体的な学びにつながった。</p>
学図	<p>(1) 年間を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「毛筆学習の進め方」として、3年生では2ページ分、4年生以上の学年で3ページ分（折込）が示している。「めあて」→「ためし書き」→「自分の課題」→「練習」→「まとめ書き」→「ふり返り」の順に学習を進めるようになっている。どのように学習を進めるのか具体的に説明している。1, 2年生は「はじめ」「かくしゅうすること」「れんしゅう」「まとめ」「かけたかな」の手順で示している。また、「練習」で3種類の練習用紙を選択できるようになっている。3年生以下の学年は、「学習のめあて」「この教科書の使い方」を目次のページに載せている。3年生では、「毛筆学習の進め方」は、冒頭に示されていない。また、1, 2年生でも学習の手順は冒頭に示されていない。</li> </ul> <p>(2) 単元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4年生以上で、「めあて」→「硬筆に生かそう」の順で展開が考えられている。それぞれに振り返りが設けられている。</li> </ul>
三省堂	<p>(1) 年間を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1, 2年生は、「ゆびでなぞろう」「書いてたしかめよう」「ふり返ろう」の手順が示されている。3, 4年生は、「めあて」のあと練習を行い、「えん筆で書こう」「たしかめよう」の手順が言葉で示されている。5, 6年生は、「めあて」「考えよう」「書いて確かめよう」「毛筆で確かめよう」の手順が言葉で示されている。5, 6年生には目次のページに「学習の仕組み」を簡潔な図で半ページで示している。4年生以下では特に示されていない。</li> </ul> <p>(2) 単元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5, 6年生では、「考えよう」→「書いて確かめよう」→「毛筆で確かめよう」→「確かめ合おう」→「学習を生かそう」の順で展開が考えられている。3, 4年生は、「えん筆で書こう」→「たしかめよう」の順になっている。</li> </ul>

<p>教出</p>	<p>(1) 年間を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目次のページに「学習のめあて」として、各学年の「硬筆、毛筆の学習」「毛筆の学習」が示されている。また、3、4年生では、「学習の進め方」として、「準備」→「めあてを知り、ためし書き」→「考える」(ためし書きと教科書の比較)→「練習」→「まとめ書き」→「硬筆」→「振り返り」→「生活に生かす」の流れがイラストとともに分かりやすく説明されている。さらに、「はじめの学習」として、3年生では、毛筆用具の名前、置き方や扱い方、姿勢なども含めて巻頭に7ページで示されている。4年生では、前学年の学習事項も含めて、8ページ、5、6年生では簡略化され、前学年の学習事項とともに3ページで示されている。</li> </ul> <p>(2) 単元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学習の進め方」をベースとして構成されており、マークによって展開が明確になっている。</li> <li>1、2年生は「ゆびでなぞってみよう」「えんぴつでなぞってみよう」「どこにちがいはあるか、みつけよう」「ことばでかいてみよう」「ふりかえり」の手順がマークと言葉で示されている。3年生以上は、「めあて」「考えよう」「ここが大切(練習)」「生かそう」「ふり返ろう」の手順がマークと言葉で示されている。</li> </ul>
<p>光村</p>	<p>(1) 年間を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5、6年生は「学習の見通しをもとう」を目次の上に載せ、目次と対応させながら学習の流れがとらえられるようになっている。また、4年生以上では「学習の進め方」を見開き2ページで設け、教科書の見開き2ページを例にして「書き方を考える」→「書き方を知る」→「書き方を確かめる」→「毛筆で書く」→「学習したことを生かして鉛筆で書く」→「振り返る」→「生活に生かす」の順で学習の流れを説明している。また、「用具の準備」「用具の片づけ方」も併せて載せている。</li> </ul> <p>(2) 単元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4年生以上は、「学習の進め方」をベースとして構成されている。ポイントを太線で囲み強調している。</li> <li>1、2年生は「なぞってみよう」「えんぴつでなぞろう」「できたかな」の手順がマークと言葉で示されている。3、4年生は「すみのついていない筆でなぞろう」「毛筆で書こう」「学習を生かして書こう」「ふり返ろう」の手順がマークと言葉で示されている。5、6年生は、「学習のポイントを確かめよう」(選択肢や理由づけ)「毛筆で書こう」「えんぴつで書こう」「ふり返ろう」の手順がマークや言葉で示されている。</li> </ul>
<p>日文</p>	<p>(1) 年間を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5、6年生で「学習の進め方」が1ページで示されている。「試し書き」→「考える」→「確かめる」→「まとめ書き」→「いかす」→「振り返る」の流れが、教科書の1ページを例にして、イラストとともに分かりやすく説明されている。1年生から4年生には「学習の進め方」はない。また、どの学年も「学習のめあて」が目次欄に示されている。</li> </ul> <p>(2) 単元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5、6年生は、「学習の進め方」をベースとして構成されている。1、2年生は「かんがえる」(なぞる)「たしかめる」「かいてみる」「できたかな」の手順がマークと文字で示されている。3年生～6年生は、「考える」「確かめる」「いかす」「できたかな」の手順がマークと言葉で示されている。</li> </ul>

【書写】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑤見通しを立てたり，振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方 法	振り返りやまとめの視点の示し方，自己評価欄の有無と記入方法

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(1) まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの学年も「まとめ」の単元が設定されている。</li> <li>・全学年で巻末に学習事項の具体的なまとめがある。(折込)</li> </ul> <p>(2) 単元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「確かめよう」で学習のポイントが明確に示されている。さらに大事なことは赤字で強調しているため，振り返りやまとめをする際の視点を確認しやすい。</li> <li>・全学年単元毎に自己評価欄が設けられている。「～に気を付けて書いたか」という評価が毛筆，硬筆でそれぞれ1，2項目ずつある。学習のめあてと一致している。</li> <li>・1，2年生は自己評価用のシールが巻末についており，それを自己評価欄に貼るようになっている。また，3年生以上は○・△の記号があり，どちらかを選択するようになっている。(2段階評価)</li> <li>・学年末の「学習のまとめ」のページでは，爪見出しに「はね」「とめ」「はらい」等，児童がめあてを設定する視点が項目で示されている。</li> </ul>
学図	<p>(1) まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの学年も「まとめ」の単元が設定されている。</li> <li>・まとめとして各学年で学習した「筆使い」が示されている。また，フィードバックできるようページが示されている。</li> </ul> <p>(3) 単元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふではかせ」「えんぴつはかせ」で学習のポイントを示しているが，呼びかけで終わっているものが多い。</li> <li>・単元毎に自己評価欄が設けられている。</li> <li>・単元のめあてと一致した自己評価の内容となっている。評価項目は1，2項目で，できたら○の中に顔の表情を記入する2段階評価になっている。</li> <li>・学年末の「学習のまとめ」のページでは，児童がめあてを設定するようになっていない。</li> </ul>
三省堂	<p>(1) まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生以下の学年には，「まとめ」としての単元が明確に設定されていない。</li> <li>・毛筆のまとめとしての単元がない。</li> </ul> <p>(2) 単元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りやまとめの具体的な言葉が示されておらず，問いかけで終わっているものが多い。</li> <li>・単元毎に自己評価欄(2段階評価)が設けられている。</li> <li>・単元のめあてと一致した自己評価の内容となっている。評価項目はほぼ1項目で，○の中に印を記入する2段階評価になっている。どんな印かは明示されていない。学習内容を確かめることができたらいということになっているので，自己評価の視点は甘くなると考える。</li> </ul>
教出	<p>(1) まとめ</p>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年生以上の学習のまとめでは自分でめあてを選んで書くようにしている。</li> <li>・ 「学年のまとめ」として学習事項と「書写の言葉」が1ページに簡潔にまとめられている。</li> <li>(2) 単元</li> <li>・ 3年生以上は、硬筆で「まとめ書き」を書く欄が設けられ、「ためし書き」からの変化が分かるようになっている。</li> <li>・ 「ここが大切」で学習のまとめが具体的に示されている。</li> <li>・ 単元毎に自己評価欄が設けられている。</li> <li>・ 単元のためあてと一致した自己評価の内容となっている。評価項目は1, 2項目で、1, 2年生は2段階評価, 3年生以上は□の中に記号を記入する3段階評価になっている。</li> <li>・ 学年末の「学習のまとめ」のページでは、児童がめあてを設定する視点は示されているが、具体的なポイントが示されていない。</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) まとめ</li> <li>・ どの学年も「まとめ」の単元が設定されている。</li> <li>・ 各学年の学習事項を太枠で囲み明確に示し、フィードバックできるようページが示されている。</li> <li>(2) 単元</li> <li>・ 「たいせつ」で学習用語とその具体的な方法が示されている。</li> <li>・ 単元毎に自己評価欄が設けられている。</li> <li>・ 単元のためあてと一致した自己評価の内容となっている。評価項目は1項目がほとんどで、「～に気をつけて書いた」と技能を評価する内容になっている。1, 2年生は2段階評価, 3年生以上は3段階評価になっている。</li> <li>・ 学年末の「学習のまとめ」のページでは、これまでの学習は示されているが、児童がめあてを焦点化しにくい。</li> </ul>
日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) まとめ</li> <li>・ どの学年も「まとめ」の単元が設定されている。</li> <li>・ 3年生以上には「字形が整う3つのポイント(形・筆順・組み立て方)」が示されている。説明は少しである。</li> <li>(2) 単元</li> <li>・ 4年生以上の「ここがポイント」では学習のポイントが示されている。3年生以下では明確には示されていない。</li> <li>・ 各単元の習字と硬筆で自己評価欄が設けられている。評価項目は2項目で、「～がわかった」(知識・理解)と「～ができた」(技能)に分けられている。学習のめあてと一致している。</li> <li>・ □のなかに○を書く2段階評価になっている。</li> <li>・ 学年末の「学習のまとめ」のページでは、これまでの学習を踏まえて、本時の視点やポイントを確認した上で児童がめあてを設定する手順が分かりやすく示されている。</li> </ul>

【書写】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑥発展的な学習の扱い方
方 法	発展的な学習における資料の表記・配置, 単元名, 内容の提示

発行者	調査・研究内容
東書	<p>「はってん」として, 6年生「こんな文字, 見つけたよ 行書」(毛筆)が1ページ示されており, 楷書と行書の違いと行書は中学校で学習することが示されている。「筆順と点画のつながり」の教材の前に示されている。</p> <p>1年生「生活に広げよう」11のうとにかこう 16なまえをかこう 28かきぞめをしよう 34できるようになったよ ※付録 外で書こう</p> <p>2年生「生活に広げよう」13 ノートに書こう 16かんさつしたことをかこう 28書きぞめをしよう 34ありがとうをとどけよう</p> <p>3年生「生活に広げよう」16 知ってもらおう, 自分のこと 25 ノートに書こう 28書きぞめをしよう 30名前を書こう (小筆) 34調べたことをつたえよう</p> <p>4年生「生活に広げよう」16 手紙やはがきで伝えよう 27 ノートに書こう 28書きぞめをしよう 30年賀状を書こう (小筆) 34新聞を作ろう</p> <p>5年生「生活に広げよう」23 ノートに書こう 24書初めをしよう 28手書き文字で伝えよう</p> <p>6年生11「こんな文字, 見つけたよ 行書」楷書と行書の違い, 中学校での学習 「生活に広げよう」19 ノートに書こう 24書き初めをしよう 28手書き文字で伝えよう ※付録 38原稿用紙や手紙等の書き方4~6年生</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>生活に広げる学習活動において, どのように活かしていくことができるか書き方の例やポイントとともに実際の作品例が提示されており, 指導しやすかった。</p> </div>
学図	<p>「発展のページ」として, 6年生「行書を書いてみよう」(毛筆)が2ページ示されており, 行書の特徴と中学校で学習することが示されている。巻末に示されている。</p> <p>1年生 しりょう 37たてがきとよこがき 39かんさつカードをかこう</p> <p>2年生 しりょう 26たてがきとよこがき 38かんさつカードをかこう</p> <p>3年生 硬筆に生かそう 24はがきの書き方 31俳句 資料26横書きの書き方</p> <p>4年生 硬筆に生かそう 16漢字の組み立て方 23短歌 資料26読みやすく書こう</p> <p>5年生 硬筆に生かそう 11枕草子 22・23メモの取り方 資料28・29読みやすく書こう 33詩・ポスター 36六年生を送り出そう</p> <p>6年生 34・35「行書」を書いてみよう 行書の特徴 中学校での学習 硬筆に生かそう 17平がな 21文語詩 25お知らせ 32・33資料「連詩」を巻物にしあげよう 36気持ちを伝えよう 手紙</p> <p>「発展のページ」として, 「行書を書いてみよう」(毛筆)が2ページ示され, 行書の特徴と中学校で学習することが分かる内容となっている。毛筆で「青空」の行書の手本が示され「興味・関心のある人は大筆で書いてみましょう」としてある。手本は示されているが, 実際に行書で書くような工夫が十分でない。</p>

<p>三省堂</p>	<p>「発展」として、6年生「こんな字を見たことがありますか『行書』」(硬筆と毛筆)が半ページ程度示されており、行書の特徴が示されている。「書く速さと読みやすさ」の教材のあとに示されている。</p> <p>1年生 37 かきぞめをしよう 「ひろげよう」39 一年生のおもいでをかこう  2年生 「ひろげよう はっけんしたことをつたえよう」16 34 かきぞめをしよう  「ひろげよう おれいの気もちをつたえよう」36  裏表紙 「はがきでつたえよう」  3年生 「ひろげよう 楽しかった出来事を書こう」16  「ひろげよう お知らせのはがきを書こう」34  「ひろげよう ノートを整理して書こう」36 37 かきぞめ  裏表紙 「毛筆作品をかざろう」  4年生 「ひろげよう お礼のお手紙を書こう」18  「ひろげよう 新聞で知らせよう」34  「ひろげよう ノートを整理して書こう」36 37 書きぞめ  裏表紙 「絵手紙を書こう」  5年生 「ひろげよう 教室の文字をよりよくしよう」22  「ひろげよう 調べたことをレポート用紙に書こう」32 36 書きぞめ  6年生 「ひろげよう 聞いて書こう」22  「ひろげよう ポスターを書こう」28 36 書きぞめ  P23 「こんな字を見たことがありますか「行書」分 戸 空 月  6年生に「発展」として、「こんな字を見たことがありますか『行書』」(硬筆と毛筆)が半ページ程度示されている。行書の特徴の解説文は示されているが、実際に行書で書く内容にはなっていない。</p>
<p>教出</p>	<p>「はってん」として、5年生、6年生『「行書」速く書けて、やわらかい字形』(硬筆)が1ページずつ示されている。楷書と行書の違いと中学校で学習することが示されている。巻末に示されている。全学年に発展的な学習が位置付けられている。各学年とも「はってん」として1ページずつ掲載され、次の学年の学習につながるような工夫が見られる。</p> <p>1年生 P33 「はってん」文字の大きさ  「トライあんどチャレンジ」19 よこがきのかきかた  2年生 P40 「はってん」三年生から毛ひつの学しゅうがはじまるよ。  「トライあんどチャレンジ」14・15 学習したことを生かして書いてみよう  24 よこ書きの書き方  32 「書いてつたえよう おせわになった人に、しょうたいじょうを書こう」  3年生 P48 「はってん」ほ先の動きと点画のつながり あこがれ  「トライあんどチャレンジ」20・21 学習を生かして書く 25 横書きの書き方  30 文字の大きさと行の中心 32・33 はがきの書き方  「書いてつたえよう おすすめの本をしょうかいしよう」43～45  4年生 P48 「はってん」用紙に対する文字の大きさ 6年生のポスター  「トライあんどチャレンジ」20・21 手紙の書き方 24・25 横書きの書き方  34・35 配列を整えて書く 「書いて伝えよう 新聞を作ろう」43～45  5年生 P39 「はってん」「行書」速く書けて、やわらかい字形</p>

	<p>「トライあんどチャレンジ」11 横書きの書き方 15 用紙全体のまとめ方 22・23 筆記用具を使いこなそう 24・25 横書きの書き方 30・31 目的に合わせて書く 「書いて伝えよう ポスターを作ろう」36・38 6年生 P39 「はってん」「行書」速く書けて、やわらかい字形 「トライあんどチャレンジ」8・9 目的に合わせて書く 18・19 配列を整えて書く 22・23 横書きの書き方 26・27 小筆を生かして書く P36～38 「書いて伝えよう 思い出に残る言葉を書こう」 漢字を鉛筆でなぞる硬筆記入欄があり、次の学年の学習にふれるような工夫がされている。</p>
光村	<p>「もっと知りたい 発展」として、6年生「速く、読みやすく書くには」(硬筆と毛筆)が1ページ示されている。行書の特徴と中学校で学習することが示されている。漢字を鉛筆でなぞる硬筆記入欄があり、次の学年の学習にふれるような工夫がされている。裏表紙とびらに示されている。</p> <p>1年生 P16・17 「すきなこと、なかに」 P36・37 しりょう よこがきのかきかた 2年生 P14・15 「げんこう用紙に書くとき」 P30・31 しりょう 手紙の書き方 3年生 P16・17 「手紙の書き方」 P42～44 しりょう はがきの書き方 4年生 P24・25 「文章を読みやすく書くために」リーフレットを作ろう P34～37 しりょう 手紙の書き方 5年生 P10・11 「すばやく書き留めるために」インタビュー P32～36 資料 手紙の書き方 6年生 P10～15 「情報を効果的に伝えるために」パンフレットを作ろう P30・31 未来に向かって P32～38 資料 手紙の書き方 P49 もっと知りたい発展「速く、読みやすく書くには」行書の特徴 中学校で学習 小学校では学習しない内容。興味があったらちょうせんしよう。</p>
日文	<p>「チャレンジ」として、5年生『行書』つて何? (毛筆)が1ページ示されており、行書の特徴と中学校で学習することが示されている。6年生『行書』つて何? (硬筆)は1ページ示されており、俳句を行書で書いてみる内容となっている。裏表紙とびらに示されている。</p> <p>1年生 「ひろがるまなび」17 えにつきのかきかた 20 よこにかくとき 29 年がじょうのかきかた 「もっと書こう」34 じぶんのことをしらせよう 2年生 「チャレンジ!」裏表紙・・・毛筆の学しゅうがはじまるよ 「広がる学び」14 原こう用紙のつかい方 22 れんらくちょうの書き方 23 よこに書くとき 31 年がじょうの書き方 「もっと書こう」32 けん玉の作り方をせつめいする文を書こう 「フェルトペンで『かんじカード』を作ろう」36 3年生 「広がる学び」32 横に書くとき 36 お礼の手紙の書き方 「もっと書こう」38 調べたことをほうこくする文を書こう</p>

	「小筆で『自分の名前』を書こう」 22 「ローマ字で『名刺』を作ろう」 33
4年生	「チャレンジ！」裏表紙・・・絵手紙を書こう 「広がる学び」 17 お願いの手紙の書き方 26 学級新聞の作り方 「もっと書こう」 38 おすすめの本をしょうかいしよう
5年生	「チャレンジ！」裏表紙・・・「行書」つて何？・・・特ちょうを知る。 「広がる学び」 28 案内の手紙の書き方 35 はがきの書き方 37 ポスターの書き方 「もっと書こう」 38 意見文を書いて交流しよう
6年生	「チャレンジ！」裏表紙・・・「行書」で書けるかな？俳句・・・書く。 「広がる学び」 31 メモの取り方 40 作品の作り方 「もっと書こう」 34 経験をもとに自分の考えをまとめよう

【書写】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑦単元・題材や資料等の配列
方 法	学年総ページ数, 毛筆教材数, 硬筆教材数, 硬筆記入欄のページ数

発行者	調査・研究内容				
東書	学年総ページ数, 毛筆教材数, 硬筆教材数, 硬筆記入欄のページ数				
	1年生	41	0	40	20
	2年生	41	0	55	19
	3年生	49	9	14	8
	4年生	49	9	12	9
	5年生	49	7	14	9
	6年生	49	7	16	9
<p>※ 1・2年生の学年総ページ数は41ページ, 硬筆教材数がそれぞれ40, 55である。3年生以上の学年総ページ数はすべて49ページ, 毛筆教材数は7~9である。配列は, 3年生以上で「毛筆」→「硬筆」→「硬筆に広げよう」となっており, 毛筆を基本として硬筆に発展させるような配列である。毛筆が始まる3年生以上の教材数を比べると, 数に大きなばらつきはない。</p>					
学図	学年総ページ数, 毛筆教材数, 硬筆教材数, 硬筆記入欄のページ数				
	1年生	41	0	58	20
	2年生	41	0	60	12
	3年生	49	9	2	11
	4年生	45	8	24	7
	5年生	45	7	7	3
	6年生	41	7	2	4
<p>※ 1・2年生の学年総ページ数は41ページ, 硬筆教材数がそれぞれ58, 60である。3年生以上の学年総ページ数は41~49ページ, 毛筆教材数は7~9である。配列は, 3年生以上で「毛筆」→「硬筆」→「硬筆に生かそう」となっており, 毛筆を基本として硬筆に発展させるような配列である。毛筆が始まる3年生以上の教材数を比べると, 硬筆教材数が, 極端に少ない学年がある。</p>					
三省堂	学年総ページ数, 毛筆教材数, 硬筆教材数, 硬筆記入欄のページ数				
	1年生	41	0	49	25
	2年生	41	0	65	25
	3年生	45	11	16	11
	4年生	45	12	6	14
	5年生	45	5	3	10
	6年生	45	6	9	13
<p>※ 1・2年生の学年総ページ数は41ページ, 硬筆教材数がそれぞれ49, 65である。3年生以上の学年総ページ数はすべて45ページ, 毛筆教材数は6~12である。配列は, 3, 4年生で「毛筆」→「硬筆」, 5, 6年生は「硬筆」→「毛筆」となっており, 毛筆を基本とした配列になっていない学年がある。毛筆が始まる3</p>					

	年生以上の教材数を比べると、硬筆教材数が少ない学年がある。毛筆から硬筆に発展させるような工夫が十分でない。				
教出	学年総ページ数, 毛筆教材数, 硬筆教材数, 硬筆記入欄のページ数				
	1年生	45	0	53	7
	2年生	41	0	47	5
	3年生	59	10	16	11
	4年生	57	10	4	8
	5年生	49	10	14	5
	6年生	49	10	11	6
<p>※ 1・2年生の学年総ページ数はそれぞれ45, 41ページ, 硬筆教材数がそれぞれ53, 47である。3年生以上の学年総ページ数は49～59ページ, 毛筆教材数はすべて10である。</p> <p>配列は, 3年生以上で「毛筆」→「硬筆」→「硬筆(発展)」となっており, 毛筆を基本として硬筆に発展させるような配列である。毛筆が始まる3年生以上の教材数を比べると, 硬筆の教材数が極端に少ない学年がある。</p>					
光村	学年総ページ数, 毛筆教材数, 硬筆教材数, 硬筆記入欄のページ数				
	1年生	39	0	36	20
	2年生	37	0	31	18
	3年生	55	10	15	11
	4年生	49	15	14	10
	5年生	47	7	26	9
	6年生	49	7	28	7
<p>※ 1・2年生の学年総ページ数はそれぞれ39, 37ページ, 硬筆教材数がそれぞれ36, 31である。3年生以上の学年総ページ数は47～55ページ, 毛筆教材数は7～15である。</p> <p>配列は, 3年生以上で「毛筆」→「硬筆」となっており, 毛筆を基本として硬筆に発展させるような配列である。毛筆が始まる3年生以上の教材数を比べると, 毛筆の教材数が, 5, 6年生で少なくなり, 硬筆教材数が, 4年生と比べて大きく増加している。</p>					
日文	学年総ページ数, 毛筆教材数, 硬筆教材数, 硬筆記入欄のページ数				
	1年生	41	0	46	15
	2年生	41	0	44	5
	3年生	53	10	18	2
	4年生	53	9	15	6
	5年生	53	10	13	2
	6年生	53	7	11	5
<p>※ 1・2年生の学年総ページ数は41ページ, 硬筆教材数がそれぞれ46, 44である。3年生以上の学年総ページ数はすべて53ページ, 毛筆教材数7～10である。</p> <p>配列は, 3年生以上で「毛筆」→「硬筆」となっており, 毛筆を基本として硬筆に発展させるような配列である。毛筆が始まる3年生以上の教材数を比べると, 教材数にかたよりが見られる。硬筆記入欄のページ数等が極端に少ない学年がある。</p>					

【書写】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑧ 本文記述との適切な関連付けがなされた写真・図・イラスト等の活用
方 法	写真・図・イラスト等による筆使いや筆順等のポイントの提示

発行者	調査・研究内容
東書	<p>① 1年生では、動物のキャラクターのイラストとともに、とめ、はね、はらいが擬音で示している。2年生ではイラストと擬音で、3年生以上は擬音のみで示している。筆順は数字で表記。</p> <p>② 穂先の向きを「折り紙半分」と表してあり、穂先にかわいい顔がついたキャラクターが使っている。</p> <p>③ 筆順を2年生から「ひつじゅん」と表している。</p> <p>④ 5・6年生では、文字と文字のつながりを意識して書くよう線でつなげてある。</p> <p>⑤ 始筆は折り紙半分で示されている。3年P8下</p> <p>⑥ 毛筆入門期の3年生「折れ」の学習では、1ページの半分の紙面で、「折れ」の部分を取り上げて穂先の向きの写真、擬音、1文の言葉、吹き出し、イラストでポイントが示されている。毛筆入門期の3年生「折れ」の学習では、1ページの半分の紙面で、「折れ」の部分を取り上げて穂先の向きの写真、擬音、1文の言葉、吹き出し、イラストでポイントが分かりやすく示されている。</p> <p>写真・図・イラスト等による、鉛筆やフェルトペン・筆使いが明示しており視覚的に分かりやすい。</p> <p>毛筆の単元は、主に見開き2ページで示している。左のページには大きめの手本と筆順が示され、手本と比較しながらポイントを整理させることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「気をつけることは何かな」という表示により、何に注意して取り組めばよいか が焦点化され、児童が意識して取り組むことができた。</p> </div>
学図	<p>① 1年生では、動物のキャラクターのイラストとともに、とめ、はね、はらいが擬音で示している。2年生以上は「止めるしるし」等、記号にして示している。筆順は数字で表記。</p> <p>② 穂先の向きを「三角じょうぎの斜辺の向き」と表してあり、三角定規のイラストが使っている。</p> <p>③ 筆順を1年生から「ひつじゅん」と表している。</p> <p>④ 毛筆入門期の3年生「たて画とおれ」の学習では、1ページの6分の1の紙面で「折れ」の部分を取り上げて穂先の向きの写真、3文の言葉、イラストでポイントが示されている。毛筆入門期の3年生「たて画とおれ」の学習では、1ページの中の6分の1の紙面で「折れ」の部分を取り上げて穂先の向きの写真、3文の言葉、イラストでポイントが示されている。</p>
三省堂	<p>① 1年生では、とめ、はね、はらいが擬音とイラストで示している。2年生以上は擬音のみで表されている。筆順は数字で表記。</p> <p>② 穂先の向きを「時計の短い針が十時半をさしている方向」と表してあり、穂先にひげのおじさんの顔がついたキャラクターが使っている。</p> <p>③ 筆順を1・2年生では「かきじゅん」、3年生から「筆順」と表してある。</p> <p>④ 6年生では、文字と文字のつながりを意識して書くよう線でつなげてある。</p>



	<p>⑤ 始筆は「時計の短い針が、10時半をさしている方向です。」として、時計と穂先のイラストが描かれている。</p> <p>⑥ 毛筆入門期の3年生『おれ』と『はね』の学習では、1ページの4分の1の紙面で「折れ」の部分を取り上げて、穂先の向きのイラスト、3文の言葉、キャラクターでポイントが示されている。</p> <p>毛筆入門期の3年生『おれ』と『はね』の学習では、1ページの中の4分の1の紙面で「折れ」の部分を取り上げて、穂先の向きのイラスト、3文の言葉、キャラクターでポイントが示されている。</p> <p>毛筆の単元は、4ページで示している。手本と筆順が半紙大の見開き2ページで示しているが、ポイントが別のページに示しているので、ポイントを意識させるにくい。</p>
<p>教出</p>	<p>① 1年生では、動物のキャラクターのイラストとともに、とめ、はね、はらいが擬音で示している。2年生ではイラストと擬音で、3年生以上は擬音のみで表されている。筆順は数字で表記。</p> <p>② 穂先の向きを「いつも左ななめ上」を表してあり、穂先のイラストが使われている。</p> <p>③ 筆順を1・2年生では「かきじゅん」、3年生から「筆順」と表してある。</p> <p>④ 始筆の穂先の向きを「左ななめ上」とし筆のイラストとともに示されている。</p> <p>⑤ 毛筆入門期の3年生『おれ』と『はね』筆使いの学習では、1ページの4分の1の紙面で漢字1文字を取り上げて、穂先の向きの写真、擬音、1文の言葉でポイントが示されている。毛筆入門期の3年生『おれ』と『はね』の筆使いの学習では、1ページの中の4分の1の紙面で漢字1文字を取り上げて、穂先の向きの写真、擬音、1文の言葉でポイントが示されている。</p> <p>毛筆の単元は、主に見開き2ページで示している。左のページには大きめの手本と筆順が示され、手本と比較しながらポイントを整理させることができる。</p>
<p>光村</p>	<p>① 1年生では、動物のキャラクターのイラストとともに、とめ、はね、はらいが擬音で示している。2年生ではイラストと擬音で、3年生以上は擬音のみで表されている。筆順は数字で表記。</p> <p>② 穂先の向きは「いつもななめ上」と表してあり、「ななめほさきちゃん」というキャラクターが使っている。軸の傾きもいっしょに指導してある。</p> <p>③ 筆順を1・2年生では「かきじゅん」、4年生から「筆順」と表してある。3年生では筆順に触れていない。</p> <p>④ 6年生では、文字と文字のつながりを意識して書くよう線をつなげてある。</p> <p>⑤ 始筆の穂先の向きを示すイラストを「ななめほさきちゃん」としている。</p> <p>⑥ 毛筆入門期の3年生「おれ」の学習では、1ページの紙面で「折れ」の部分を取り上げて、穂先の向きのイラスト、3文の言葉でポイントが示されている。毛筆入門期の3年生「おれ」の学習では、1ページの紙面で大きく「折れ」の部分を取り上げて、穂先の向きのイラスト、3文の言葉でポイントが示されている。</p> <p>毛筆の単元は、主に見開き2ページで示している。左のページには大きめの手本と筆順が示され、手本と比較しながらポイントを整理させることができる。</p> <p>1ページに様々な要素が入り過ぎ、児童がポイントをしぼりにくい。</p>
<p>日文</p>	<p>① 1年生では、動物のキャラクターのイラストとともに、とめ、はね、はらいが擬音で示している。2年生ではイラストと擬音で、3年生以上は擬音のみで表されている。筆順は数字で表記。</p>

- ② 穂先の向きを「おり紙を半分におったときと同じ」と表しており、穂先にかわいい顔がついたキャラクターが使っている。
- ③ 筆順を1・2年生では「かきじゅん」、3年生から「筆順」と表している。
- ④ 始筆の穂先の向きが、折り紙のイラストを用いて示されている。
- ⑤ 毛筆入門期の3年生「おれ」の学習では、1ページの4分の1の紙面で「折れ」の部分を取り上げて、穂先の向きの写真、擬音、3文の言葉でポイントが示されている。毛筆入門期の3年生「おれ」の学習では、1ページの中の4分の1の紙面で「折れ」の部分を取り上げて、穂先の向きの写真、擬音、3文の言葉でポイントが示されている。
- 毛筆の単元は、主に見開き2ページで示している。左のページには大きめの手本と筆順が示され、手本と比較しながらポイントを整理させることができる。

【書写】

観 点	言語活動の充実
視 点	㊟学習や日常生活に生きる言語活動の工夫
方 法	各教科等の学習や日常生活に生きる多様な表現活動の例

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活に広げよう」というコーナーが全学年設けてある。イルカのキャラクターが目次にも、各ページに示されている。</li> <li>・4, 5, 6年生は、巻末に原稿用紙の書き方、封筒の書き方、便箋の書き方、はがきの宛先の書き方が示されている。</li> <li>・生活に密着したものや、教科と関連付けて行える多様な活動が紹介されている。</li> <li>・紹介されているものには、書く際のポイントが書かれている。</li> <li>・活動の手順のポイントを示し、その中で、レイアウトの文字の大きさの具体例や、図表の効果的なかき方、取り入れ方が示され、他の教科や日常生活に生かすことができるように工夫されている。</li> </ul> <p>【1年生】のうとにかこう [算数]，なまえをかこう，かきぞめをしよう，できるようになったよ [生活科] 巻末…花さかじいさんのうた，象形文字の紹介</p> <p>【2年生】ノートに書こう [算数]，かんさつしたことを書こう（3種類） [生活科]，書きぞめをしよう，ありがとうをとどけよう（お礼の手紙） [生活科] 巻末…いろはうた，春の七草</p> <p>【3年生】知ってもらおう自分のこと（原稿用紙，カード） [国語]，ノートに書こう [理科]，書き初めをしよう，名前を書こう（俳句） [国語]，調べたことをつたえよう（調べ学習，観察記録，楽器の紹介） [社会，理科，音楽]</p> <p>【4年生】手紙やはがきで伝えよう，ノートに書こう（横書き，簡条書き），書きぞめをしよう，年賀状を書こう，百人一首，新聞を作ろう（配置，棒グラフ） [算数，社会]</p> <p>【5年生】ノートに書こう（横書き） [家庭科]，書き初めをしよう，手書き文字で伝えよう（手紙，メモ，パンフレット，折れ線グラフ，6年生におくるカード） [社会，算数]，竹取物語，枕草子，奥の細道</p> <p>【6年生】ノートに書こう [社会]，書き初めをしよう，手書き文字で伝えよう（配列）（修学旅行のしおり，模造紙，卒業に向けて〈短冊，色紙〉） [社会，図工，家庭] 論語，春暁</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習したことを他教科や日常生活に生かして書くことができるような例がたくさん紹介されているとともに、書く際のポイントが分かりやすく示されているので、学習や日常生活で活用するイメージを児童にもたせることができた。</p> </div>
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1, 2年生では、巻末に「たのしんでかこう」というコーナーが設けてあり、童歌「ももたろうのうた」，「春の七草」，「教え歌」などが紹介されている。</li> <li>・それぞれの教材の間に、資料として教科で生かせる活動が提示されている。</li> <li>・「資料」として完成作品例，レイアウトが示されている。他の教科や日常生活に生かせる言語活動の例が取り上げられ，ポイントも示されているが，活動の手順は</li> </ul>

	<p>ない。</p> <p>【1年生】 巻末…たてがきとよこがき [国語, 算数], かんさつカードをかこう [生活科], ももたろうのうた</p> <p>【2年生】 巻頭…1年生をむかえよう 途中…たて書きとよこ書き [国語, 算数] 巻末…かんさつカードを書こう [生活科], 春の七草, 数え歌</p> <p>【3年生】 途中…横書きの書き方, はがきの書き方 (表裏) [国語, 社会], 俳句 [国語] 巻末…ローマ字</p> <p>【4年生】 短歌〈百人一首〉 [国語], 手紙, 封筒の書き方 (一教材として) 読みやすく書こう (プログラム, ノート, 学級新聞) [国語, 総合, 社会, 理科など全般]</p> <p>【5年生】 枕草子, ひらがなのでき方 [国語], メモの取り方, 読みやすく書こう (文字の大きさ, 簡条書き, 表とグラフ) [全般], 6年生を送り出そう (メッセージカード), 身の回りに生きている書写…石碑, 寺, 症状, 橋の名前, 漢字の成り立ち [国語]</p> <p>【6年生】 ポスターで伝えよう, 連詩, 硬筆に生かそう (いろは歌, 文語詩, お知らせ), 徳川家康やアンネ・フランクの実物の手紙</p>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひろげよう」として全学年コーナーを設定し, 他教科等や学校生活での活用例を教材化している。→記録文, ノートの例, 学級日記, 新聞, 本作り, 寄せ書き等</li> <li>・グループや学級で取り組める活動例が示されている。</li> <li>・手紙やはがきの書き方等について低学年から系統的に取り上げている。</li> <li>・「ひろげよう」として, 活動の手順, 完成作品例, レイアウトが示されている。他の教科や日常生活に生かせる言語活動の例が取り上げられ, 活動の手順も示されているが, 具体的なポイントが示されていない。</li> </ul> <p>【1年生】 一年生のおもいでをかこう</p> <p>【2年生】 おれいの気持ちをつたえよう, はっけんしたことをつたえよう, はがきでつたえよう</p> <p>【3年生】 お知らせのはがきを書こう, 楽しかった出来事を書こう, ノートを整理して書こう</p> <p>【4年生】 新聞で知らせよう, お礼の手紙を書こう, ノートを整理して書こう, 絵手紙を書こう</p> <p>【5年生】 調べたことをレポート用紙に書こう, 学習を生かそう, 教室の文字をよりよくしよう, 学習のまとめ</p> <p>【6年生】 ポスターを書こう, 学習を生かそう, 聞いて書こう, 学習のまとめ</p>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「トライあんどチャレンジ」, 「書いて伝えよう」という2種類のコーナーが設けられている。「トライあんどチャレンジ」は, 全学年, どの教科と関連しているか教科書に明記されている。</li> <li>・「書いて伝えよう」は, 1年生から6年生まで, 新聞やポスター等, 様々な活動が紹介されており, 国語や社会, 生活科, 総合的な学習で生かされる内容となっている。</li> <li>・「トライあんどチャレンジ」では活動の手順, レイアウト, 完成作品例が示されている。文字の大きさや筆記具, レイアウト上での注意事項が示され, 他の教科や日常生活に生かすことができる。</li> </ul>

	<p>「書いて伝えよう」</p> <p>【1年生】ともだちのよいところやありがとうの気持ちをかいてつたえよう。(3パターン)</p> <p>【2年生】お世話になった人に、しょうたいじょうを書こう。(3パターン)</p> <p>【3年生】おすすめの本をしょうかいしよう(読書カード, おすすめ図書カード, 本の帯)</p> <p>【4年生】新聞を作ろう(記事のレイアウト, 筆記用具のくふう)</p> <p>【5年生】ポスターを作ろう(全体の構成, 筆記用具の工夫)</p> <p>【6年生】思い出に残る言葉を書こう</p> <p>「トライあんどチャレンジ」</p> <p>【1年生】よこがきのかきかた [算数]</p> <p>【2年生】かんさつカード, おれいの手紙 [生活], よこ書きの書き方, 数字の書きじゅんと形 [算数]</p> <p>【3年生】原稿用紙の書き方 [国語], 自由研究のまとめ方 [社会], 横書きの書き方(調べたことをまとめる) [国語, 理科], 文字の大きさと行の中心(俳句) [国語], はがきの書き方(表裏)</p> <p>【4年生】手紙の書き方(手紙に書く内容の順番, 封筒の裏表) [社会], 横書きの書き方(報告文にまとめる) [国語, 理科], 配列を整えて書く(短歌・俳句) [国語]</p> <p>【5年生】横書きの書き方(ノートのまとめ方) [社会], 用紙全体のまとめ方(用紙全体に対する文字の置き方), 配列を整えて書く(古典) [国語], 目的に合った筆記用具, 用紙(模造紙, 短冊, 色画用紙, メモ帳, 原稿用紙), 横書きの書き方(校内掲示物) [学校生活全般], 目的に合わせて書く(メモの取り方) [社会]</p> <p>【6年生】目的に合わせて書く(書く速さ) 配列を整えて書く(古典を味わう) [国語], 横書きの書き方(発表資料を書く)(文字の大きさや配列) [学習活動全般], 小筆を生かして書く(筆使いと配列)(短冊, 色紙, 色画用紙)</p>
<p>光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の巻末に「資料」として, 全学年, 日常に生かせるよう例を挙げて参照できるようになっている。→手紙, はがき, 聞き取りメモ, 原稿用紙の書き方, 新聞作り等</li> <li>・巻末資料に全て整理されている。</li> <li>・横書きについて全学年に渡って言語活動例を示している。</li> <li>・「資料」として, 完成作品例とポイントが示されている。他の教科や日常生活に生かせる言語活動の例が取り上げられている。活動の手順やレイアウトは示されていない。</li> </ul> <p>【1年生】よこがきのかきかた</p> <p>【2年生】手紙の書き方, げんこう用紙に書くとき</p> <p>【3年生】げんこう用紙の使い方, 手紙の書き方, はがきの書き方</p> <p>【4年生】新聞を読みやすく書く工夫, 文章を読みやすく書くために, 手紙の書き方, はがきの表書き, げんこう用紙の使い方, 横書きの書き方</p> <p>【5年生】はがきの書き方, げんこう用紙の使い方, 新聞の書き方の工夫, すばやく書き留めるために, 手紙の書き方</p>

	<p>【6年生】はがきの書き方, げんこう用紙の使い方, エアメールの書き方, 情報を効果的に伝えるために, 自分の文字を見つめる, 手紙の書き方, ノートの工夫, 新聞の書き方の工夫, 電話メモの取り方</p>
<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「広がる学び」, 「もっと書こう」は全学年にコーナーを設定し, 活用例を示している。活動の手順と完成作品例とポイントが示されている。他の教科や日常生活に生かせる言語活動の例が取り上げられているが, レイアウトが示されていない。</li> <li>・「もっと書こう」では, 国語科を中心とした言語活動例が位置付けられている。 (各学年1教材) →説明文の書き方, 調査報告文, 意見文, 紹介文など</li> <li>・「広がる学び」では, 日常生活や他教科, 総合的な学習の時間などに関わる教材が示されている。→年賀状, 原稿用紙の使い方, 手紙ポスター等</li> </ul> <p>【1年生】えにっきのかきかた, よこにかくとき, 年がじょうのかきかた, じぶんのことをしらせよう</p> <p>【2年生】けん玉の作り方をせつめいする文を書こう, 原こう用紙のつかい方, れんらくちょうの書き方, よこに書くとき, 年がじょうの書き方</p> <p>【3年生】調べたことをほうこくする文を書こう, 横に書くとき, お礼の手紙の書き方</p> <p>【4年生】学級新聞の作り方, お願いの手紙の書き方, おすすめの本をしょうかいしよう</p> <p>【5年生】案内の手紙の書き方, はがきの書き方, ポスターの書き方, 意見文を書いて交流しよう</p> <p>【6年生】経験をもとに自分の考えをまとめよう, メモの取り方, 作品の作り方, 「寄せ書き」を書こう, 「感謝状」を書こう, 「表紙」を作ろう</p>